

令和8年

県民生活基本調査結果報告書

【目次】

調査の概要・調査結果の概要	1
設問別集計結果	13
統計表	59
調査票	71

令和8年7月

岩手県ふるさと振興部

はじめに～本書をお読みいただくにあたって～

1 県民生活基本調査について

岩手県では、「いわて県民計画(2019～2028)」(以下「県民計画」という。)を策定し、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわての実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、県民計画の政策に関連する項目について、県民の皆さまの生活や行動に関し、その実態や質的变化を把握するため、平成13年度から実施しているもので、今回が13回目となります。

2 今回の調査の特徴

今回の調査では、県民計画に掲げる「10の政策分野」に関連する行動者率等の把握を目的とし、その調査項目数は、17項目となっています。

3 調査対象数の配分方法

本調査の調査対象者の抽出については、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、次のような方法によって行いました。

- ・ 広域振興圏における調査結果に一定の精度を確保するため、東日本大震災津波の影響や管内人口の多寡を考慮し、全県の調査数5,000について、県央及び県南に300、沿岸に800、県北に600の計2,000を定数配分として割り振り、残り3,000を4広域振興圏の管内人口比で比例配分しています。
- ・ 市町村別の調査対象数については、各広域振興圏に割り振られた調査対象数を、管内の市町村人口によって比例配分しています。

このように、調査対象(サンプル)は実際の地域別の人口構成比のとおり割り振られていないことから、集計については、実際の市町村別の人口構成比を反映した結果となる集計方法を取っています。詳しくは、「4 集計方法」を参照してください。

4 集計方法

前述の「3 調査対象数の配分方法」のとおり、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、調査対象数を地域別の人口構成比で割り振っていないことから、単純に集計された県全体等の調査結果は、本県の広域振興圏の人口構成比を反映していないものになります。

したがって、集計については、実際の回答数に広域振興圏(市町村)別の人口構成比を考慮することによって、県全体の調査結果を実勢に近づける集計(母集団拡大集計)を行っています。

これを具体的に説明すると、市町村別の回答数(選択肢ごと)に、「令和7年人口移動報告年報による市町村別18歳以上人口÷市町村別の標本数(有効回答数)」で求められるウェイトを乗じて集計するものです。(したがって、集計結果の分母は18歳以上人口に一致します。)

5 その他

- ・ 四捨五入の関係で合計と内訳の計とが一致しない場合があります。

調査の概要 調査結果の概要

令和8年県民生活基本調査結果(概要)

1 調査の目的

県民の生活や行動に関し、その実態や質的变化を把握し、この調査結果を今後の政策評価や政策評価を踏まえた施策の企画・立案等に活用する。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 令和8年1～2月（隔年調査）
- (6) 調査項目
 - ア 行動・参加等の有無
 - イ 行動・参加等の内容
 - ウ 今後における行動・参加等の意向
- (7) 回収者数 3,489人
- (8) 有効回収率 69.8%

(9) 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,543	(44.2)
女性	1,942	(55.7)
その他	4	(0.1)
不明	0	(0.0)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	1,021	(29.3)
県南広域振興圏	1,049	(30.1)
沿岸広域振興圏	845	(24.2)
県北広域振興圏	574	(16.5)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	50	(1.4)
20～29歳	177	(5.1)
30～39歳	272	(7.8)
40～49歳	428	(12.3)
50～59歳	540	(15.5)
60～69歳	712	(20.4)
70歳以上	1,310	(37.5)
不明	0	(0.0)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	281	(8.1)
家族従業者	97	(2.8)
会社役員・団体役員	241	(6.9)
常用雇用者	959	(27.5)
臨時雇用者	406	(11.6)
学生	61	(1.7)
専業主婦(主夫)	368	(10.5)
無職	838	(24.0)
その他	99	(2.8)
不明	139	(4.0)

()内は%

3 用語の説明

「行動している人の割合」

この報告書において、「行動している人の割合」とは、「参加している」、「利用している」、「留意している」など、その程度には関わらず、何らかの行動を起こしている人の割合を示している。

設問8、9、14、15、16及び設問17については、複数項目の行動内容に関する問いであり、設問全体の行動をしている人の割合は、各項目の行動している人の割合の平均値から求めている。

4 その他

本調査結果は、岩手県調査統計課ホームページ「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」からダウンロードできます。

<https://www2.pref.iwate.jp/~stat>

設問の構成

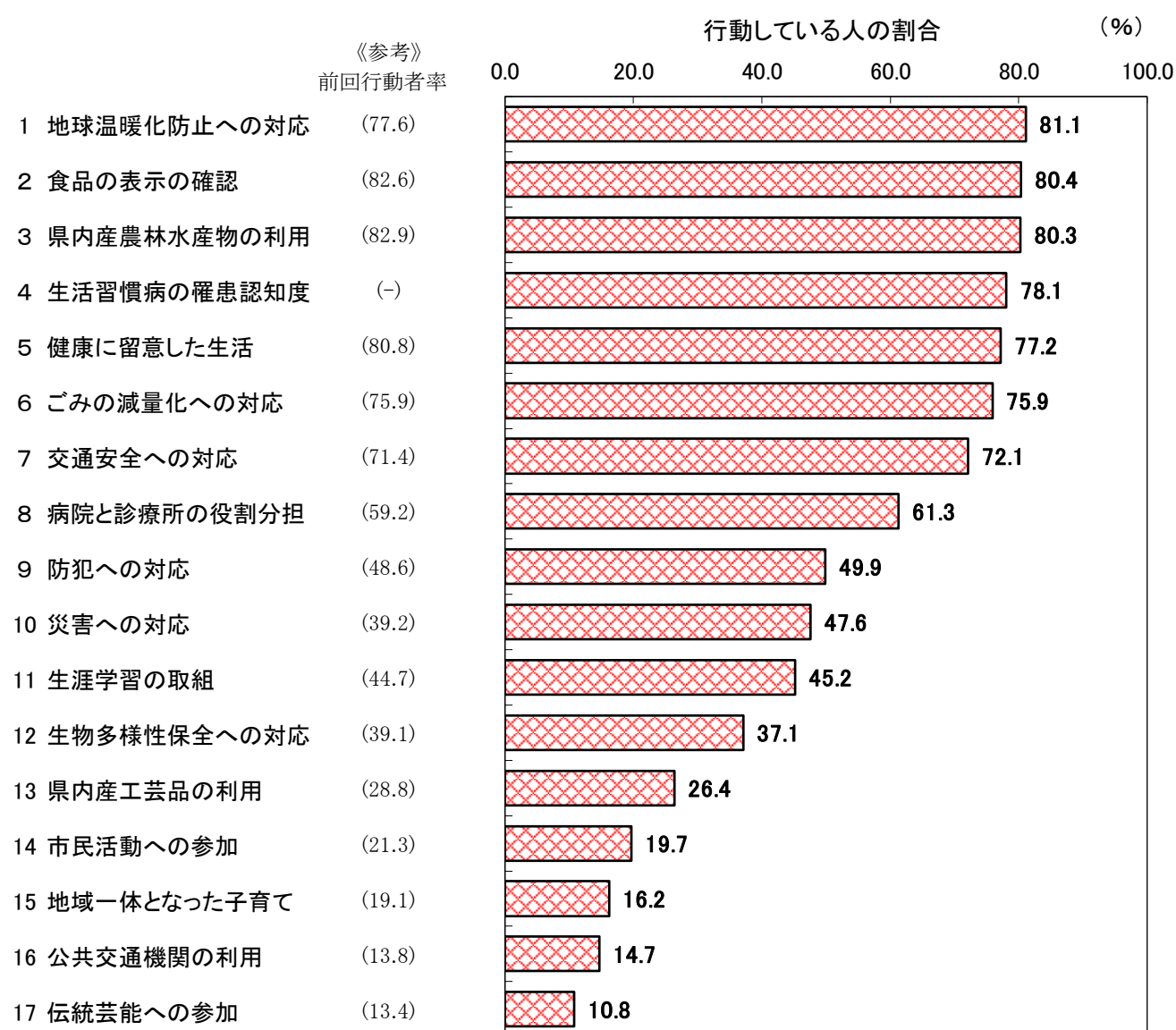
この調査の設問は「いわて県民計画（2019～2028）」の10の政策分野に対応して作成しています。

I 健康・余暇 ～健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、 また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手～	
設問 1	あなたは、生涯学習に取り組んでいますか。
設問 2	あなたは、大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っていますか。
設問 3	あなたは、普段、健康に留意して生活していますか。
設問 4	あなたは、岩手県が脳卒中による死亡率が全国に比べて高いことを知っていますか。
設問 5	あなたは、学校行事や地域において子どもを育てる活動に参加していますか。
II 家族・子育て ～家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、 また、安心して子育てをすることができる岩手～	
III 教育 ～学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手～	
IV 居住環境・コミュニティ ～不便を感じないで日常生活を送ることができ、 また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手～	
設問 6	あなたは、普段、バスや鉄道などの公共交通機関を利用していますか。
V 安全 ～災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、 事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手～	
設問 7	あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。
設問 8	あなたは、犯罪の被害にあわないために、普段どのような行動に努めていますか。
設問 9	あなたは、交通安全のために、普段どのような行動に努めていますか。
設問 10	あなたは、普段のお買い物の際に、食品の表示を確認していますか。
VI 仕事・収入 ～農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、 また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手～	
設問 11	あなたは、普段、県内産の工芸品を利用していますか。
設問 12	あなたは、普段、県内産の農林水産物を利用していますか。
VII 歴史・文化 ～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手～	
設問 13	あなたは、地域の伝統芸能活動に参加していますか。
VIII 自然環境 ～一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手～	
設問 14	あなたは、生物多様性の保全につながる行動をしていますか。
設問 15	あなたは、ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか。
設問 16	あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。
IX 社会基盤 ～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～	
X 参画 ～男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、 幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手～	
設問 17	あなたは、過去 1 年間にどのような市民活動に参加しましたか。

■調査結果の概要■

1 各設問の行動している人の割合

- 「行動している人の割合」が最も高いのは、「地球温暖化防止への対応」の81.1%となっている。
- 次いで「行動している人の割合」が高いのは、「食品の表示の確認」の80.4%、「県内産農林水産物の利用」の80.3%、「生活習慣病の罹患認知度」の78.1%、「健康に留意した生活」の77.2%であり、日常生活に密着した項目が上位を占めている。
- 逆に「行動している人の割合」が低い項目は、「伝統芸能への参加」の10.8%、「公共交通機関の利用」の14.7%となっている。



※ () 内は前回（令和6年県民生活基本調査）行動者率（％）を参考掲載。「生涯学習の取組」、「病院と診療所の役割分担」、「災害への対応」及び「地球温暖化防止への対応」は『令和7年県民意識調査』にて調査したため、行動者率は令和7年調査時のものを掲載。

※ 「生活習慣病の罹患認知度」及び「病院と診療所の役割分担」は、「知っている」と回答した者を「行動している人」に、「知らない」と回答した者を「行動していない人」としている（以下、同様）。

2 居住地（広域振興圏）別調査結果の概要

- 広域振興圏別に最も行動している人の割合が高い項目をみると、県央、県南、県北では「地球温暖化防止への対応」、沿岸では「県内産農林水産物の利用」の割合が最も高くなっている。

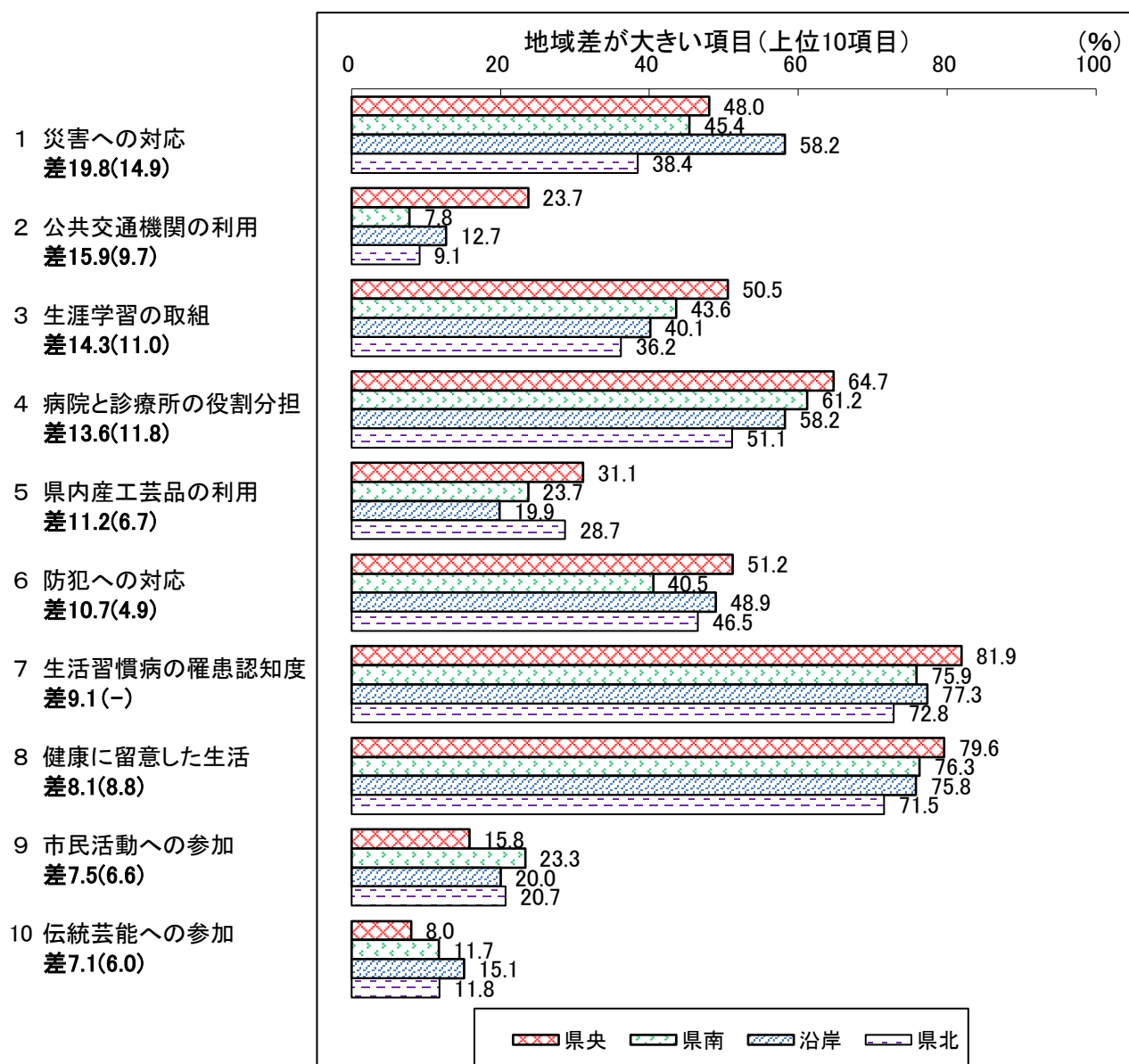
※ 行動している人の割合が高い順（数値は％）

圏域 順位	県央		県南		沿岸		県北	
1	地球温暖化防止への対応	83.2 (79.1)	地球温暖化防止への対応	80.0 (77.2)	県内産農林水産物の利用	82.1 (83.4)	地球温暖化防止への対応	79.3 (76.8)
2	県内産農林水産物の利用	82.4 (82.4)	食品の表示の確認	79.3 (83.7)	食品の表示の確認	81.3 (84.5)	食品の表示の確認	77.8 (77.8)
3	生活習慣病の罹患認知度	81.9 (-)	県内産農林水産物の利用	78.5 (83.9)	地球温暖化防止への対応	80.2 (75.4)	県内産農林水産物の利用	75.8 (80.7)
4	食品の表示の確認	81.7 (81.8)	健康に留意した生活	76.3 (82.3)	生活習慣病の罹患認知度	77.3 (-)	ごみの減量化への対応	74.6 (74.4)
5	健康に留意した生活	79.6 (81.2)	生活習慣病の罹患認知度	75.9 (-)	健康に留意した生活	75.8 (80.3)	生活習慣病の罹患認知度	72.8 (-)
6	ごみの減量化への対応	77.2 (75.7)	ごみの減量化への対応	75.1 (76.6)	ごみの減量化への対応	75.3 (75.0)	健康に留意した生活	71.5 (73.5)
7	交通安全への対応	73.0 (72.9)	交通安全への対応	71.9 (71.4)	交通安全への対応	70.5 (67.9)	交通安全への対応	70.7 (69.2)
8	病院と診療所の役割分担	64.7 (63.4)	病院と診療所の役割分担	61.2 (59.4)	災害への対応	58.2 (46.9)	病院と診療所の役割分担	51.1 (53.0)
9	防犯への対応	51.2 (50.0)	災害への対応	45.4 (39.2)	病院と診療所の役割分担	58.2 (51.6)	防犯への対応	46.5 (45.1)
10	生涯学習の取組	50.5 (48.5)	生涯学習の取組	43.6 (44.1)	防犯への対応	48.9 (48.4)	生物多様性保全への対応	40.0 (40.7)
11	災害への対応	48.0 (38.0)	防犯への対応	40.5 (48.1)	生涯学習の取組	40.1 (40.2)	災害への対応	38.4 (32.0)
12	生物多様性保全への対応	36.1 (37.3)	生物多様性保全への対応	38.1 (41.5)	生物多様性保全への対応	35.7 (37.0)	生涯学習の取組	36.2 (37.5)
13	県内産工芸品の利用	31.1 (30.3)	県内産工芸品の利用	23.7 (29.6)	市民活動への参加	20.0 (19.9)	県内産工芸品の利用	28.7 (27.7)
14	公共交通機関の利用	23.7 (19.4)	市民活動への参加	23.3 (24.8)	県内産工芸品の利用	19.9 (23.6)	市民活動への参加	20.7 (21.3)
15	市民活動への参加	15.8 (18.2)	地域一体となった子育て	18.4 (19.4)	伝統芸能への参加	15.1 (15.2)	地域一体となった子育て	12.7 (17.3)
16	地域一体となった子育て	15.4 (20.8)	伝統芸能への参加	11.7 (16.0)	地域一体となった子育て	14.2 (14.6)	伝統芸能への参加	11.8 (13.6)
17	伝統芸能への参加	8.0 (10.0)	公共交通機関の利用	7.8 (9.9)	公共交通機関の利用	12.7 (11.8)	公共交通機関の利用	9.1 (9.7)

※（ ）内は前回数値（％）を参考掲載。「生涯学習の取組」、「病院と診療所の役割分担」、「災害への対応」及び「地球温暖化防止への対応」は『令和7年県民意識調査』にて調査したため、行動者率は令和7年調査時のものを掲載。

地域差が大きい項目

- 最も地域差（最大値と最小値の差）が大きい項目は、「災害への対応」で沿岸が58.2%であるのに対し、県北が38.4%となっており、その差は19.8ポイントに達している。
- 次に地域差が大きい項目は、「公共交通機関の利用」で県央が23.7%であるのに対し、県南が7.8%となっており、その差は15.9ポイントとなっている。



（参考）前回数値 (%)

	災害への 対応 (注)	病院と診 療所の役 割分担 (注)	生涯学習 の取組 (注)	公共交通 機関の利 用	健康に留 意した生 活	県内産工 芸品の利 用	食品の表 示の確認	市民活動 への参加	地域一体 となった 子育て	伝統芸能 への参加
県央	38.0	63.4	48.5	19.4	81.2	30.3	81.8	18.2	20.8	10.0
県南	39.2	59.4	44.1	9.9	82.3	29.6	83.7	24.8	19.4	16.0
沿岸	46.9	51.6	40.2	11.8	80.3	23.6	84.5	19.9	14.6	15.2
県北	32.0	53.0	37.5	9.7	73.5	27.7	77.8	21.3	17.3	13.6
地域差	14.9	11.8	11.0	9.7	8.8	6.7	6.7	6.6	6.2	6.0

※1 (注)は「令和7年県民意識調査」にて調査したため、行動者率は令和7年調査時のものを掲載。

※2 最大値と最小値を塗りつぶし。

※3 小数点第1位未満四捨五入の関係から、最大値と最小値の差が「地域差」と一致しない場合があります。

3 男女別調査結果の概要

- 男性で行動している人の割合が高い項目は、「地球温暖化防止への対応」の80.7%、「健康に留意した生活」の77.0%「県内産農林水産物の利用」の75.4%などとなっている。
- 女性で行動している人の割合が高い項目は、「食品の表示の確認」の84.5%、「県内産農林水産物の利用」の84.4%、「地球温暖化防止への対応」の81.6%などとなっている。

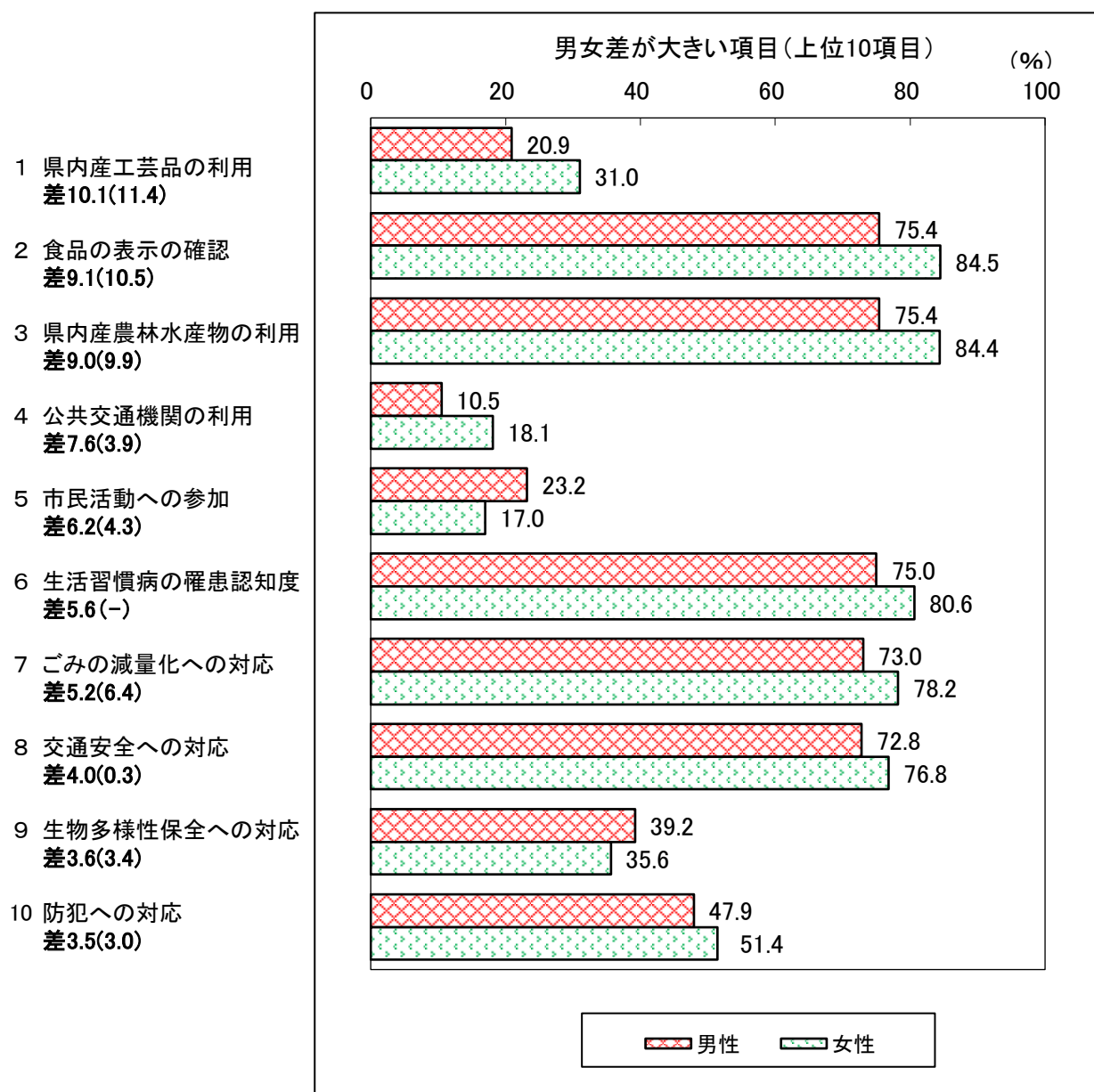
※ 行動している人の割合が高い順（数値は%）

性別 順位	男性		女性	
1	地球温暖化防止への対応	80.7 (77.0)	食品の表示の確認	84.5 (87.3)
2	健康に留意した生活	77.0 (78.9)	県内産農林水産物の利用	84.4 (87.5)
3	県内産農林水産物の利用	75.4 (77.6)	地球温暖化防止への対応	81.6 (78.4)
4	食品の表示の確認	75.4 (76.8)	生活習慣病の罹患認知度	80.6 (-)
5	生活習慣病の罹患認知度	75.0 (-)	ごみの減量化への対応	78.2 (78.9)
6	ごみの減量化への対応	73.0 (72.5)	健康に留意した生活	77.5 (82.5)
7	交通安全への対応	72.8 (71.7)	交通安全への対応	76.8 (71.4)
8	病院と診療所の役割分担	59.7 (57.2)	病院と診療所の役割分担	62.6 (61.4)
9	防犯への対応	47.9 (47.0)	防犯への対応	51.4 (50.0)
10	生涯学習の取組	47.0 (47.0)	災害への対応	48.8 (40.4)
11	災害への対応	46.1 (38.4)	生涯学習の取組	43.8 (43.2)
12	生物多様性保全への対応	39.2 (41.2)	生物多様性保全への対応	35.6 (37.8)
13	市民活動への参加	23.2 (23.8)	県内産工芸品の利用	31.0 (34.0)
14	県内産工芸品の利用	20.9 (22.6)	公共交通機関の利用	18.1 (15.4)
15	地域一体となった子育て	15.7 (18.1)	市民活動への参加	17.0 (19.5)
16	伝統芸能への参加	11.4 (15.1)	地域一体となった子育て	16.6 (19.8)
17	公共交通機関の利用	10.5 (11.5)	伝統芸能への参加	10.3 (12.1)

※（ ）内は前回数値（%）を参考掲載。「生涯学習の取組」、「病院と診療所の役割分担」、「災害への対応」及び「地球温暖化防止への対応」は『令和7年県民意識調査』にて調査したため、行動者率は令和7年調査時のものを掲載。

男女差が大きい項目

- 男女差（最大値と最小値の差）が大きい上位10項目のうち、男性が女性を上回っている項目の差は、「市民活動への参加」の6.2ポイント、「生物多様性保全への対応」の3.6ポイントとなっている。
- 一方、女性が男性を上回っている項目の差は、「県内産工芸品の利用」の10.1ポイント、「食品の表示の確認」の9.1ポイントなどとなっている。



(参考) 前回数値 (%)

	県内産工芸品の利用	食品の表示の確認	県内産農林水産物の利用	病院と診療所の役割分担(注)	ごみの減量化への対応	市民活動への参加	公共交通機関の利用	健康に留意した生活	生物多様性保全への対応	防犯への対応
男	22.6	76.8	77.6	57.2	72.5	23.8	11.5	78.9	41.2	47.0
女	34.0	87.3	87.5	61.4	78.9	19.5	15.4	82.5	37.8	50.0
男女差	11.4	10.5	9.9	4.2	6.4	4.3	3.9	3.6	3.4	3.0

※1 (注)は「令和7年県民意識調査」にて調査したため、行動者率は令和7年調査時のものを掲載。

※2 小数点第1位未満四捨五入の関係から、男性の値と女性の値の差が「男女差」と一致しない場合があります。

4 年代別調査結果の概要

- 「病院と診療所の役割分担」、「生活習慣病の罹患認知度」、「県内産工芸品の利用」は、年代が上がるにつれて行動している人の割合がおおむね高くなる傾向にある。
- 逆に、「生涯学習の取組」は、年代が上がるにつれて行動している人の割合がおおむね低くなる傾向にある。

※ 行動している人の割合が高い順（数値は％）

年代 順位	18・19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
1	地球温暖化防止への対応	78.1 (87.1)	地球温暖化防止への対応	80.0 (73.4)	食品の表示の確認	81.0 (81.6)	食品の表示の確認	82.0 (81.7)
2	交通安全への対応	68.8 (69.7)	交通安全への対応	76.6 (72.1)	地球温暖化防止への対応	78.5 (75.4)	地球温暖化防止への対応	80.6 (76.7)
3	健康に留意した生活	66.7 (78.7)	健康に留意した生活	72.8 (62.3)	県内産農林水産物の利用	78.2 (75.1)	県内産農林水産物の利用	80.1 (81.4)
4	ごみの減量化への対応	64.5 (74.9)	ごみの減量化への対応	69.8 (70.5)	交通安全への対応	77.5 (76.2)	交通安全への対応	78.5 (75.9)
5	食品の表示の確認	62.7 (51.2)	県内産農林水産物の利用	69.3 (64.1)	ごみの減量化への対応	72.2 (70.2)	ごみの減量化への対応	74.0 (74.0)
6	生涯学習の取組	61.3 (68.4)	食品の表示の確認	66.7 (73.9)	健康に留意した生活	68.0 (71.5)	健康に留意した生活	71.2 (73.7)
7	県内産農林水産物の利用	55.8 (65.9)	生涯学習の取組	61.5 (55.5)	生活習慣病の罹患認知度	60.3 (-)	生活習慣病の罹患認知度	70.3 (-)
8	公共交通機関の利用	49.4 (47.9)	生活習慣病の罹患認知度	60.7 (-)	生涯学習の取組	59.4 (51.9)	防犯への対応	51.5 (49.0)
9	生活習慣病の罹患認知度	48.5 (-)	病院と診療所の役割分担	43.3 (44.4)	防犯への対応	49.5 (47.7)	病院と診療所の役割分担	51.1 (52.5)
10	防犯への対応	41.0 (42.4)	防犯への対応	43.1 (40.1)	災害への対応	45.0 (40.5)	生涯学習の取組	50.8 (51.2)
11	病院と診療所の役割分担	38.9 (46.2)	生物多様性保全への対応	40.6 (41.3)	病院と診療所の役割分担	44.5 (54.6)	災害への対応	49.6 (40.2)
12	生物多様性保全への対応	35.6 (49.4)	公共交通機関の利用	28.9 (20.8)	生物多様性保全への対応	35.6 (39.3)	生物多様性保全への対応	37.1 (39.2)
13	災害への対応	30.8 (36.7)	災害への対応	27.7 (31.6)	地域一体となった子育て	29.2 (30.2)	地域一体となった子育て	35.9 (37.3)
14	市民活動への参加	12.9 (12.7)	市民活動への参加	11.0 (10.6)	県内産工芸品の利用	19.0 (17.8)	県内産工芸品の利用	20.7 (23.7)
15	伝統芸能への参加	11.5 (9.8)	県内産工芸品の利用	8.6 (8.3)	公共交通機関の利用	14.2 (9.9)	市民活動への参加	15.6 (16.9)
16	地域一体となった子育て	10.6 (0.0)	伝統芸能への参加	7.1 (10.4)	市民活動への参加	10.9 (12.7)	伝統芸能への参加	12.0 (14.2)
17	県内産工芸品の利用	9.2 (8.7)	地域一体となった子育て	6.2 (6.6)	伝統芸能への参加	9.5 (8.3)	公共交通機関の利用	11.7 (14.2)

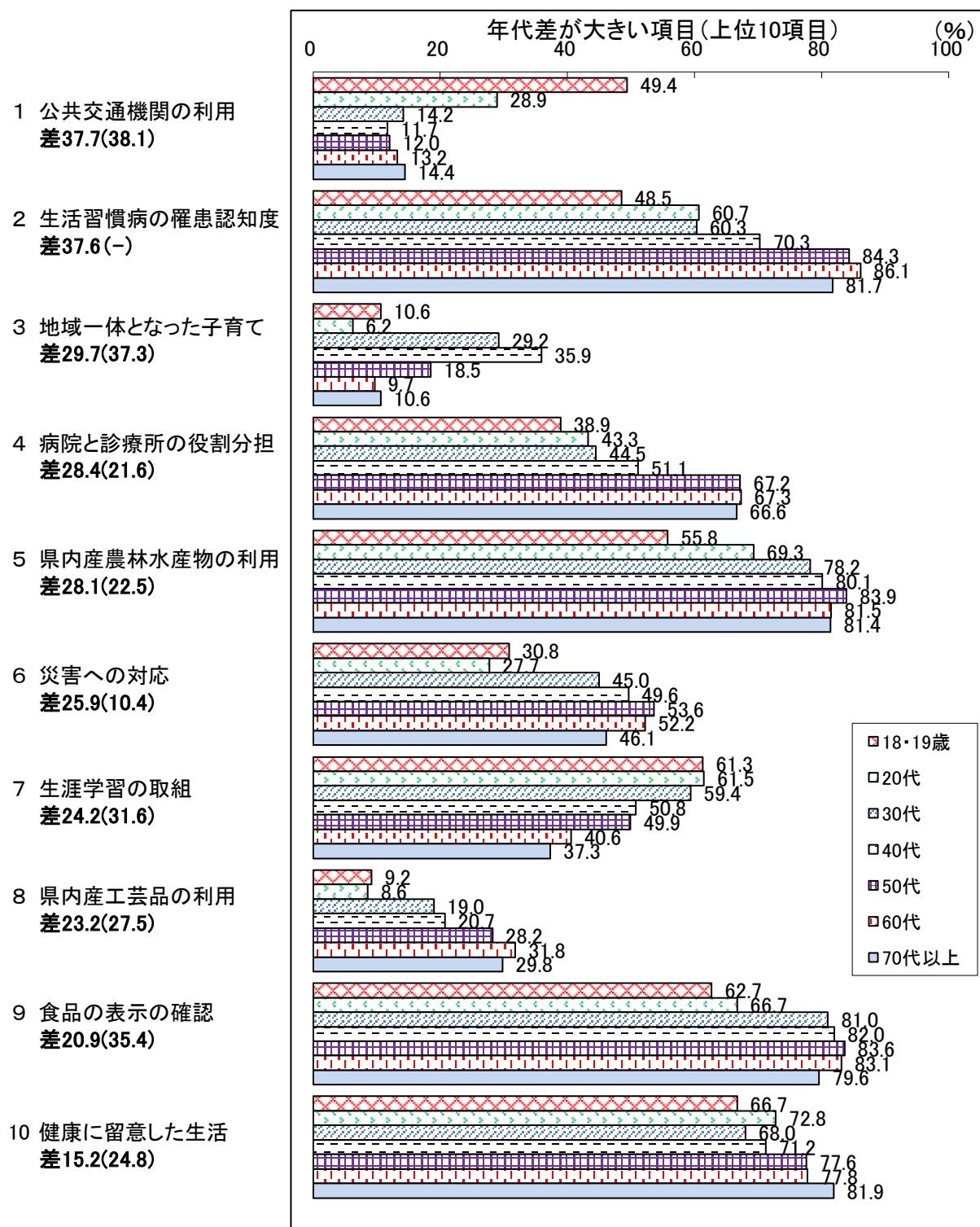
※（ ）内は前回数値（％）を参考掲載。「生涯学習の取組」、「病院と診療所の役割分担」、「災害への対応」及び「地球温暖化防止への対応」は『令和7年県民意識調査』にて調査したため、行動者率は令和7年調査時のものを掲載。

年代差が大きい項目

(グラフは次ページ)

- 最も年代差（最大値と最小値の差）が大きい項目は、「公共交通機関の利用」で18・19歳が49.4%であるのに対し、40歳代は11.7%となっており、その差は37.7ポイントとなっている。
- 次に年代差が大きい項目は、「生活習慣病の罹患認知度」で60歳代が86.1%であるのに対し、18・19歳は48.5%となっており、その差は37.6ポイントとなっている。
- 3番目に年代差が大きい項目は、「地域一体となった子育て」で40歳代が35.9%であるのに対し、20歳代は6.2%となっており、その差は29.7ポイントとなっている。

年代 順位	50歳代	60歳代	70歳代以上
1	生活習慣病の罹患認知度 84.3 (-)	生活習慣病の罹患認知度 86.1 (-)	健康に留意した生活 81.9 (87.1)
2	県内産農林水産物の利用 83.9 (83.8)	食品の表示の確認 83.1 (86.6)	生活習慣病の罹患認知度 81.7 (-)
3	食品の表示の確認 83.6 (86.2)	地球温暖化防止への対応 83.0 (80.5)	県内産農林水産物の利用 81.4 (86.6)
4	地球温暖化防止への対応 82.4 (79.4)	県内産農林水産物の利用 81.5 (86.5)	地球温暖化防止への対応 80.7 (76.2)
5	ごみの減量化への対応 78.5 (79.6)	ごみの減量化への対応 79.4 (80.1)	食品の表示の確認 79.6 (81.3)
6	健康に留意した生活 77.6 (79.3)	健康に留意した生活 77.8 (84.8)	ごみの減量化への対応 75.7 (74.6)
7	交通安全への対応 76.8 (74.0)	交通安全への対応 74.0 (72.8)	病院と診療所の役割分担 66.6 (60.0)
8	病院と診療所の役割分担 67.2 (62.0)	病院と診療所の役割分担 67.3 (66.0)	交通安全への対応 64.0 (65.7)
9	災害への対応 53.6 (41.6)	災害への対応 52.2 (42.0)	防犯への対応 49.8 (48.0)
10	防犯への対応 51.1 (50.7)	防犯への対応 50.7 (50.5)	災害への対応 46.1 (36.8)
11	生涯学習の取組 49.9 (49.1)	生物多様性保全への対応 41.6 (42.0)	生涯学習の取組 37.3 (36.8)
12	生物多様性保全への対応 40.4 (42.2)	生涯学習の取組 40.6 (44.1)	生物多様性保全への対応 33.1 (35.3)
13	県内産工芸品の利用 28.2 (27.3)	県内産工芸品の利用 31.8 (33.1)	県内産工芸品の利用 29.8 (35.8)
14	地域一体となった子育て 18.5 (16.6)	市民活動への参加 22.4 (25.4)	市民活動への参加 24.1 (26.4)
15	市民活動への参加 18.0 (17.6)	公共交通機関の利用 13.2 (9.8)	公共交通機関の利用 14.4 (16.8)
16	公共交通機関の利用 12.0 (10.3)	伝統芸能への参加 9.9 (14.3)	伝統芸能への参加 11.6 (16.9)
17	伝統芸能への参加 10.9 (8.7)	地域一体となった子育て 9.7 (14.0)	地域一体となった子育て 10.6 (15.5)



(参考) 前回数値 (%)

	公共交通機関の利用	地域一体となった子育て	食品の表示の確認	病院と診療所の役割分担(注)	災害への対応(注)	生涯学習の取組(注)	県内産工芸品の利用	健康に留意した生活	県内産農林水産物の利用	市民活動への参加
18.19歳	47.9	0.0	51.2	46.2	36.7	68.4	8.7	78.7	65.9	12.7
20歳代	20.8	6.6	73.9	44.4	31.6	55.5	8.3	62.3	64.1	10.6
30歳代	9.9	30.2	81.6	54.6	40.5	51.9	17.8	71.5	75.1	12.7
40歳代	14.2	37.3	81.7	52.5	40.2	51.2	23.7	73.7	81.4	16.9
50歳代	10.3	16.6	86.2	62.0	41.6	49.1	27.3	79.3	83.8	17.6
60歳代	9.8	14.0	86.6	66.0	42.0	44.1	33.1	84.8	86.5	25.4
70歳代以上	16.8	15.5	81.3	60.0	36.8	36.8	35.8	87.1	86.6	26.4
年代差	38.1	37.3	35.4	21.6	10.4	31.6	27.5	24.8	22.5	15.8

※1 (注)は「令和7年県民意識調査」にて調査したため、行動者率は令和7年調査時のものを掲載。

※2 最大値と最小値を塗りつぶし。

※3 小数点第1位未満四捨五入の関係から、最大値と最小値の差が「年代差」と一致しない場合があります。

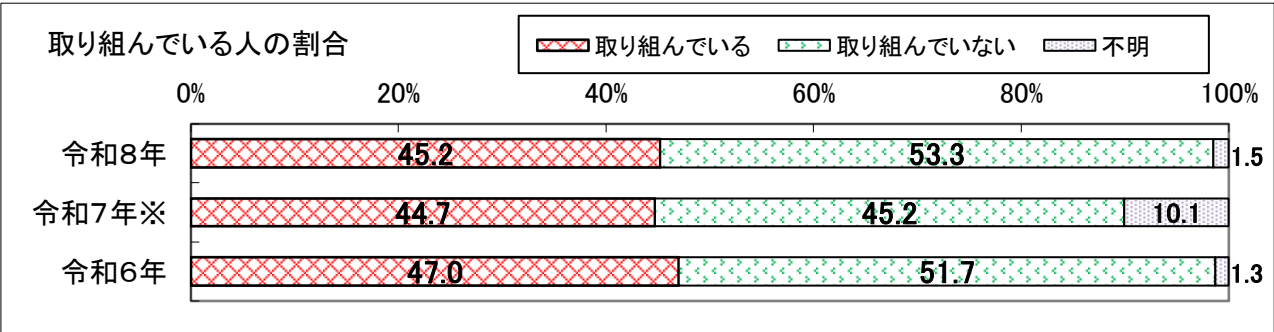
設問別集計結果

設問 1 生涯学習について

生涯学習に取り組んでいますか

生涯学習に取り組んでいる人は4割台後半

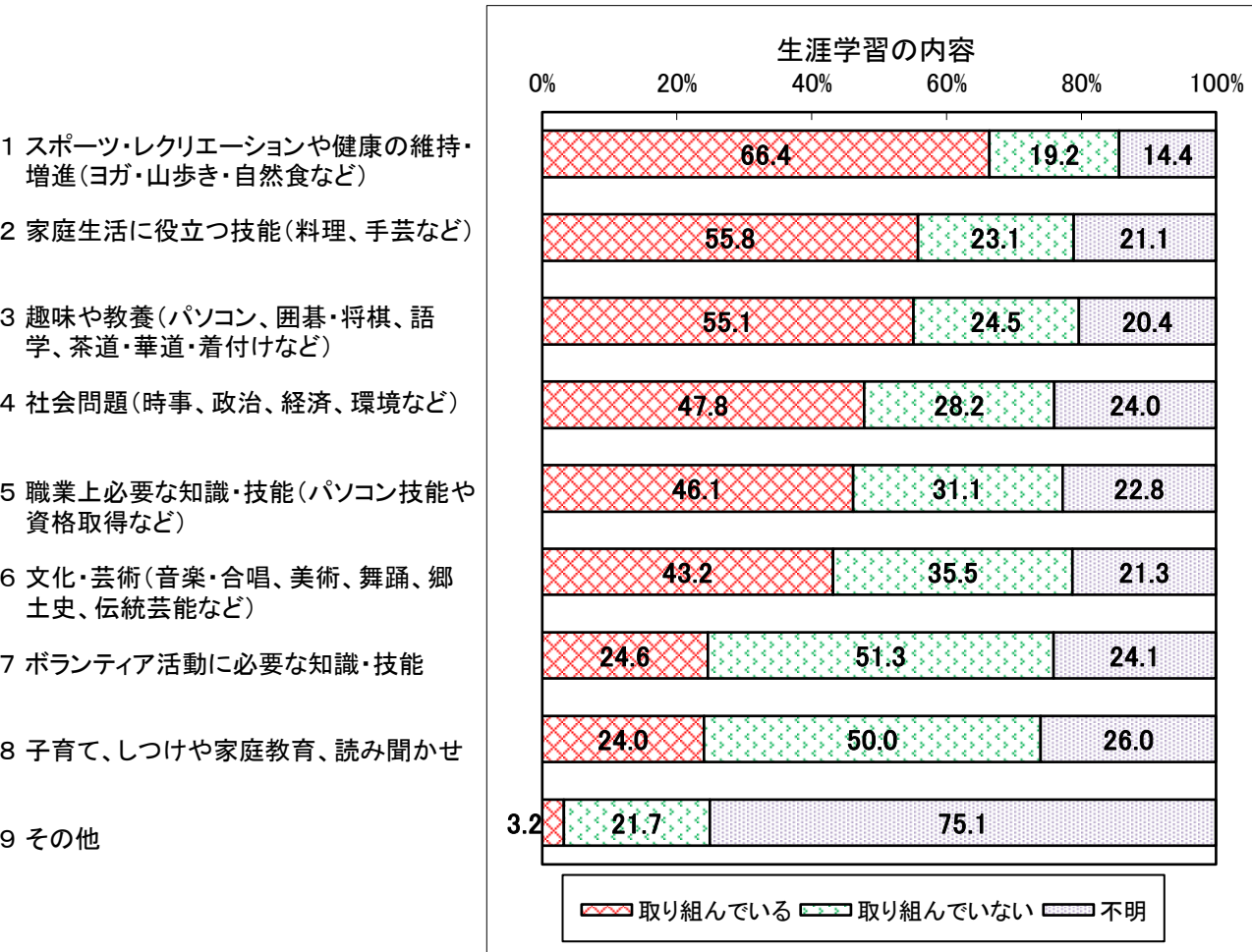
○ 生涯学習に取り組んでいる人の割合は45.2%となっている。



※令和7年県の施策に関する県民意識調査結果

1 取り組んでいる内容

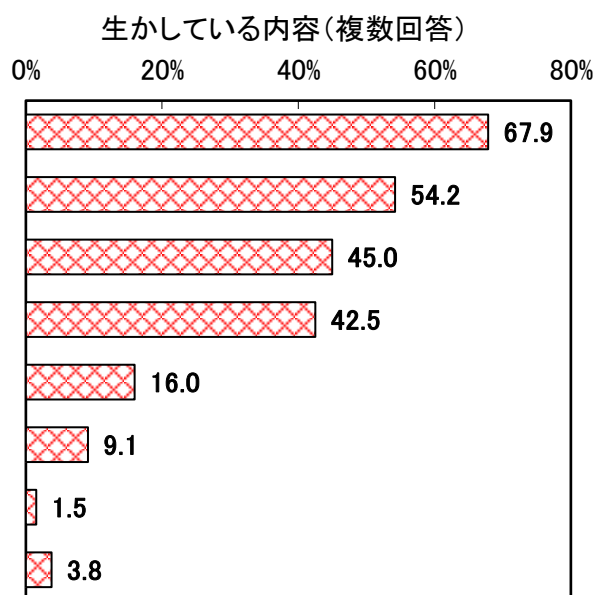
○ 生涯学習の内容は、「スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進（ヨガ・山歩き・自然食など）」が最も多く66.4%、次いで「家庭生活に役立つ技能（料理、手芸など）」の55.8%などとなっている。



生涯学習によって身に着けた知識・技能や経験を、どのようなことに生かしていますか

○ 生かしている内容は、「自分の人生をより豊かにすること」が最も多く67.9%、次いで「健康の維持・増進」の54.2%などとなっている。

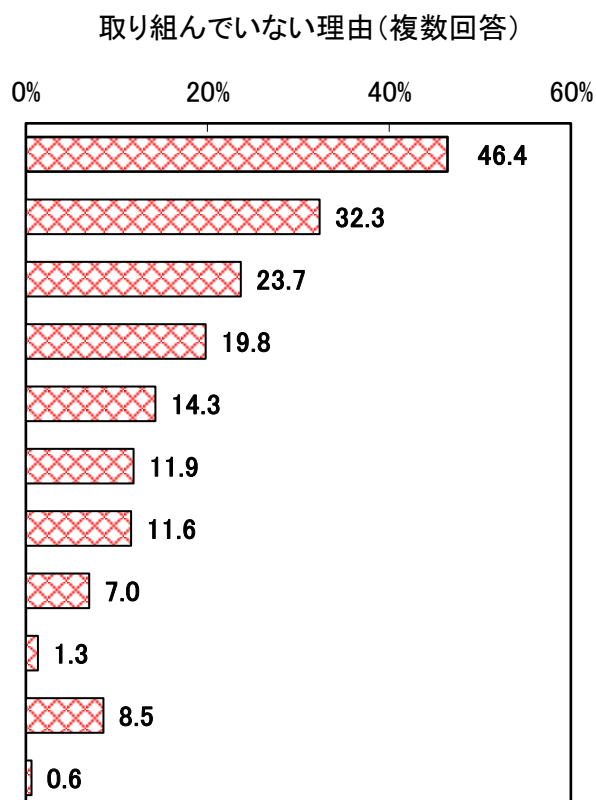
- 1 自分の人生をより豊かにすること
- 2 健康の維持・増進
- 3 家庭生活
- 4 仕事や職業、資格取得など
- 5 ボランティア活動や地域づくり活動、NPO・PTA・自治会等の各種団体活動
- 6 他の人の学習やスポーツ活動、文化活動などの指導
- 7 その他
- 8 不明



2 取り組んでいない理由

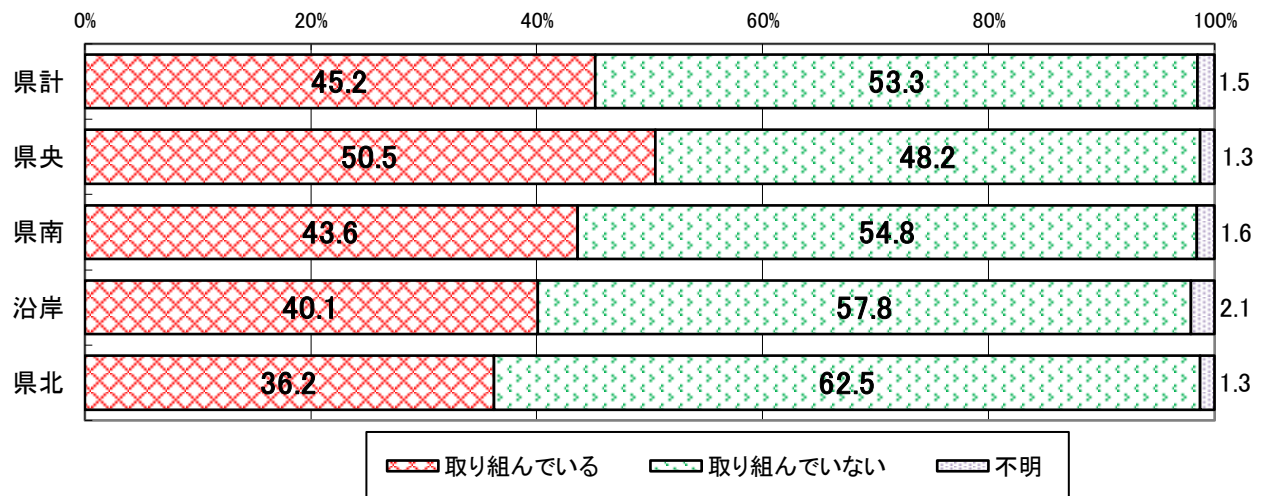
○ 取り組んでいない理由は、「仕事や家事が忙しくて取り組む時間がないから」が最も多く46.4%、次いで「関心がないから」の32.3%などとなっている。

- 1 仕事や家事が忙しくて取り組む時間がないから
- 2 関心がないから
- 3 費用がかかるから
- 4 どのようにして取り組めばよいのかわからないから
- 5 内容・時間・場所・費用など、必要な情報が十分に手に入らないから
- 6 身近なところに取り組むための場所や施設がないから
- 7 一緒に取り組む仲間がいないから
- 8 自分の希望に沿う内容の講座などがないから
- 9 家族や職場など、周囲の理解が得られないから
- 10 その他
- 11 不明

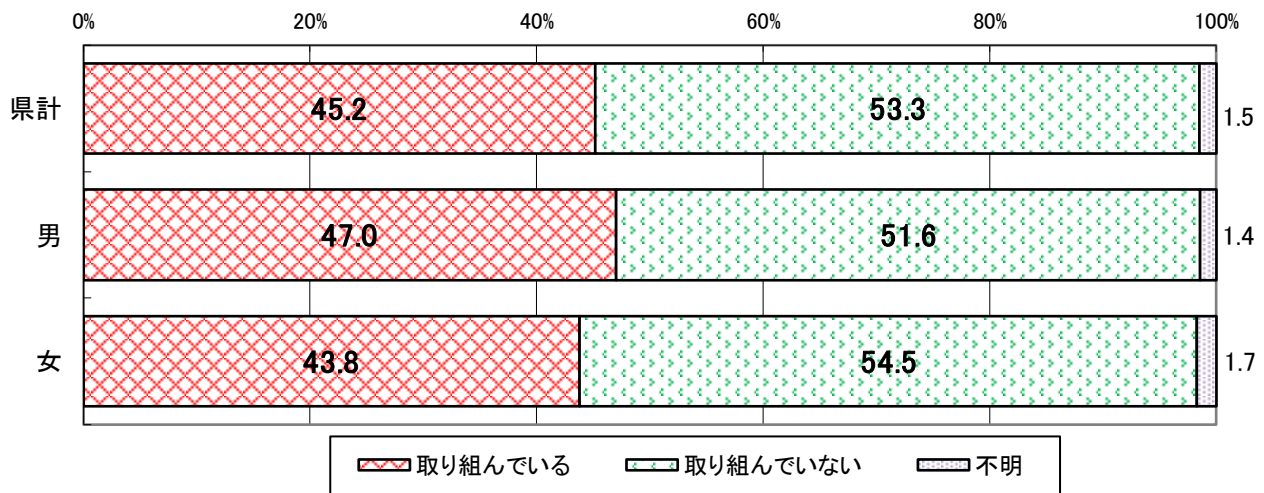


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

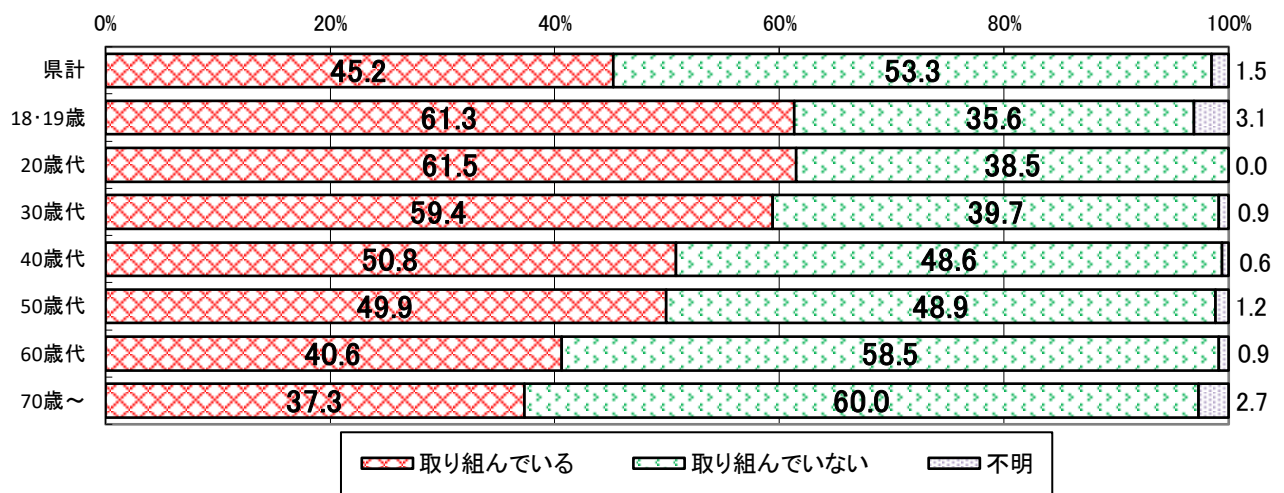
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

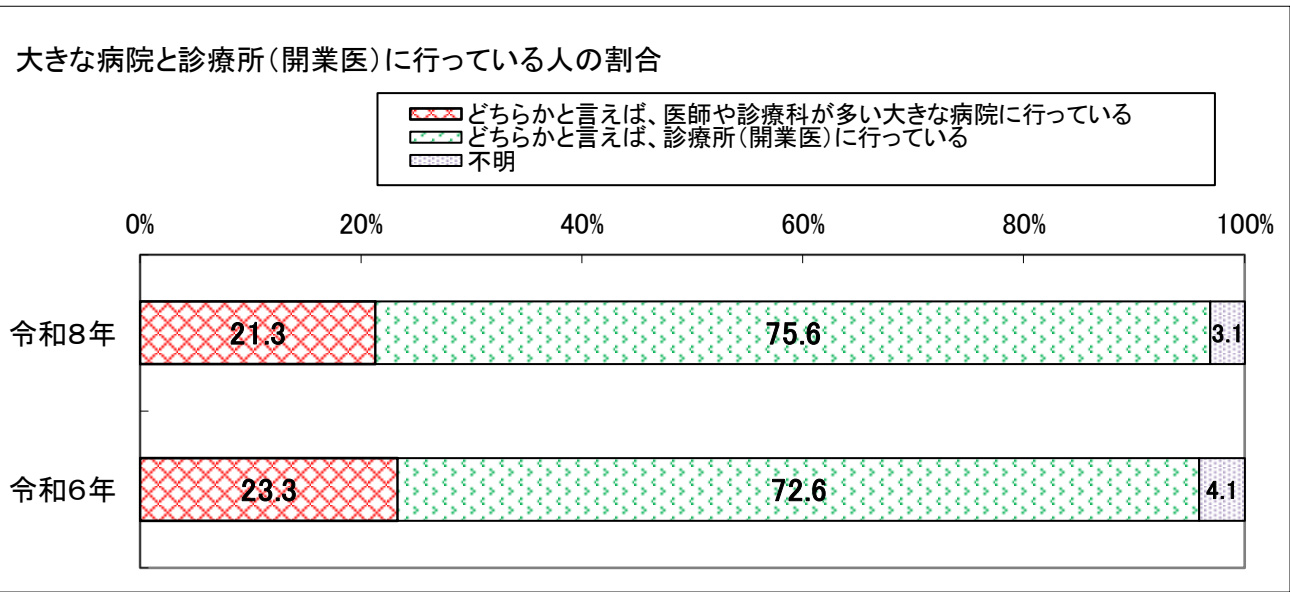


設問 2 大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について

病気やケガなどで医療機関を受診するとき、どのようにしていますか

診療所（開業医）に行っている人は7割台後半

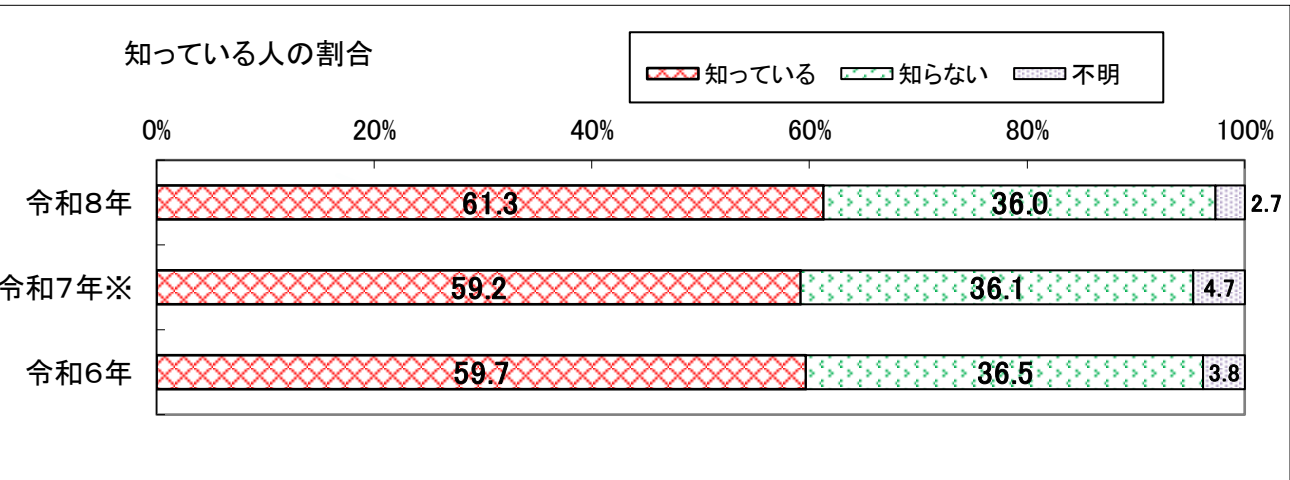
○ どちらかと言えば、診療所（開業医）に行っている人の割合は75.6%となっている。



大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っていますか

役割分担について知っている人は約6割

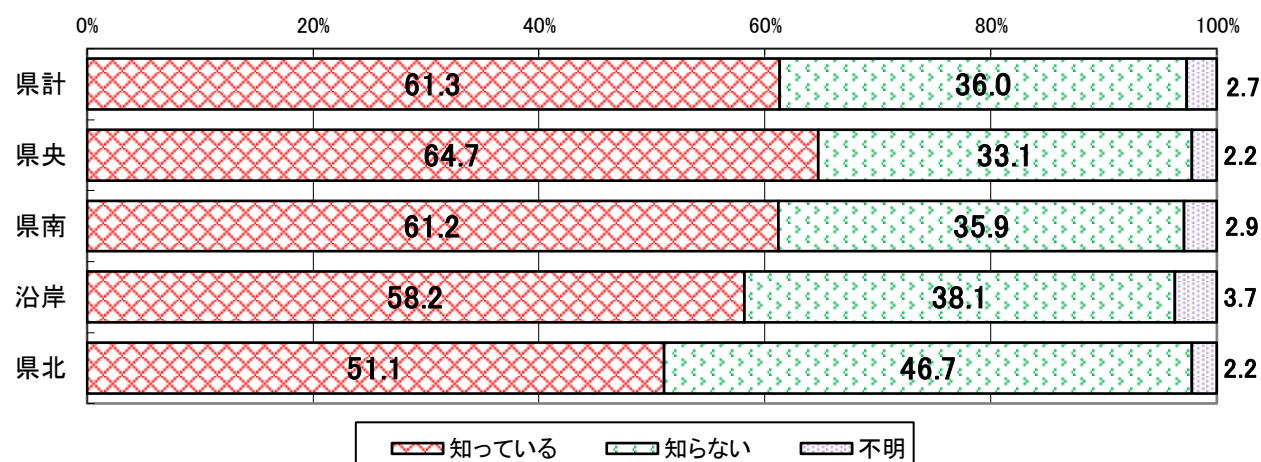
○ 大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っている人の割合は61.3%となっている。



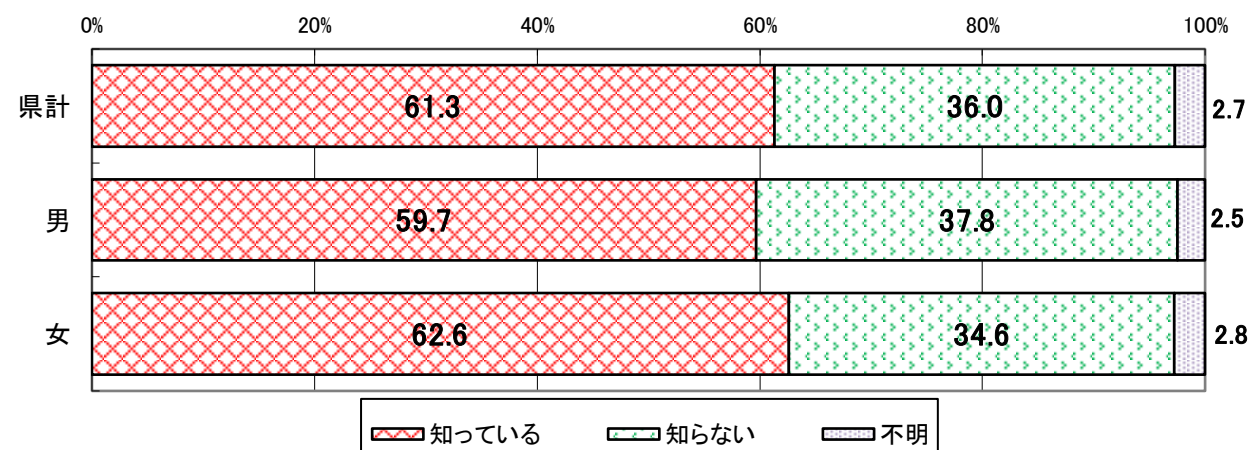
※令和7年県の施策に関する県民意識調査結果

〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

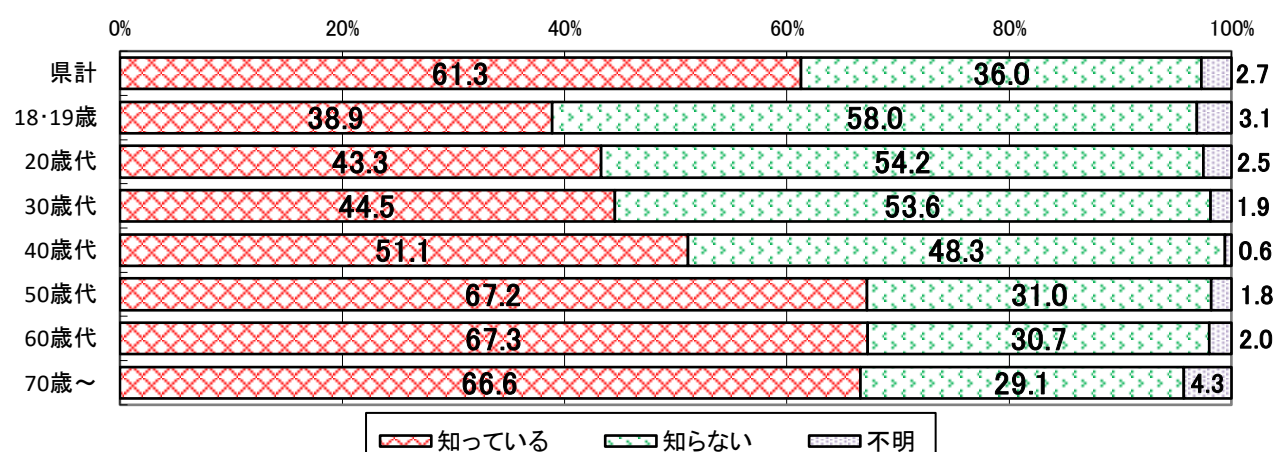
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

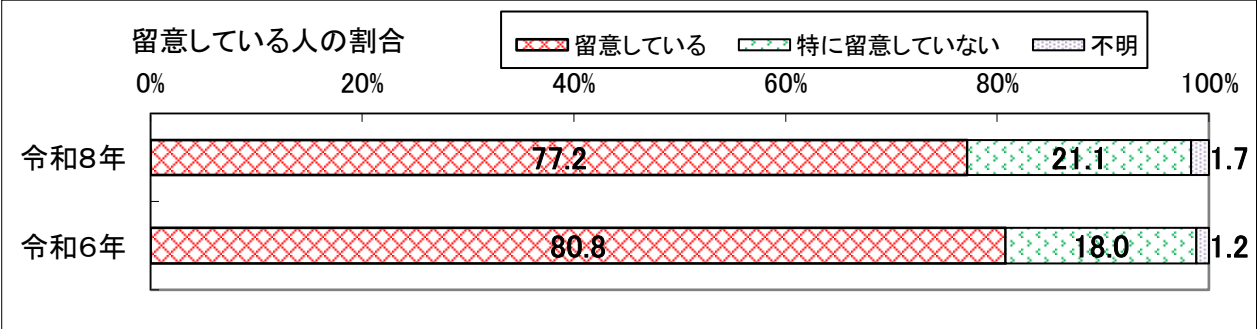


設問3 健康に留意した生活について

普段、健康に留意して生活していますか

健康に留意して生活している人は7割台後半

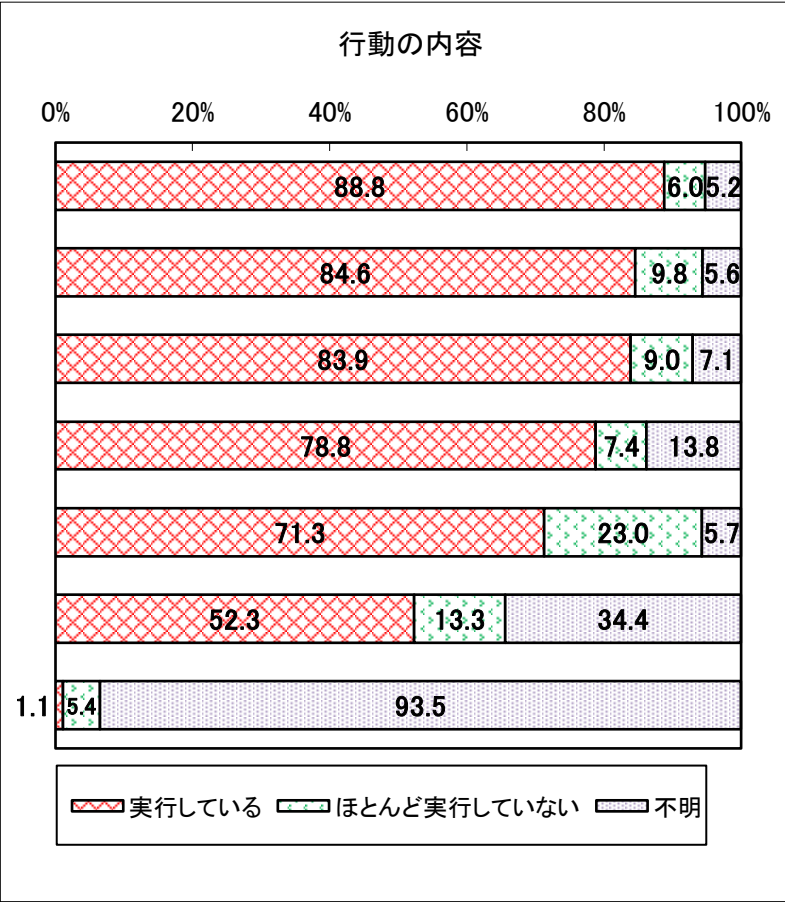
○ 普段、健康に留意して生活している人の割合は77.2%となっている。



1 留意している場合

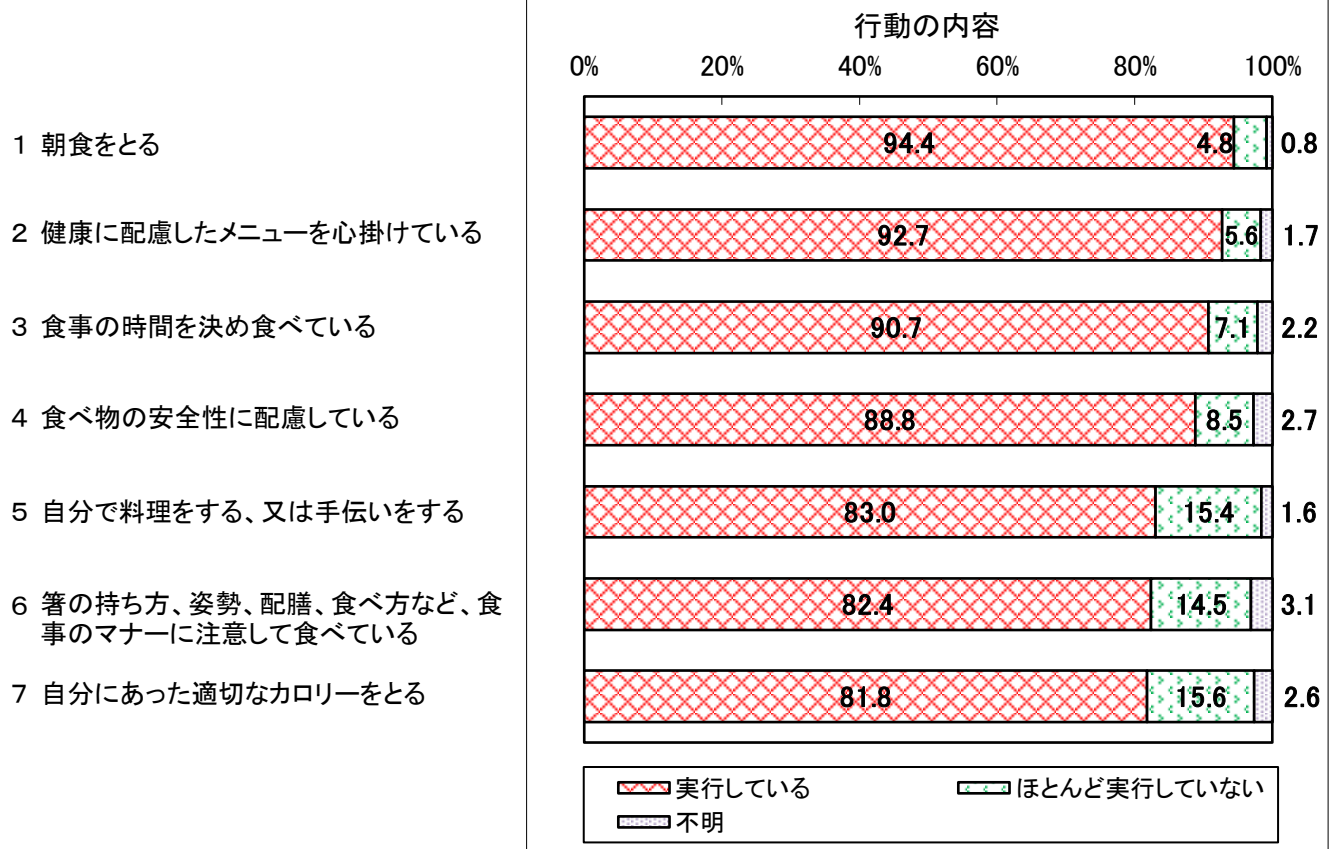
○ 健康のために努めている行動の内容は、「睡眠時間を十分にとる」が最も多く88.8%、次いで「定期的に健康診断を受ける」の84.6%、「ストレスをためないよう気分転換をする」の83.9%などとなっている。

- 1 睡眠時間を十分にとる
- 2 定期的に健康診断を受ける
- 3 ストレスをためないよう気分転換をする
- 4 食生活に注意している
- 5 自分にあった運動を心がけている
- 6 タバコやアルコールを控える(喫煙・飲酒をする方のみ)
- 7 その他



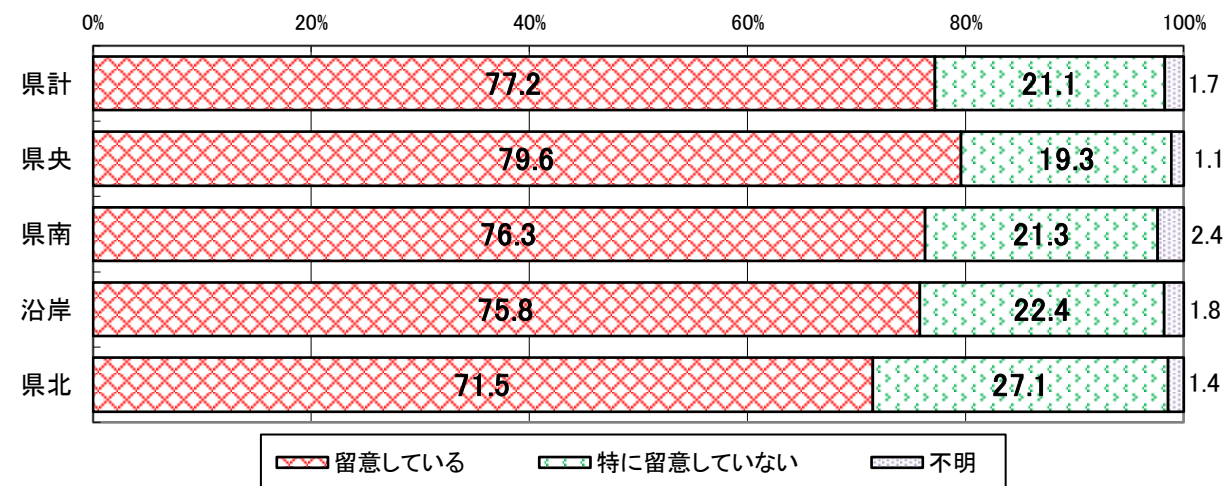
2 食生活に注意している場合

○ 食生活で注意している行動の内容は、「朝食をとる」が最も多く94.4%、次いで「健康に配慮したメニューを心掛けている」の92.7%などとなっている。

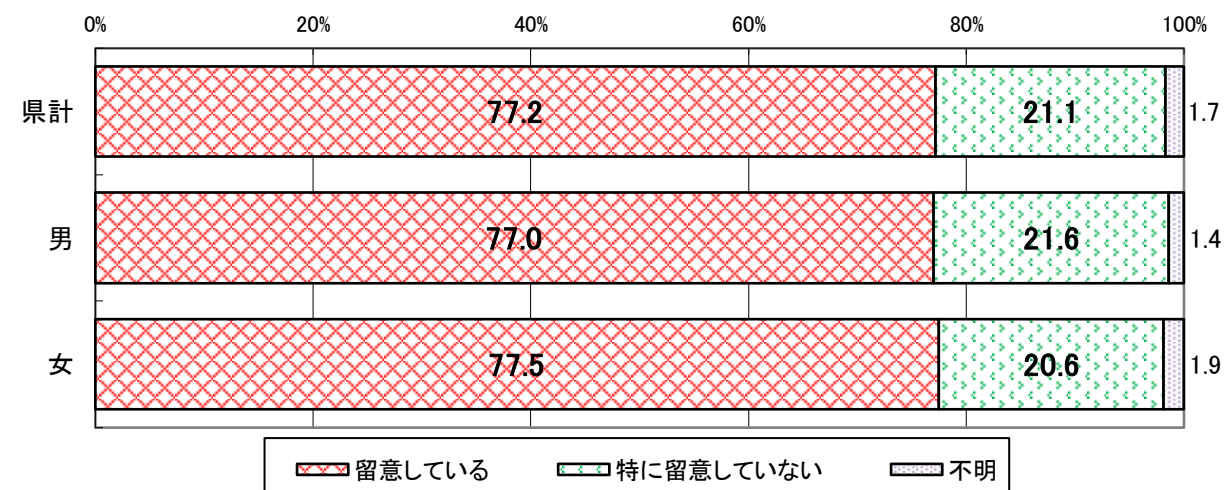


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

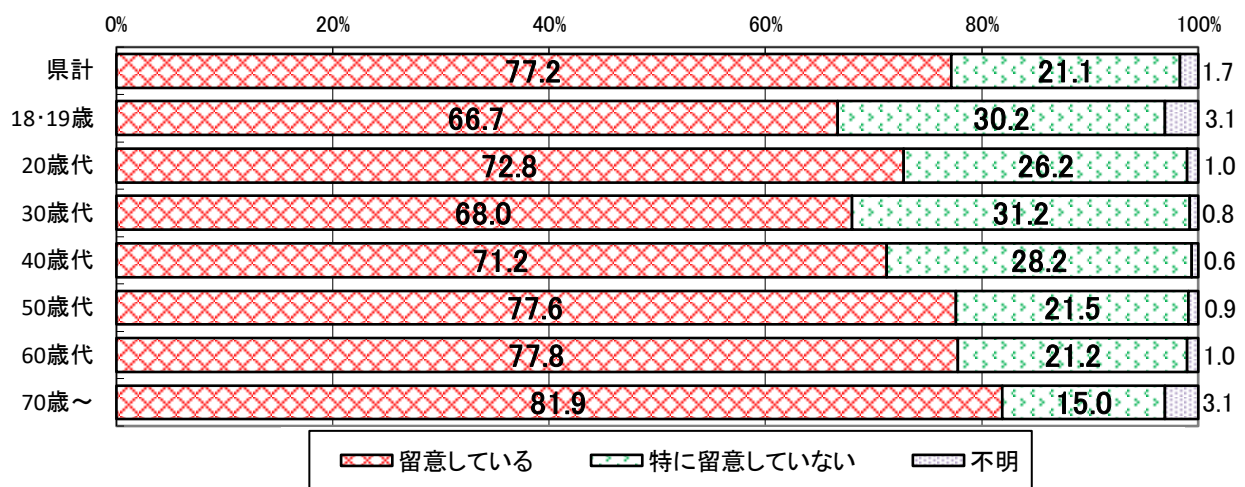
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

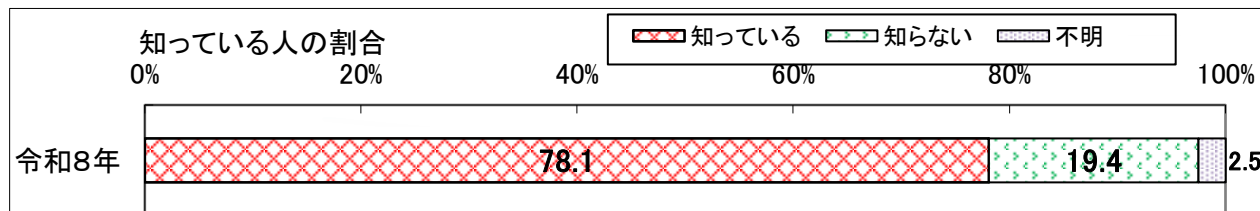


設問 4 脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）による死亡率について

岩手県が脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）による死亡率が全国に比べて高いことを知っていますか

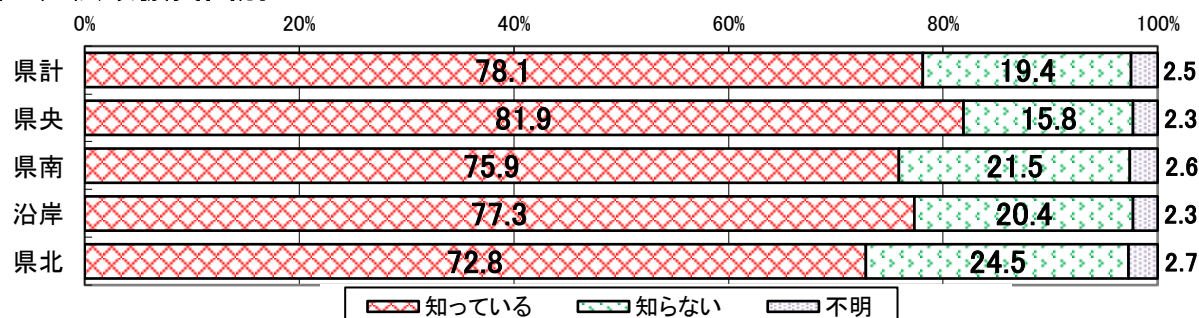
死亡率が全国に比べて高いことを知っている人は約8割

○ 岩手県が脳卒中による死亡率が全国に比べて高いことについて知っている人の割合は78.1%となっている。

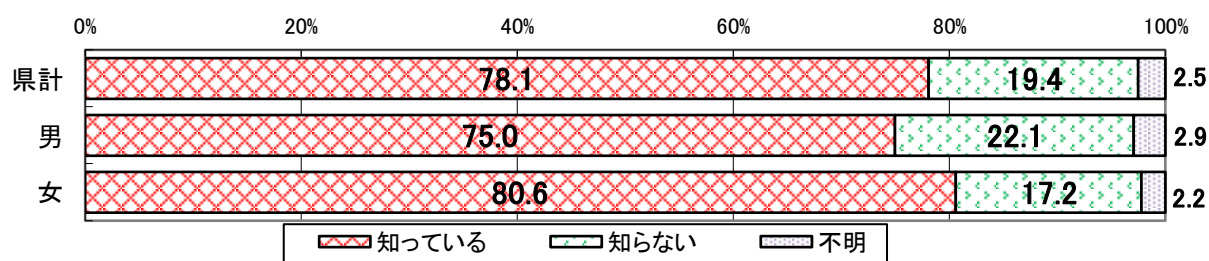


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

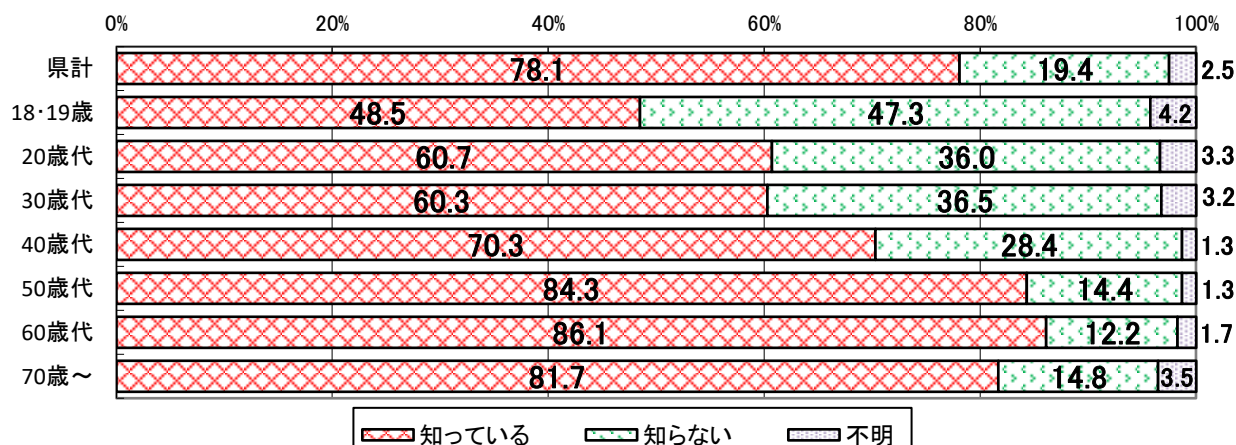
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

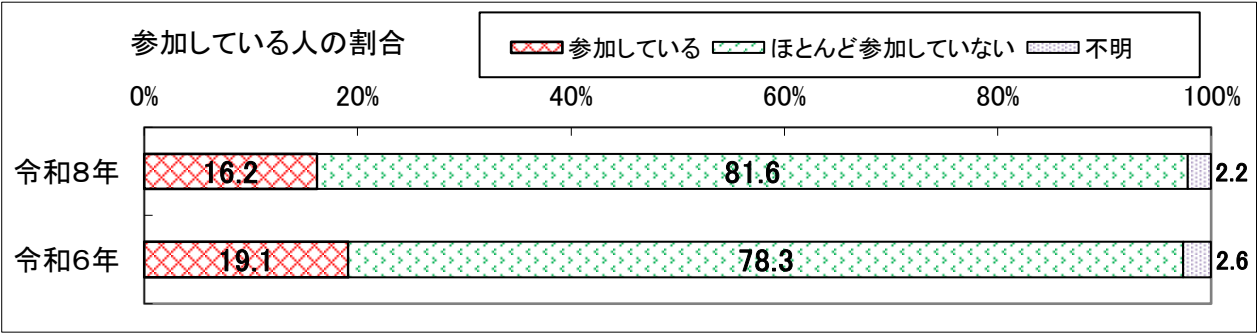


設問5 地域が一体となって子どもを育てることについて

学校行事や地域において子どもを育てる活動に参加していますか

子どもを育てる活動に参加している人は1割台後半

○ 学校行事や地域において子どもを育てる活動に参加している人の割合は16.2%となっている。



1 参加している場合

○ 活動の内容は、「PTA活動や運動会などの学校行事」が最も多く72.6%、次いで「あいさつなどの声かけ運動」の55.8%、「地区子ども会活動」の53.4%などとなっている。

1 PTA活動や運動会などの学校行事

2 あいさつなどの声かけ運動

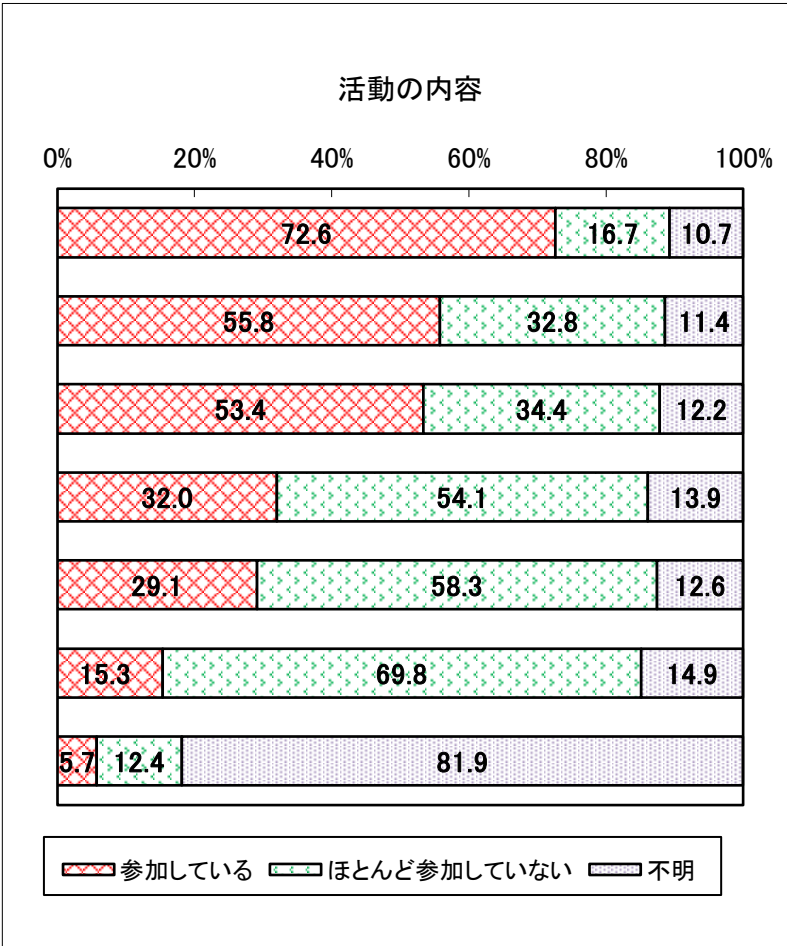
3 地区子ども会活動

4 スポーツ少年団などの地域活動

5 登下校時の見守りなど子どもの安全を守る活動

6 子育て支援ボランティアなどの育児支援活動

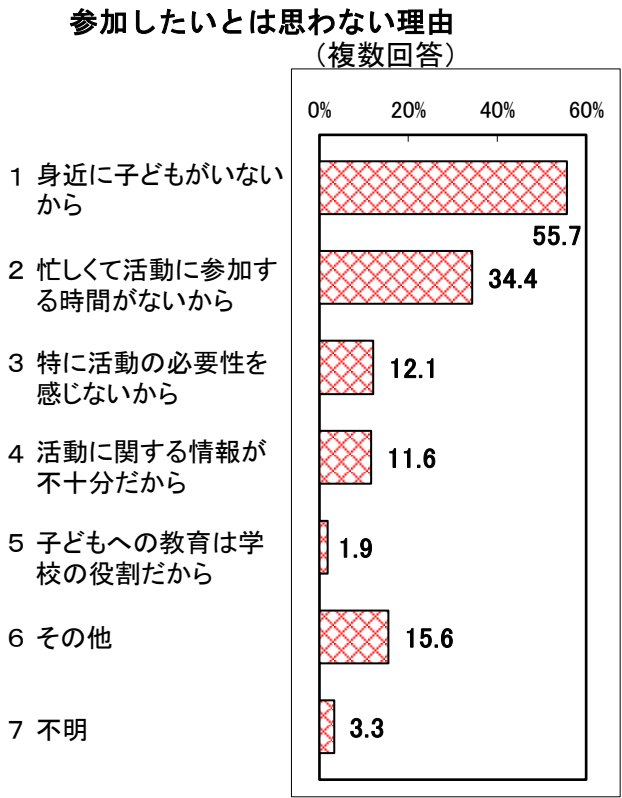
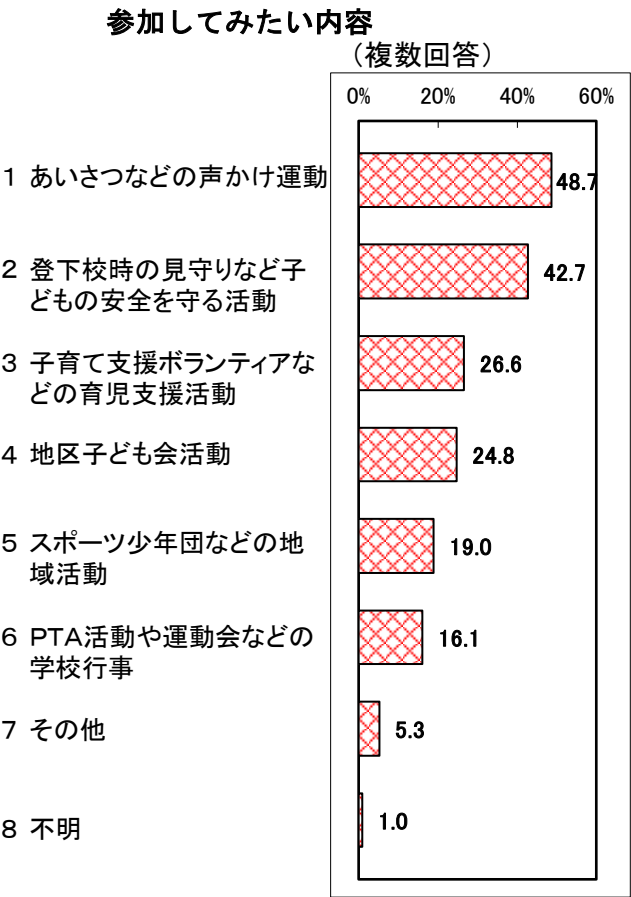
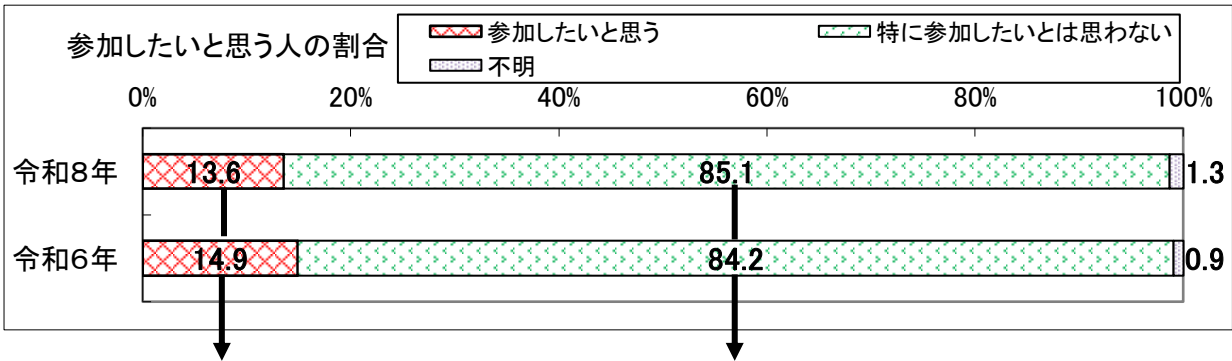
7 その他



2 ほとんど参加していない場合

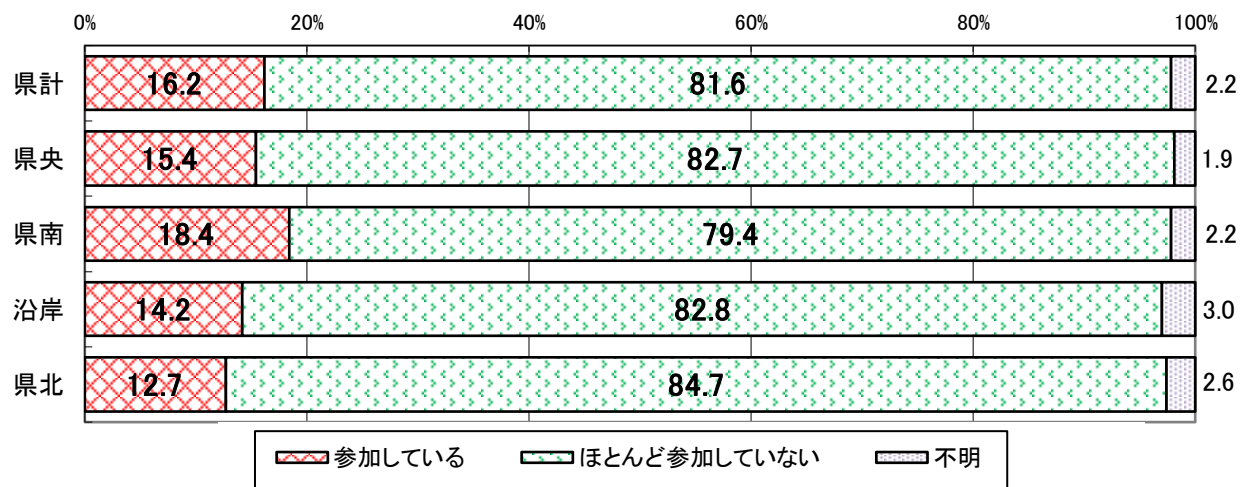
今後、参加してみたいと思いますか

- 「ほとんど参加していない」と回答した人で、今後、「参加したいと思う」と回答した人は13.6%、「特に参加したいとは思わない」と回答した人は85.1%となっている。
- 今後、参加してみたい内容は、「あいさつなどの声かけ運動」が最も多く48.7%、次いで「登下校時の見守りなど子どもの安全を守る活動」の42.7%などとなっている。
- 今後、参加したいとは思わない理由は、「身近に子どもがいないから」が最も多く55.7%、次いで「忙しくて活動に参加する時間がないから」の34.4%などとなっている。

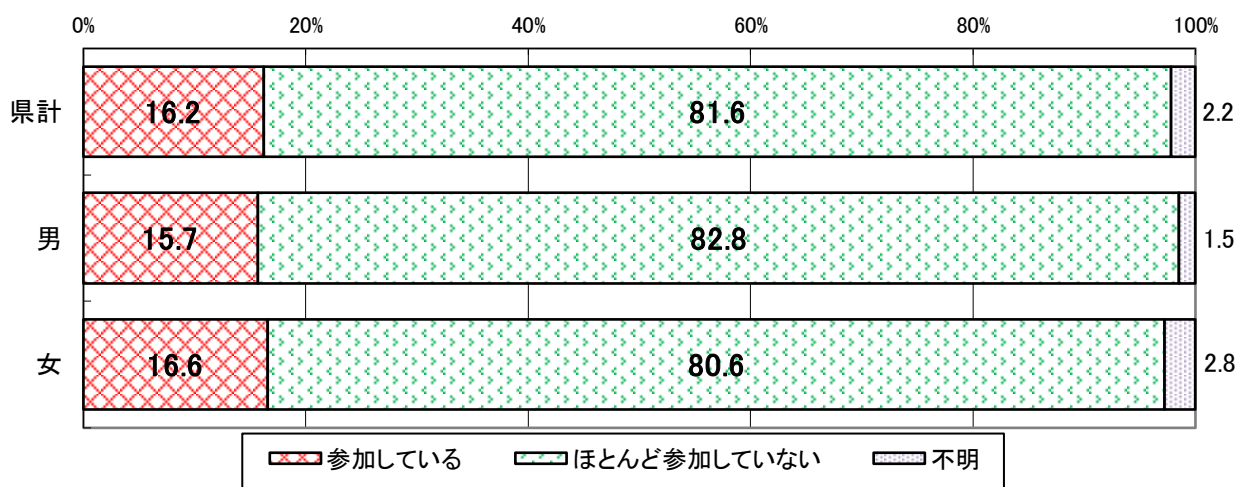


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

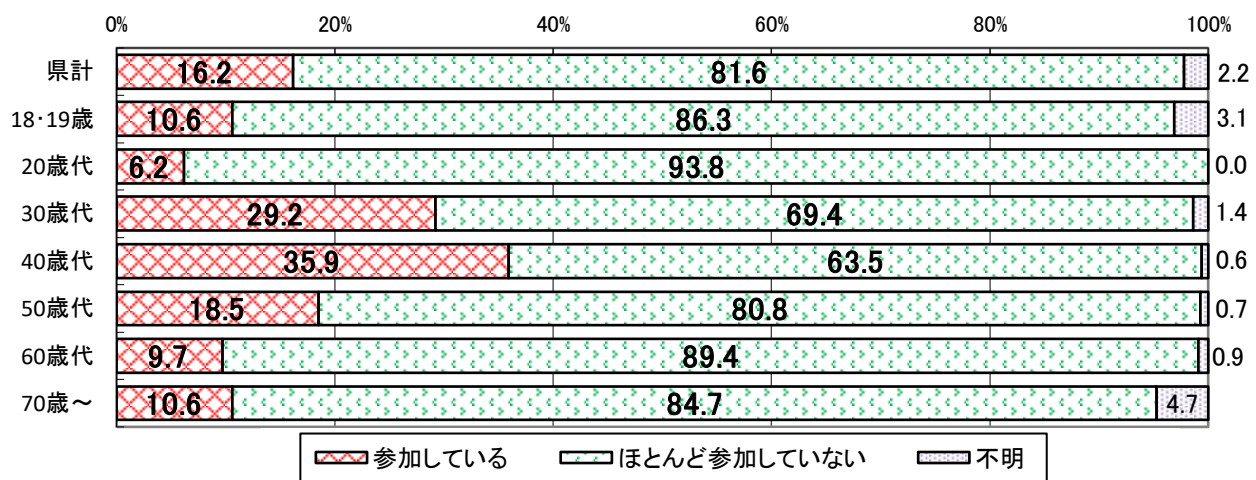
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

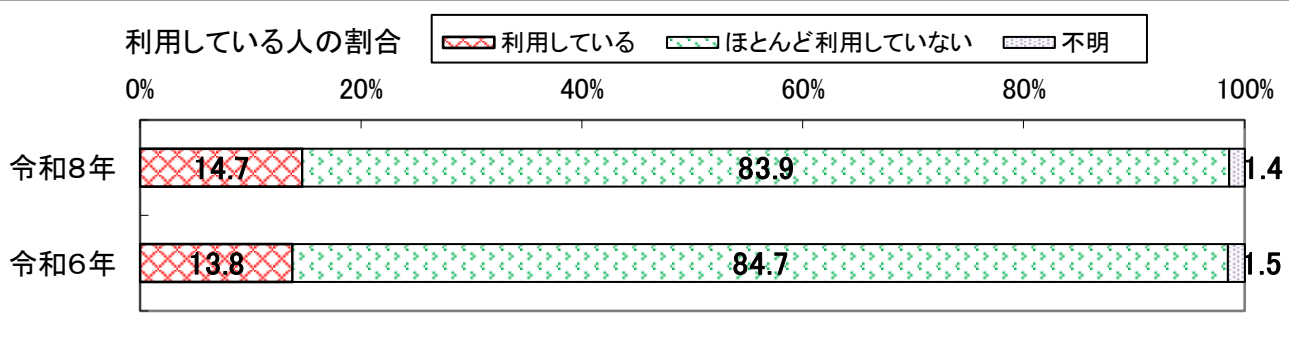


設問 6 公共交通機関の利用について

普段、バスや鉄道などの公共交通機関を利用していますか

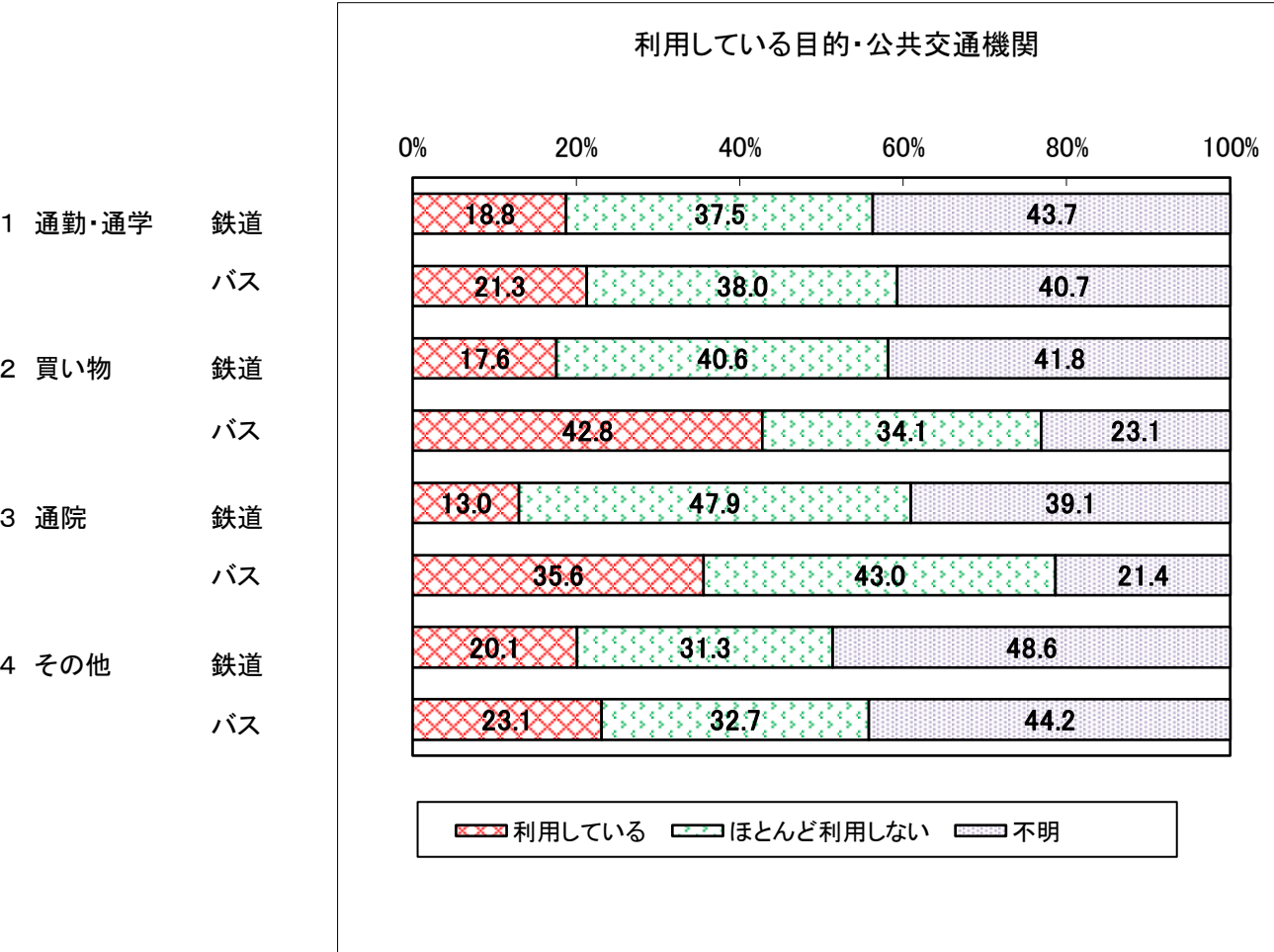
普段から公共交通機関を利用している人は1割台前半

○ 普段からバスや電車などの公共交通機関を利用している人の割合は14.7%となっている。



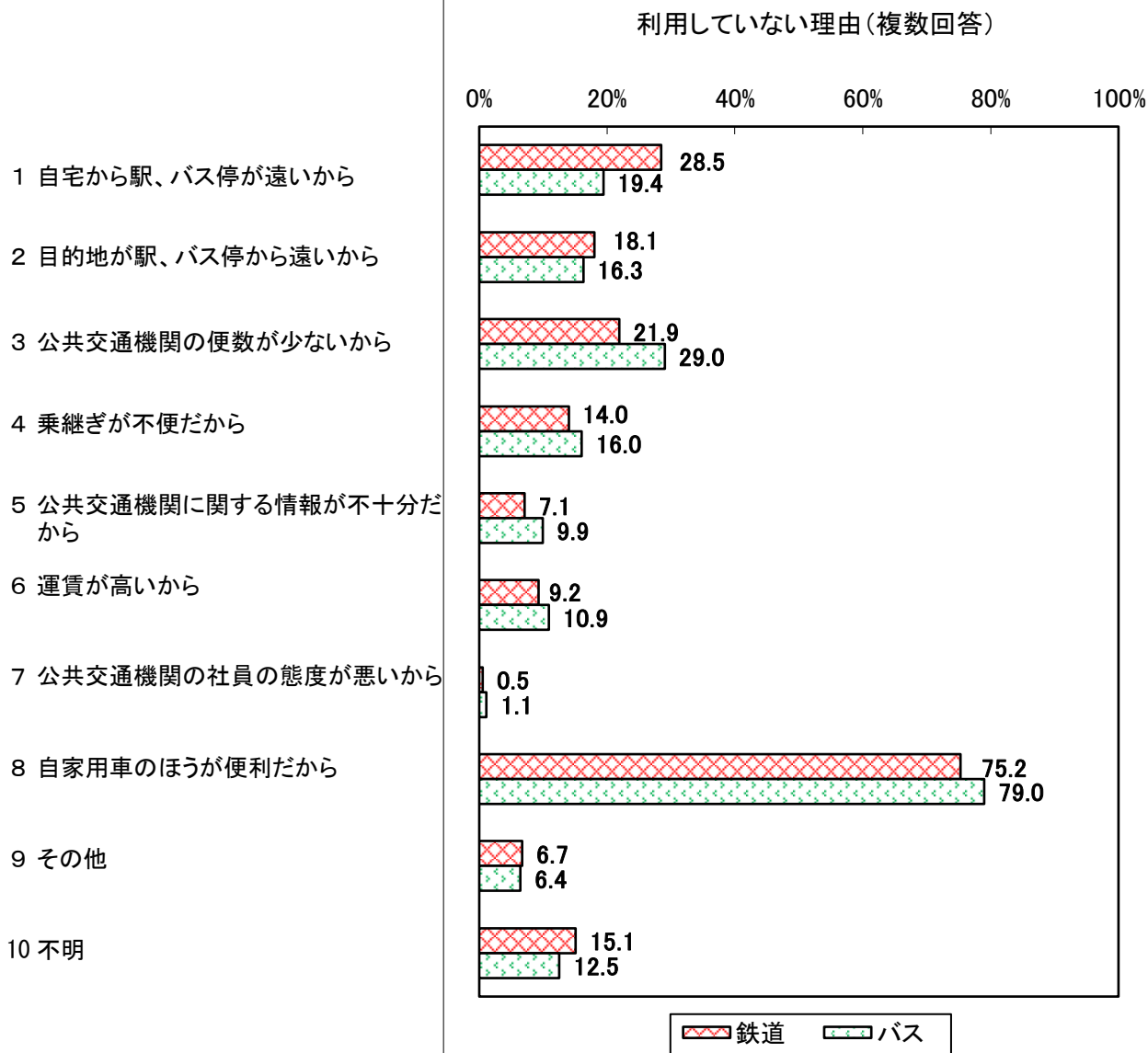
1 利用している場合

○ 利用している目的・公共交通機関ごとの利用の頻度は、「買い物の際のバス」が最も多く42.8%、次いで「通院の際のバス」の35.6%などとなっている。



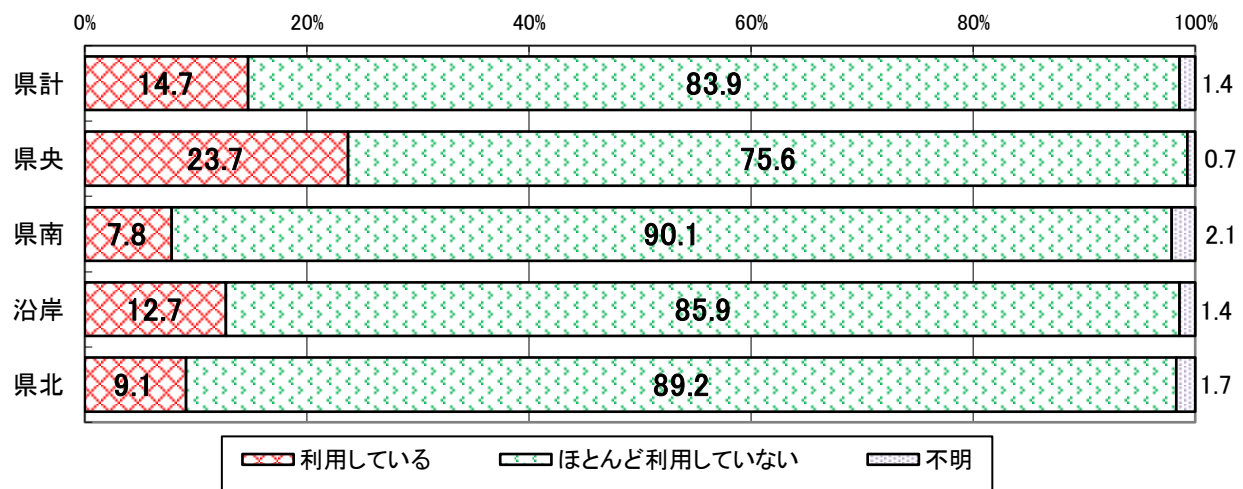
2 利用していない理由

- 「ほとんど利用していない」と回答した人の、利用していない理由で最も多いのは、鉄道、バス共に「自家用車のほうが便利だから」で、鉄道は75.2%、バスは79.0%となっている。
- 次いで多いのが、鉄道は「自宅から駅、バス停が遠いから」の28.5%、バスは「公共交通機関の便数が少ないから」の29.0%となっている。
- また、利用していない理由で鉄道とバスの差が最も大きかったのは、「自宅から駅、バス停が遠いから」の9.1%となっている。

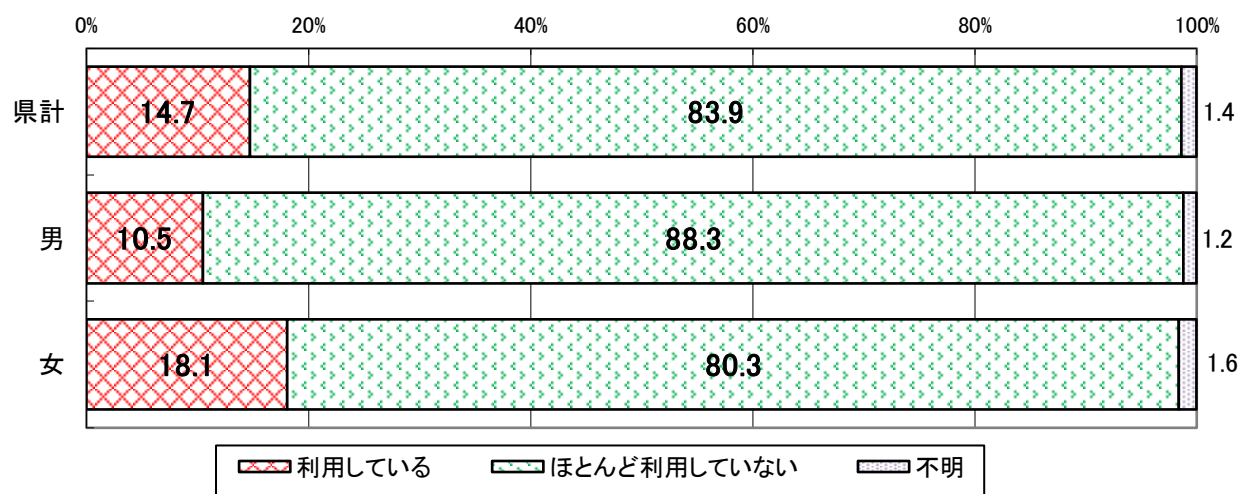


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

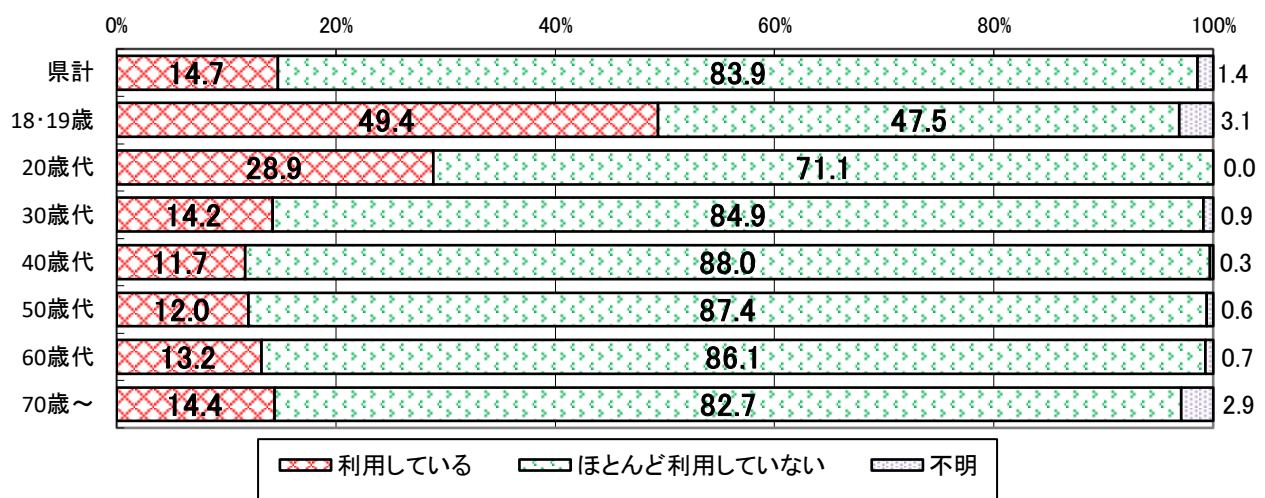
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

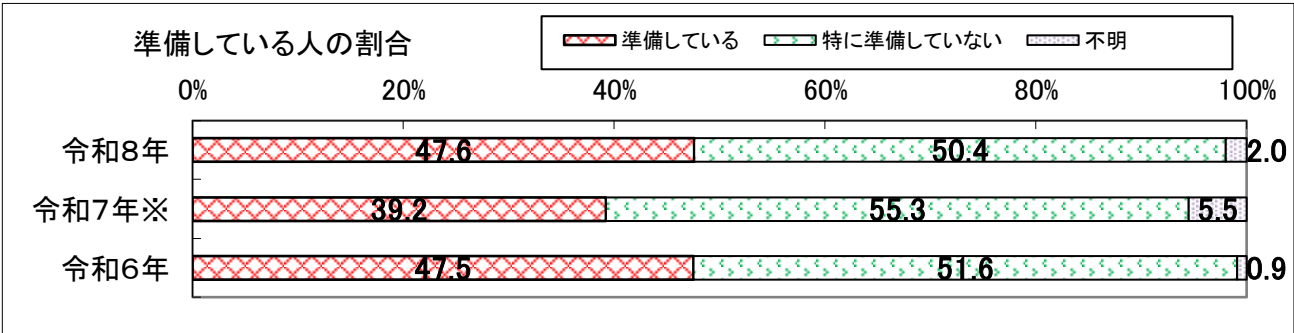


設問 7 災害への対応について

普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか

災害に備え、何らかの準備をしている人は4割台後半

○ 普段から災害に備え、何らかの準備をしている人の割合は47.6%となっている。

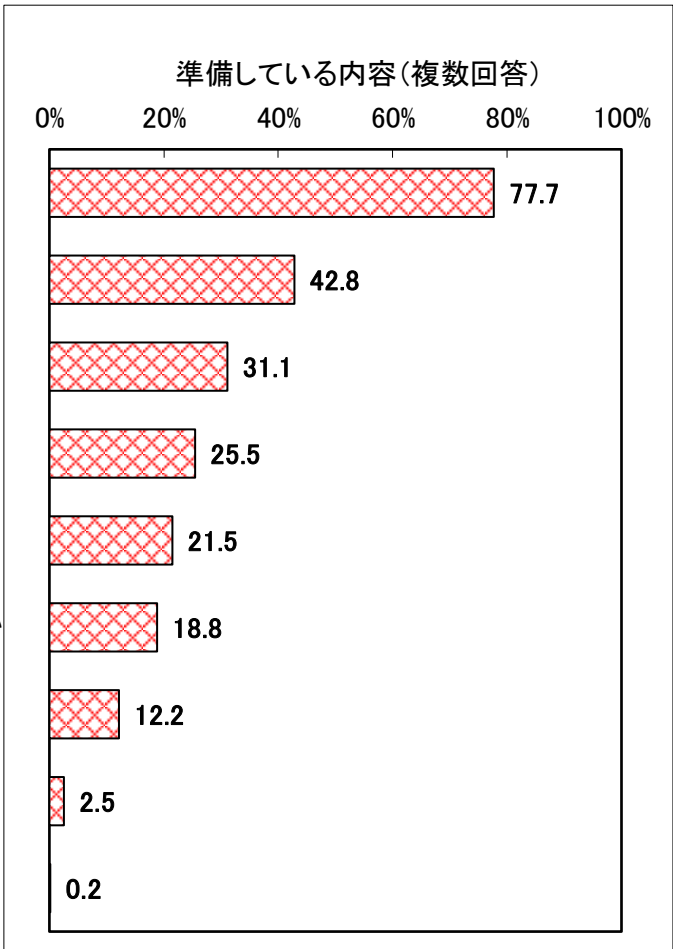


※令和7年県の施策に関する県民意識調査結果

1 準備している内容

○ 準備している内容は、「家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している」が最も多く77.7%、次いで「家具などの転倒防止措置を行っている」の42.8%、「家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している」の31.1%などとなっている。

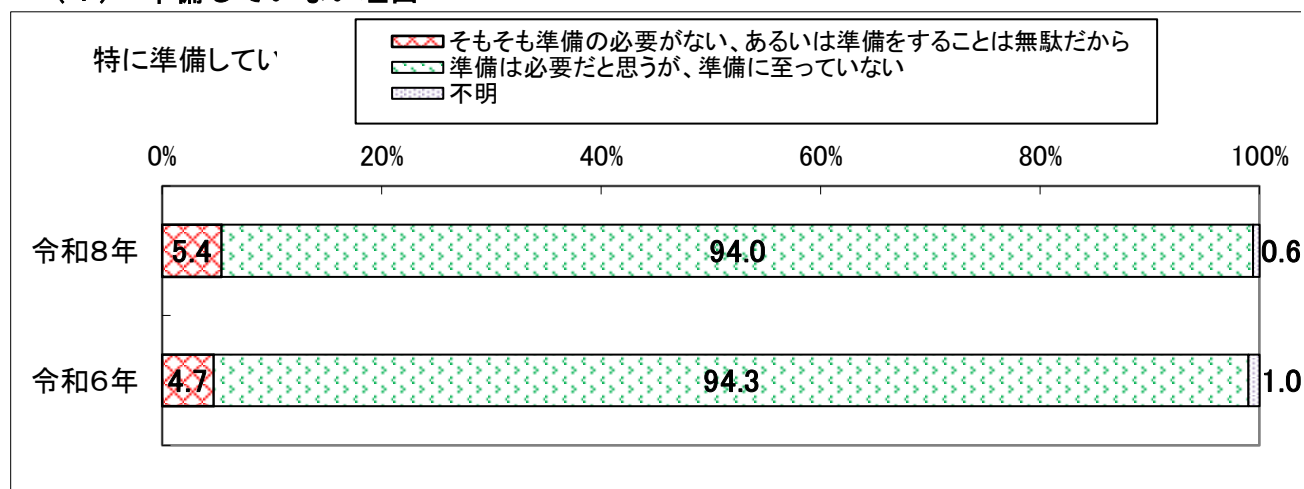
- 1 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している
- 2 家具などの転倒防止措置を行っている
- 3 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している
- 4 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている
- 5 地域で実施される防災訓練に年1回以上参加している
- 6 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている
- 7 地域の自主防災組織に加入している
- 8 その他
- 9 不明



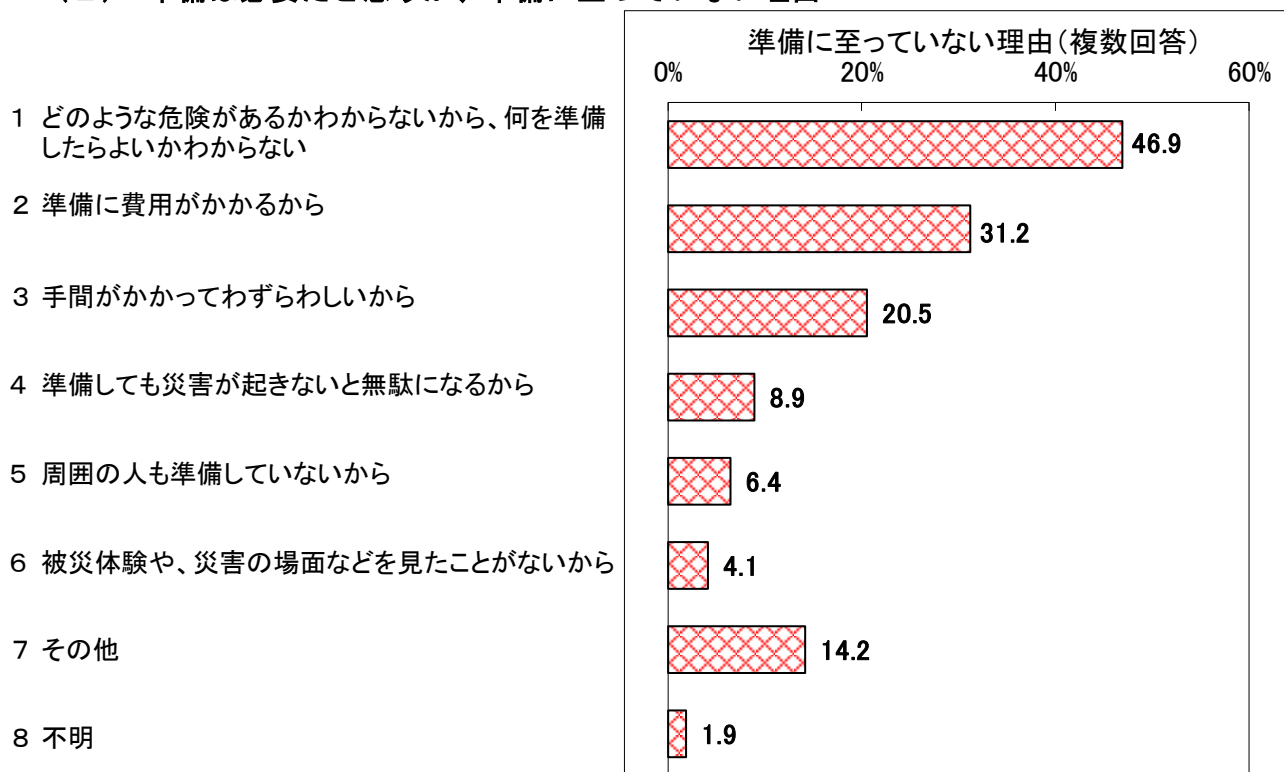
2 特に準備していない場合

- 特に準備をしていない人で、「準備は必要だと思うが、準備に至っていない」と回答した人の割合は94.0%となっている。
- 「準備は必要だと思うが、準備に至っていない」と回答した人の理由は、「どのような危険があるかわからないから、何を準備したらよいかわからない」が最も多く46.9%、次いで「準備に費用がかかるから」の31.2%、「手間がかかってわずらわしいから」の20.5%などとなっている。

(1) 準備していない理由

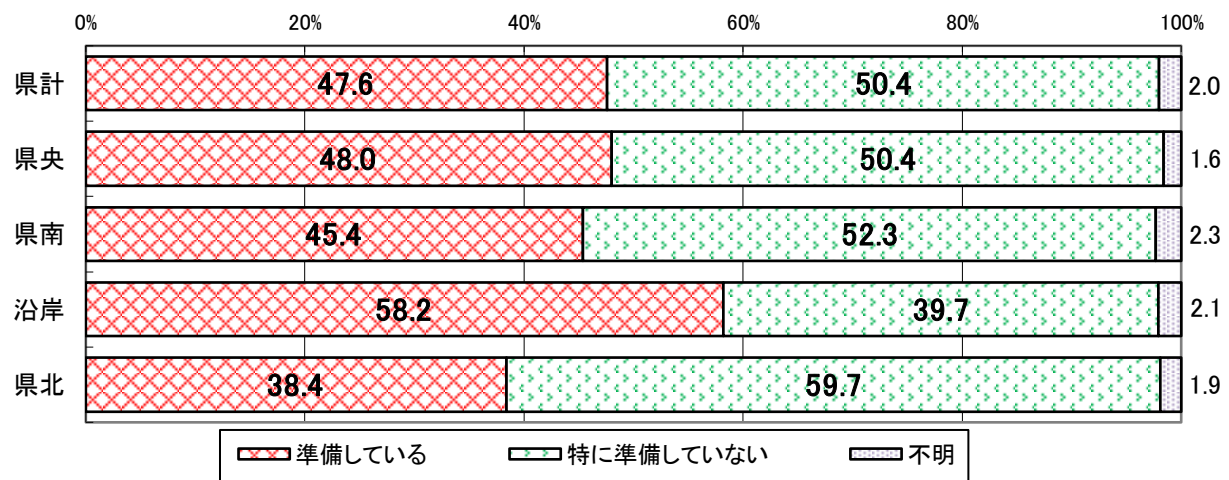


(2) 準備は必要だと思うが、準備に至っていない理由

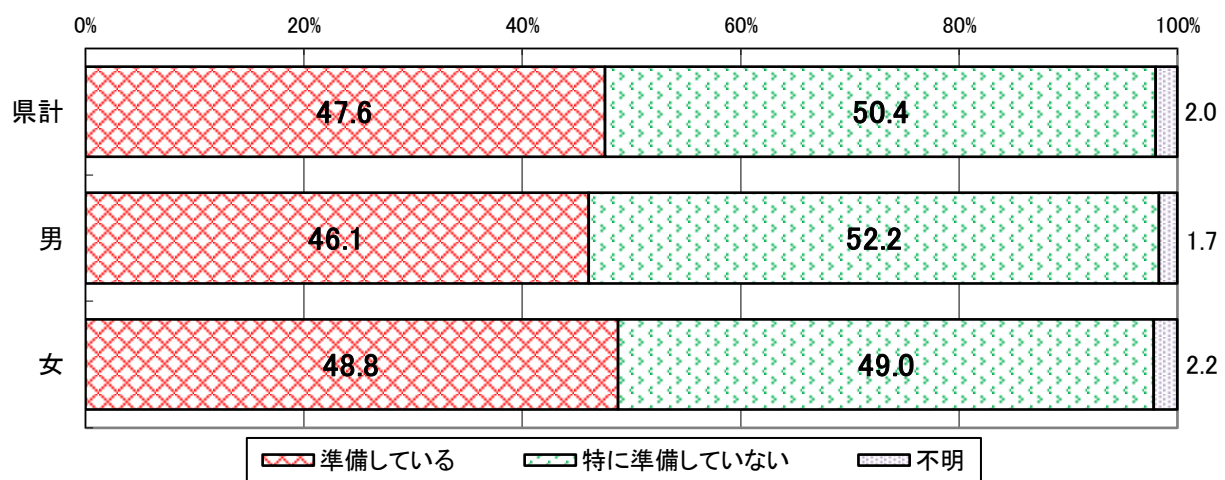


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

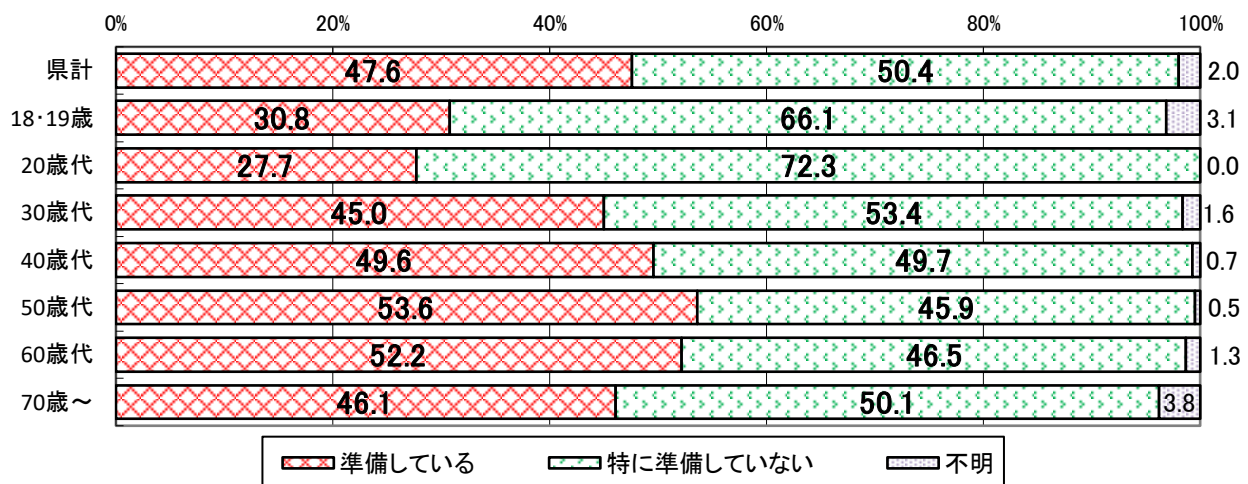
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

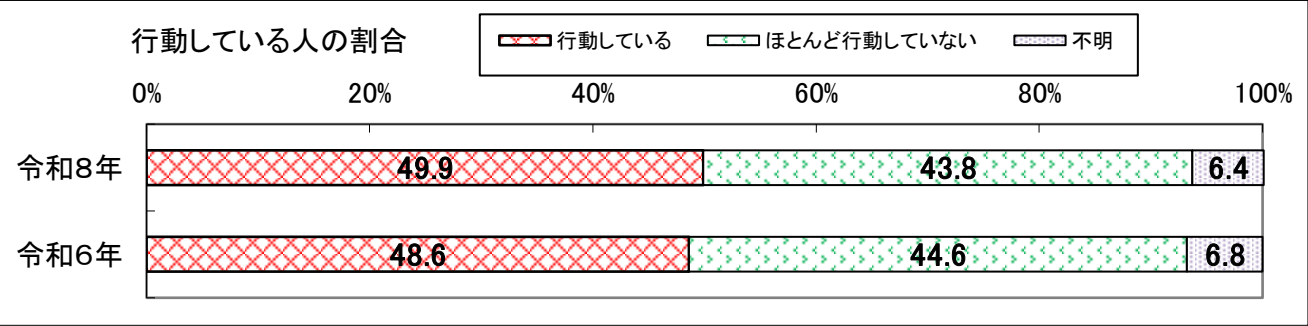


設問 8 防犯への対応について

犯罪の被害にあわないために、普段どのような行動に努めていますか

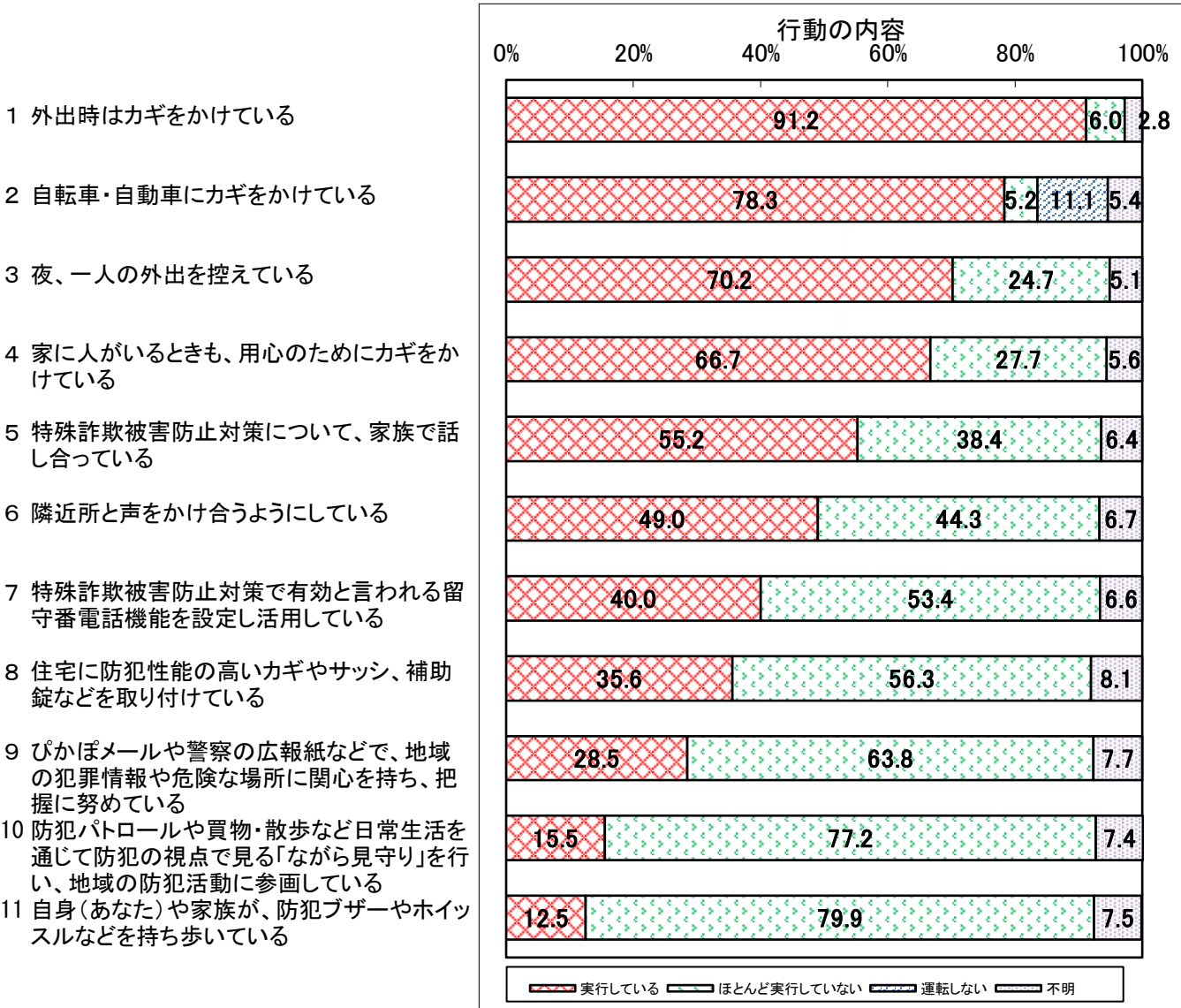
犯罪の被害にあわないための行動に努めている人は約5割

○ 犯罪の被害にあわないための行動に努めている人の割合は、全調査項目の平均で49.9%となっている。



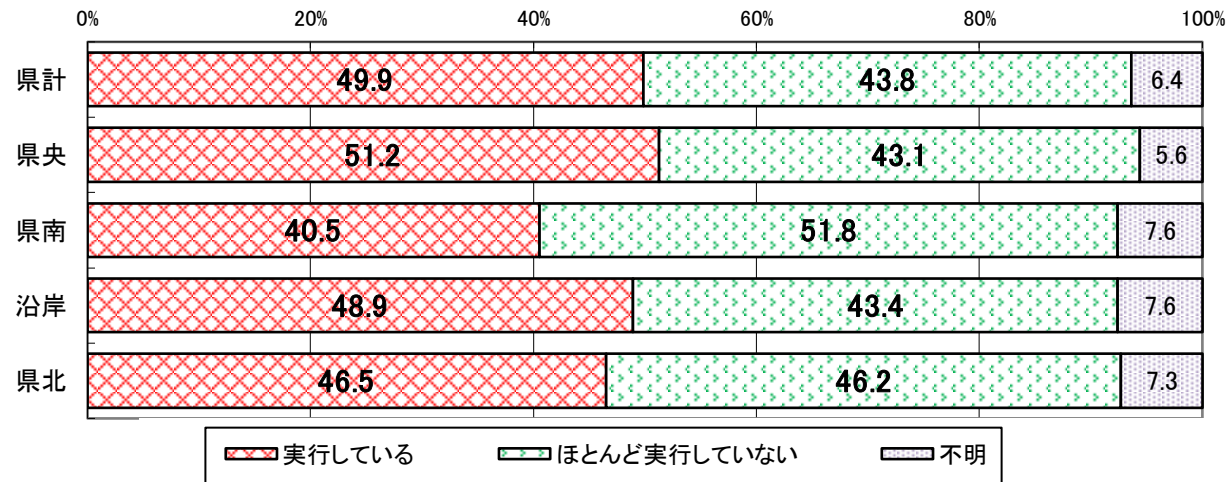
○ 行動の内容は、「外出時はカギをかけている」が最も多く91.2%、次いで「自転車・自動車にカギをかけている」の78.3%、「夜、一人の外出を控えている」の70.2%などとなっている。

○ 一方、「自身（あなた）や家族が、防犯ブザーやホイッスルなどを持ち歩いている」、「防犯パトロールや買物・散歩など日常生活を通じて防犯の視点で見る「ながら見守り」を行い、地域の防犯活動に参画している」などの行動に努めている人の割合が低く、それぞれ12.5%、15.5%となっている。

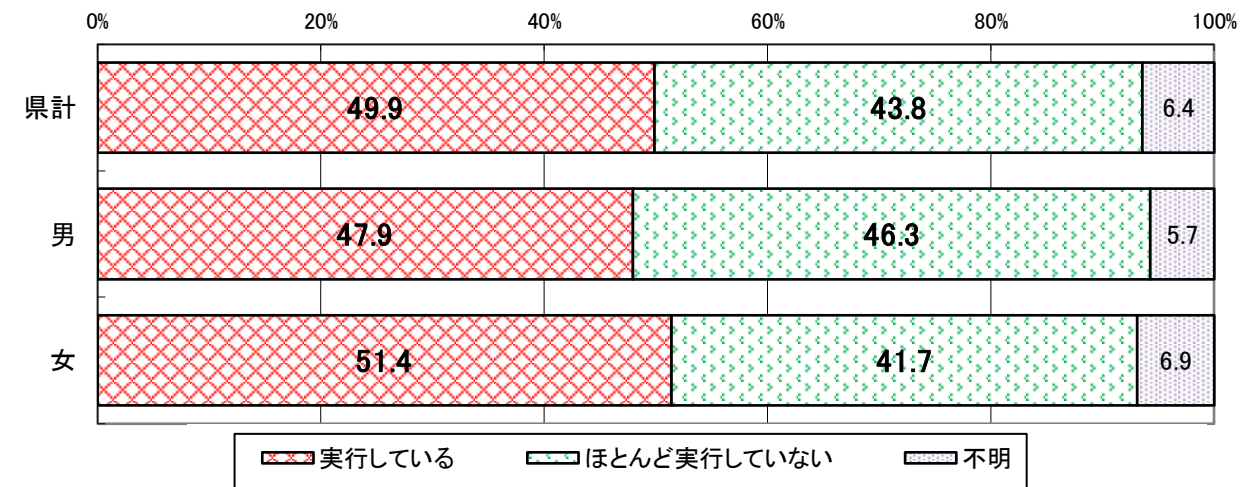


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

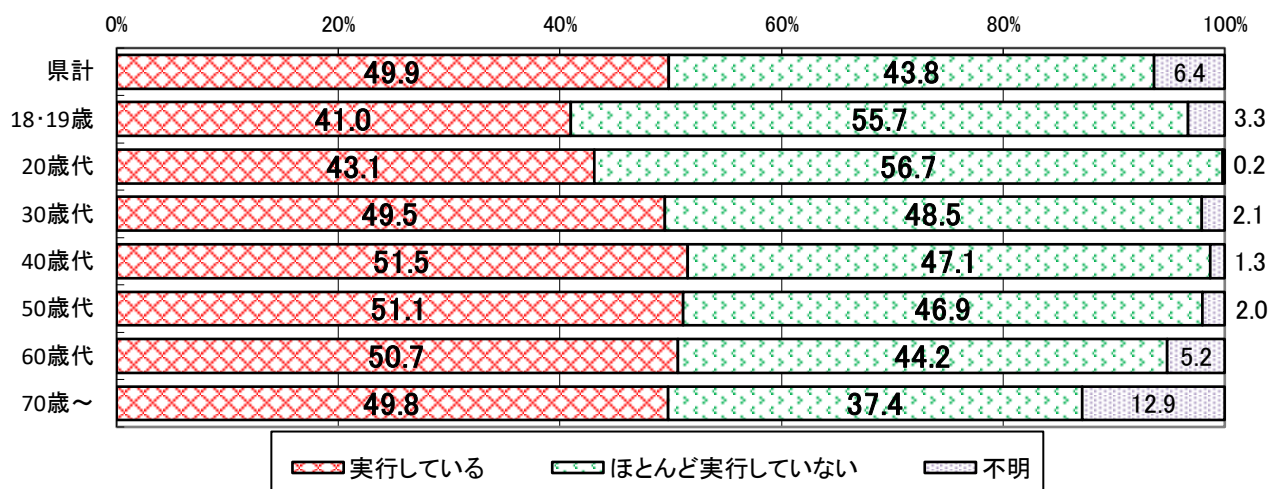
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

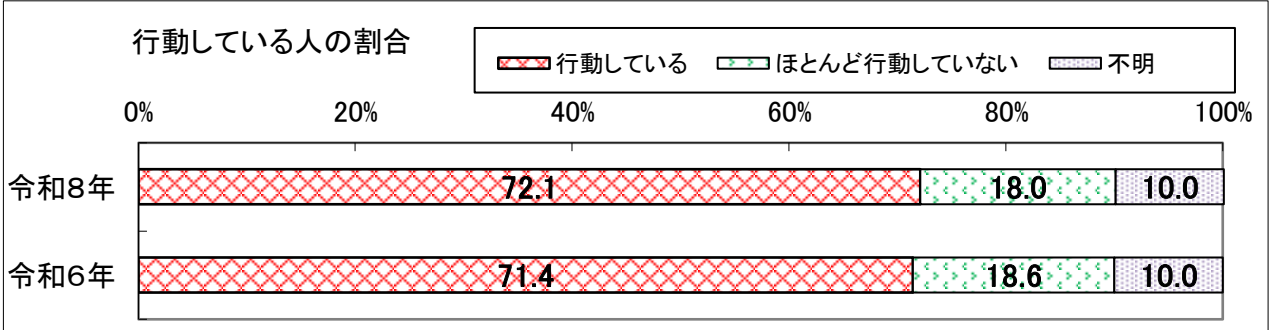


設問 9 交通安全への対応について

交通安全のために、普段どのような行動に努めていますか

交通安全に向けた行動に努めている人は7割前半

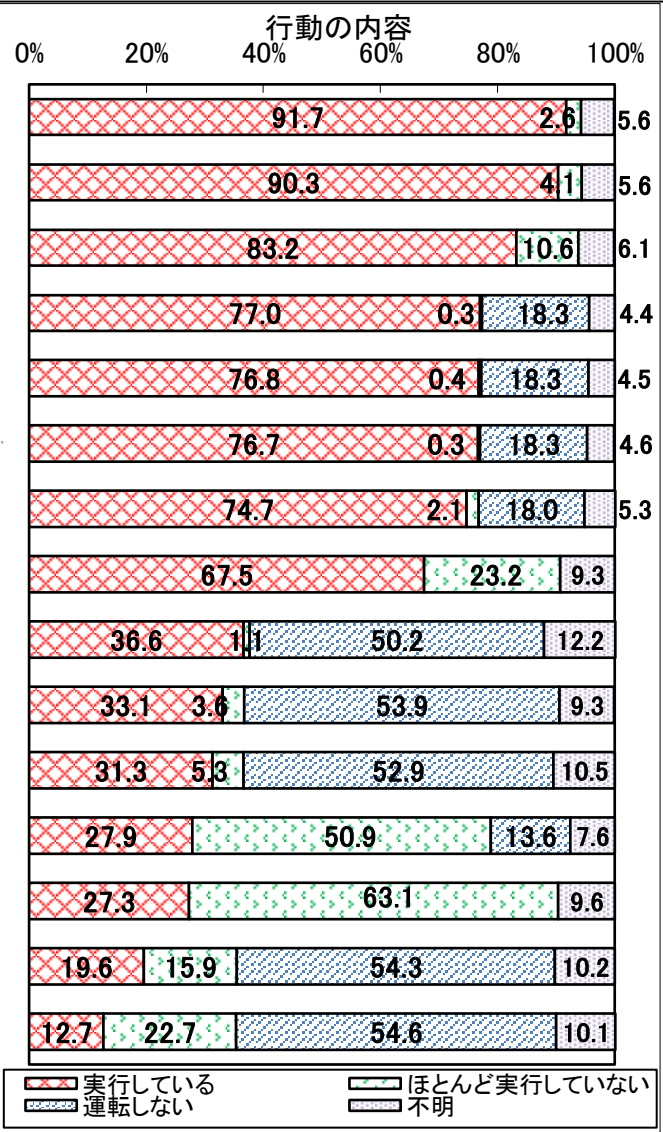
○ 交通安全に向けた行動に努めている人の割合は、全調査項目の平均で72.1%となっている。



○ 行動の内容は、「車が見えるときは、通り過ぎるのを待ってから横断している」が最も多く91.7%、次いで「道路を横断するときは、左右の安全を確認し、横断歩道を利用している」の90.3%、「交通事故に気をつけるよう声をかけている」の83.2%などとなっている。

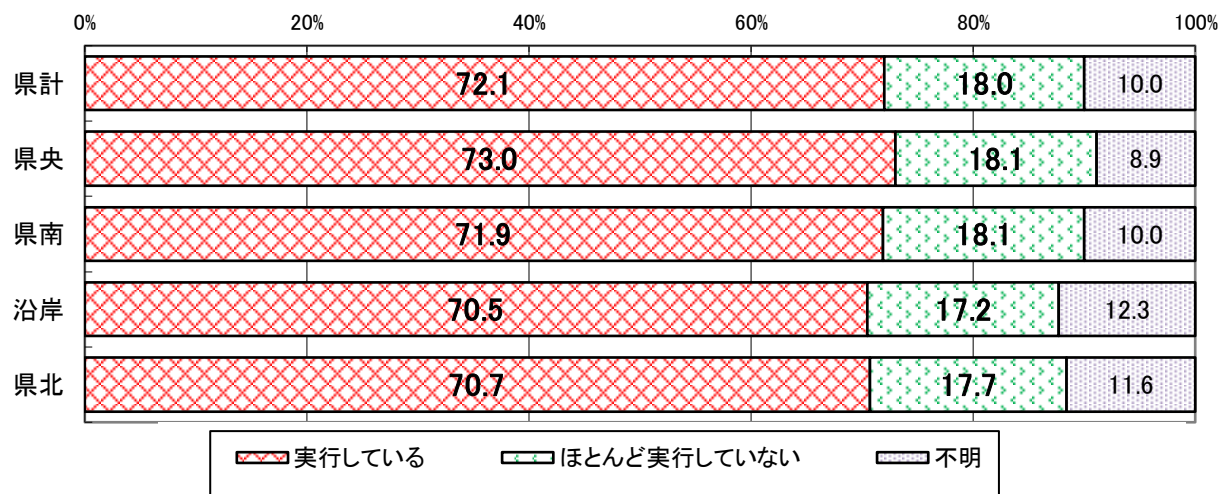
○ 一方、「ヘルメットを着用している」が12.7%と低くなっている。

- 1 車が見えるときは、通り過ぎるのを待ってから横断している
- 2 道路を横断するときは、左右の安全を確認し、横断歩道を利用している
- 3 交通事故に気をつけるよう声をかけている
- 4 横断歩道に歩行者がいたら、止まって渡らせている
- 5 夕暮れ時のライトの早め点灯を行っている
- 6 通学路など歩行者が多く利用する生活道路では速度を抑え安全に注意している
- 7 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートを正しく着用させている
- 8 交通安全について話し合っている
- 9 交差点では、信号や一時停止標識を守って、安全を確認している
- 10 運転中にイヤホンや携帯電話は使用していない
- 11 夕暮れ時や夜間は、ライトや反射材を活用している
- 12 運転免許の自主返納について話し合っている
- 13 夕暮れ時や夜間は、反射材などを付けている
- 14 自転車損害賠償責任保険等に加入している
- 15 ヘルメットを着用している

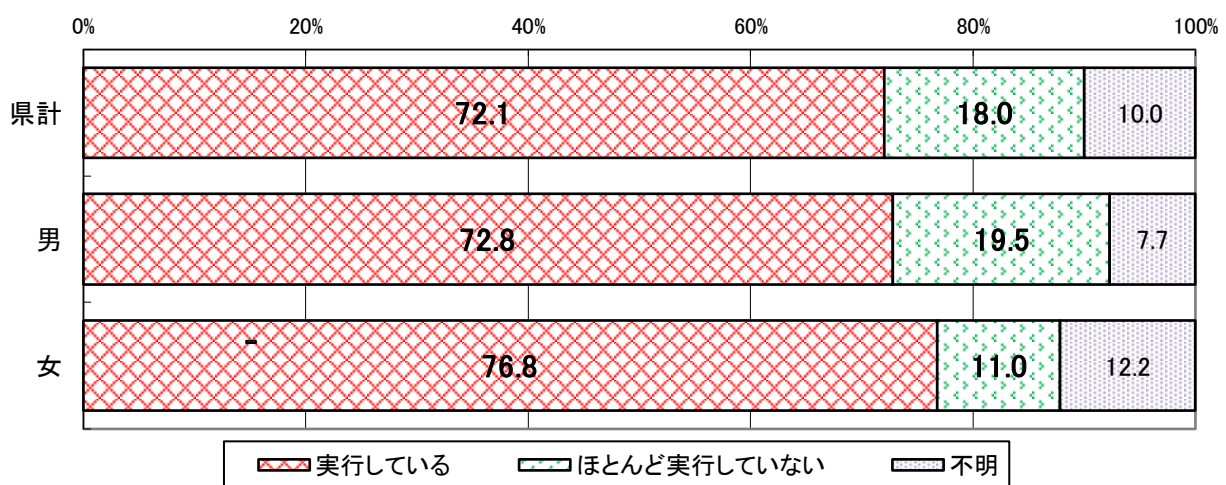


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

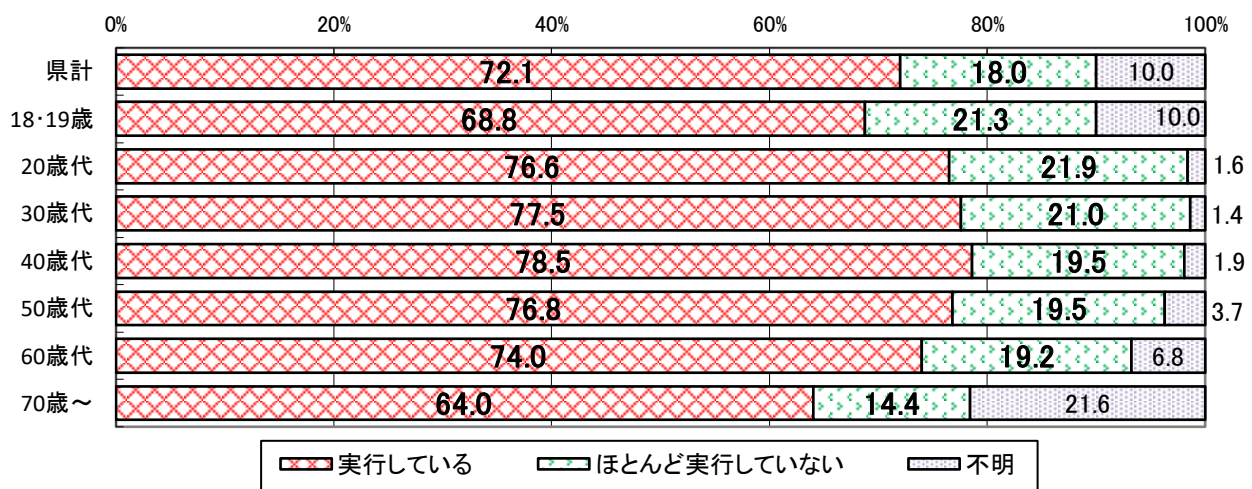
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

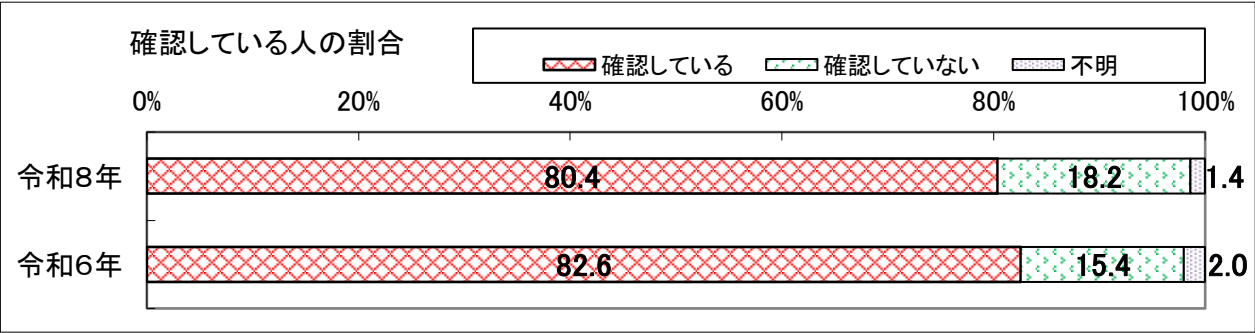


設問10 食品の表示の確認について

普段のお買い物の際に、食品の表示を確認していますか

食品の表示を確認している人は約8割

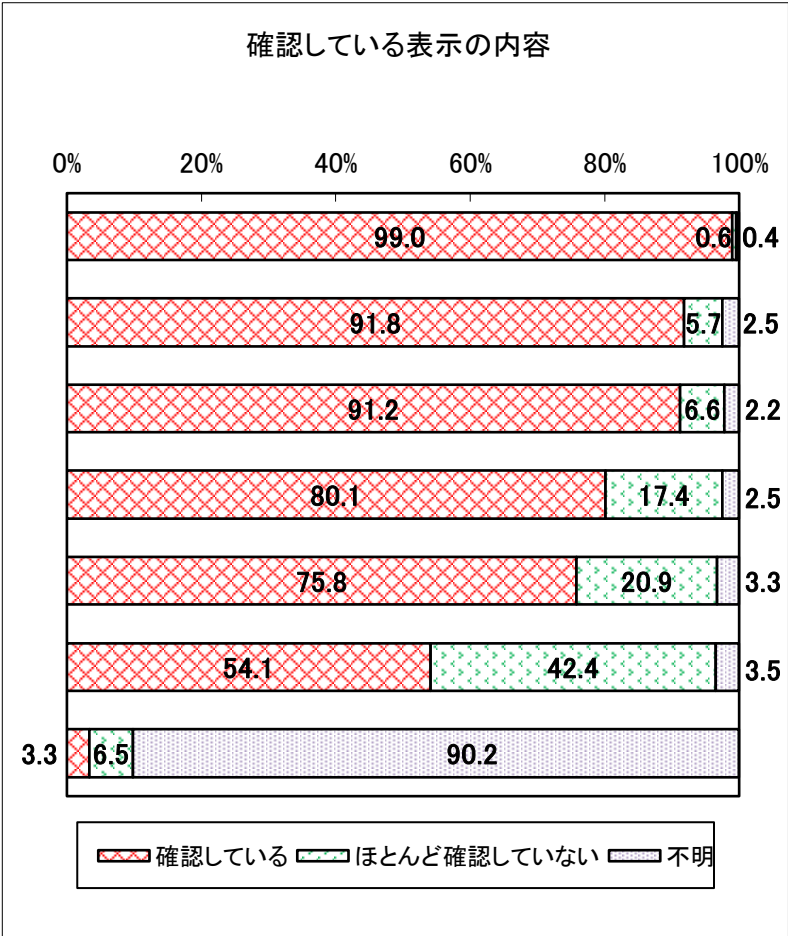
○ 普段のお買い物の際に、食品の表示を確認している人の割合は80.4%となっている。



1 確認している場合

○ 確認している表示の内容は、「日付（消費期限、賞味期限など）」が最も多く99.0%、次いで「保存方法」の91.8%、「原産地、原産国」の91.2%などとなっている。

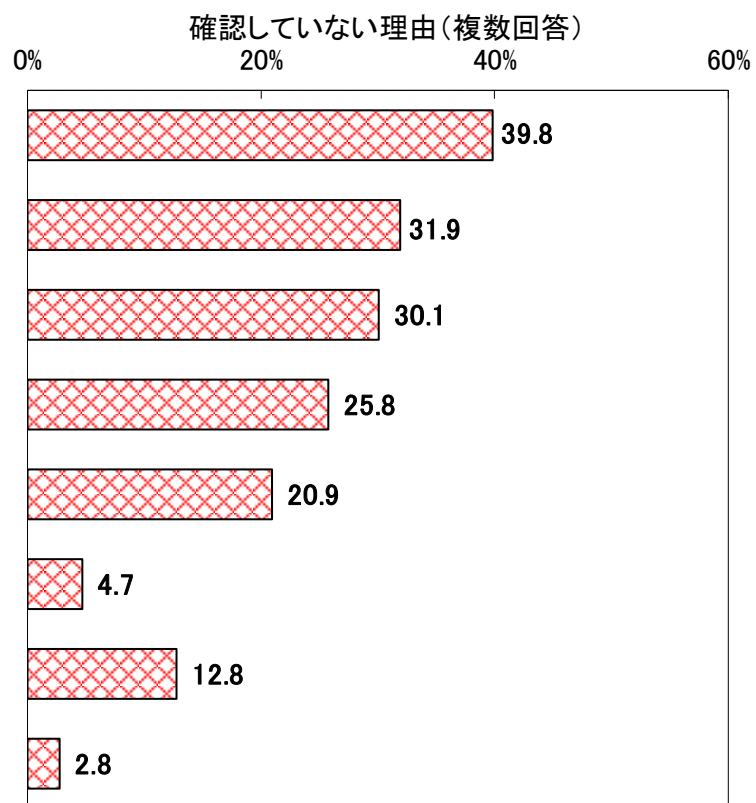
- 1 日付(消費期限、賞味期限など)
- 2 保存方法
- 3 原産地、原産国
- 4 製造業者名、販売業者名
- 5 原材料名、食品添加物名、アレルギー物質名
- 6 遺伝子組換え食品であるかどうか
- 7 その他



2 確認していない理由

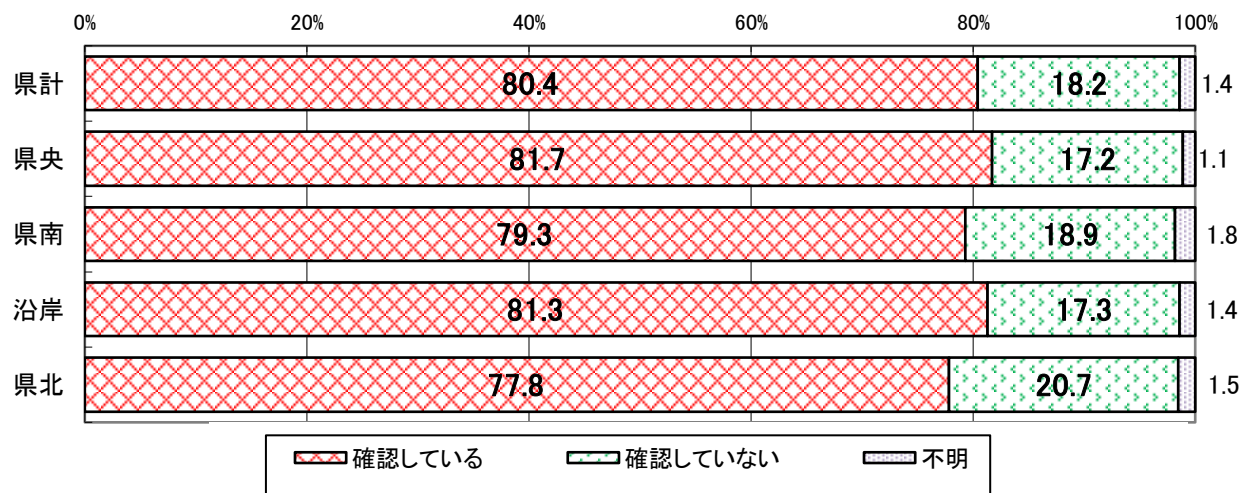
○ 確認していない理由は、「表示内容より価格を重視しているから」が最も多く39.8%、次いで「表示に関心がないから」の31.9%、「表示を確認することが面倒くさいから」の30.1%などとなっている。

- 1 表示内容より価格を重視しているから
- 2 表示に関心がないから
- 3 表示を確認することが面倒くさいから
- 4 表示内容より手軽さを重視しているから
- 5 表示が判りにくいから
- 6 表示が信用できないから
- 7 その他
- 8 不明

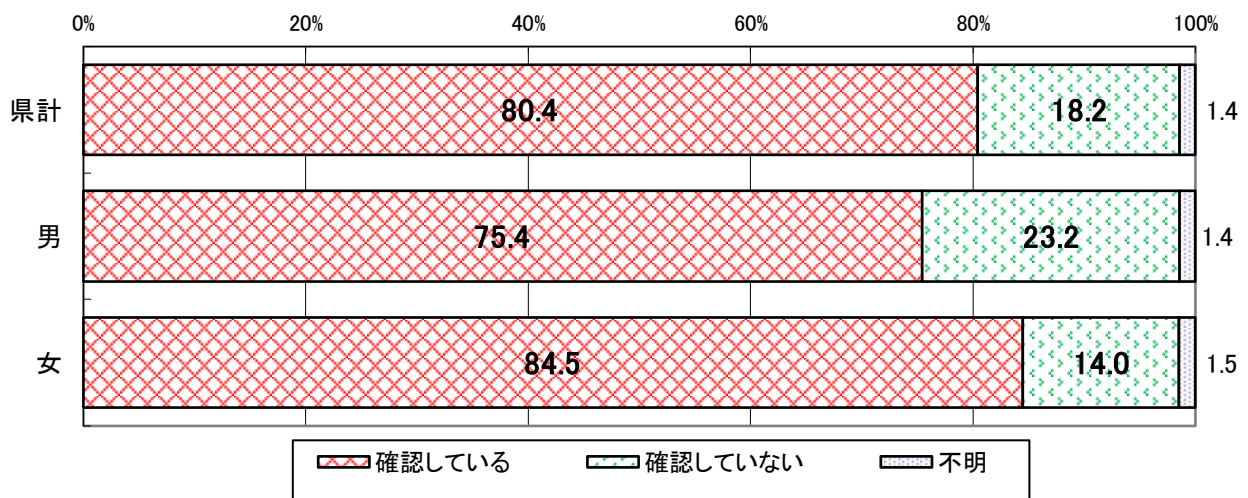


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

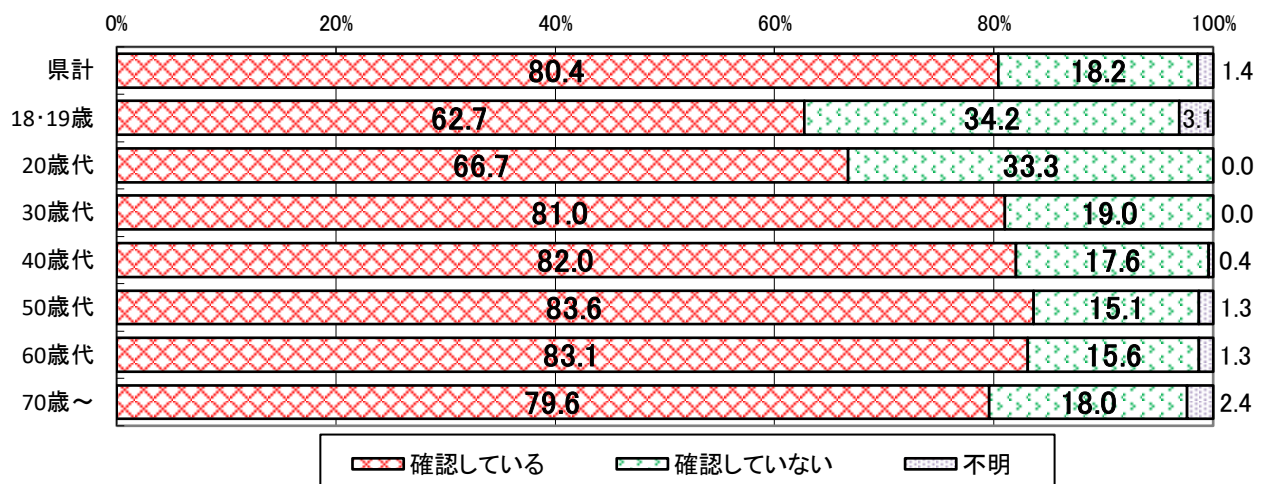
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

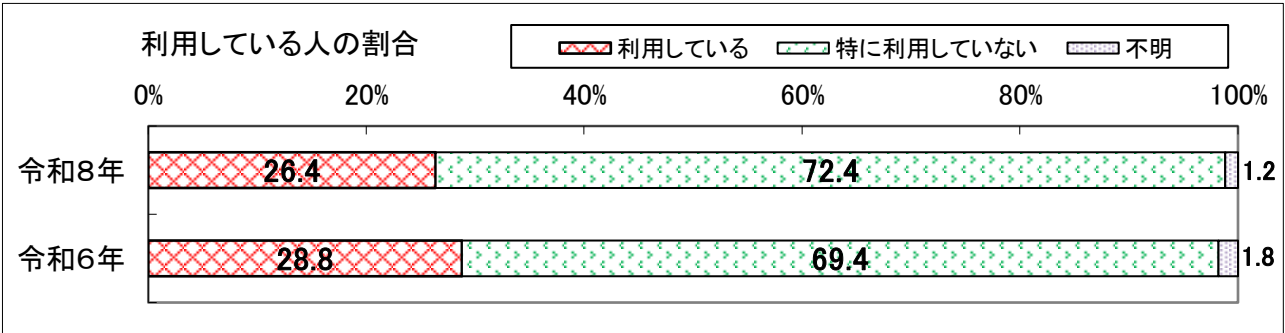


設問11 県内産の工芸品の利用について

普段、県内産の工芸品を利用していますか

県内産の工芸品を利用している人は2割台後半

○ 普段、県内産の工芸品を利用している人の割合は26.4%となっている。

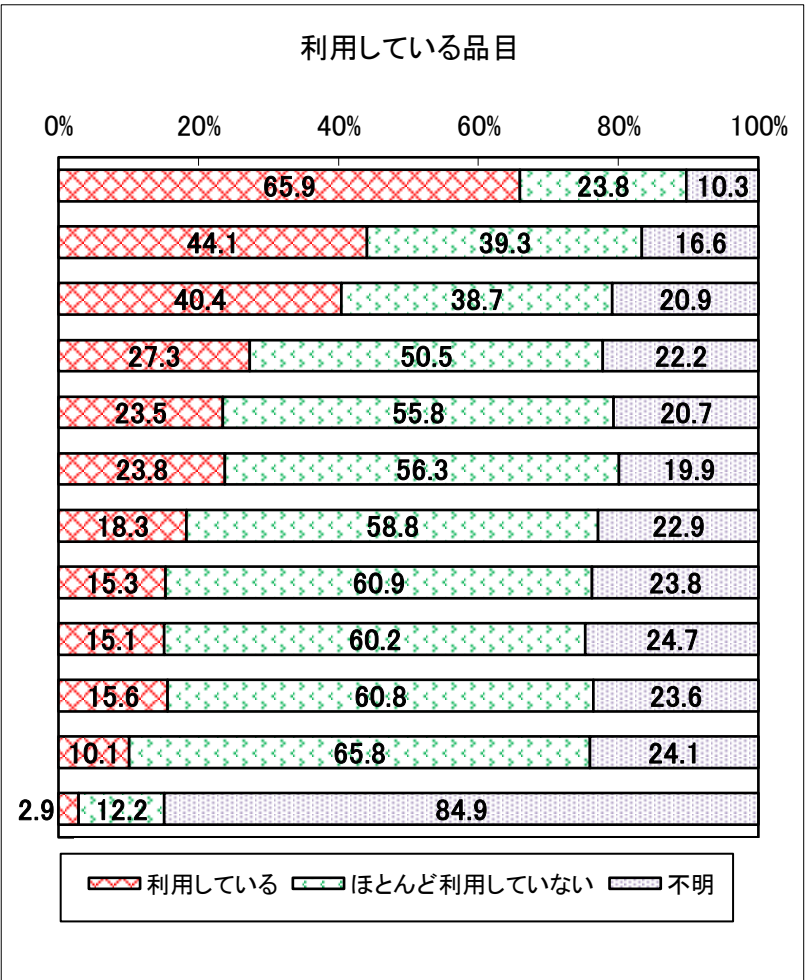


1 利用している場合

- 利用している品目は、「南部鉄器」が最も多く65.9%となっている。
- 一方、「紫根染」を利用している人が10.1%と最も少ない。
- 利用している理由は、「品質が良いから」が最も多く55.4%、次いで「県産品だから」の34.3%などとなっている。

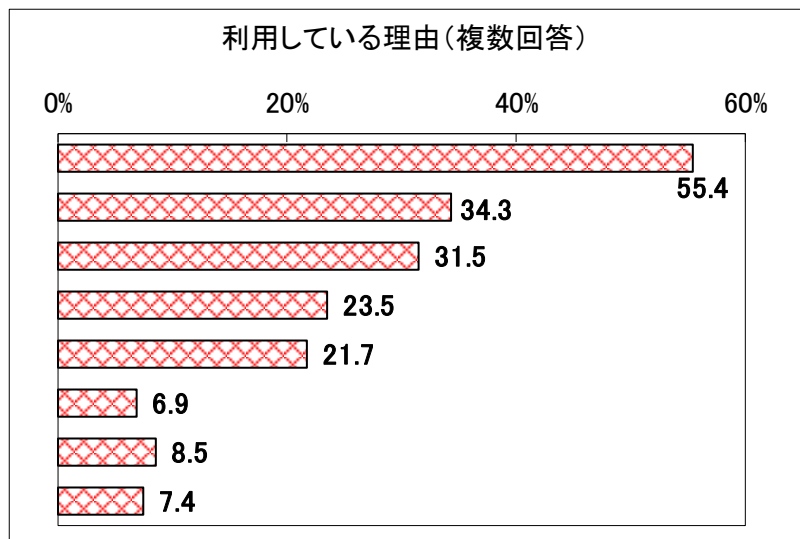
(1) 利用している品目

- 1 南部鉄器
- 2 秀衡塗
- 3 木工品
- 4 竹細工
- 5 浄法寺塗
- 6 琥珀
- 7 南部古代型染
- 8 ホームスパン
- 9 南部裂織
- 10 岩谷堂簞笥
- 11 紫根染
- 12 その他



(2) 利用している理由

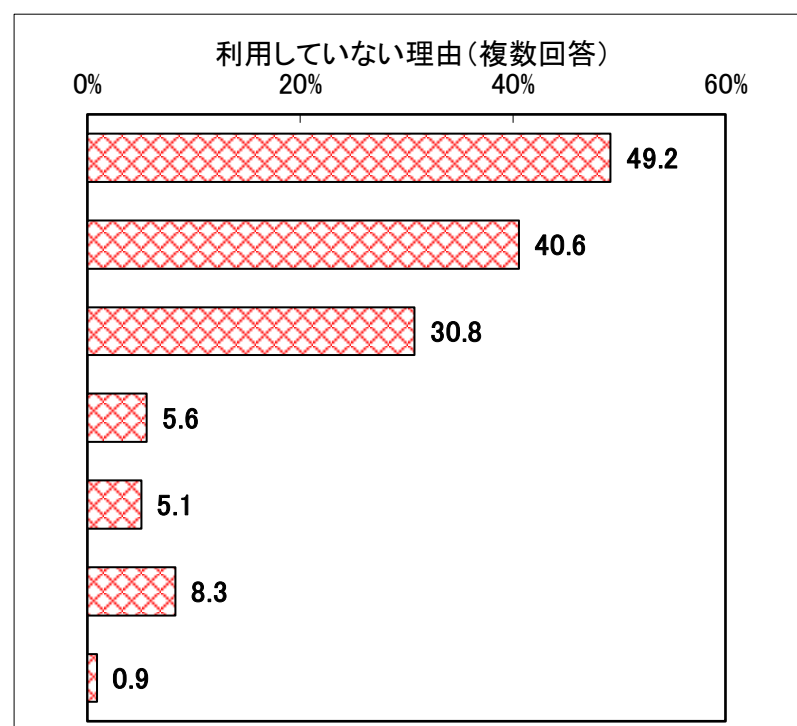
- 1 品質が良いから
- 2 県産品だから
- 3 使い勝手がいいから
- 4 代々愛用しているから
- 5 デザインが良いから
- 6 お土産に向いているから
- 7 その他
- 8 不明



2 特に利用していない場合

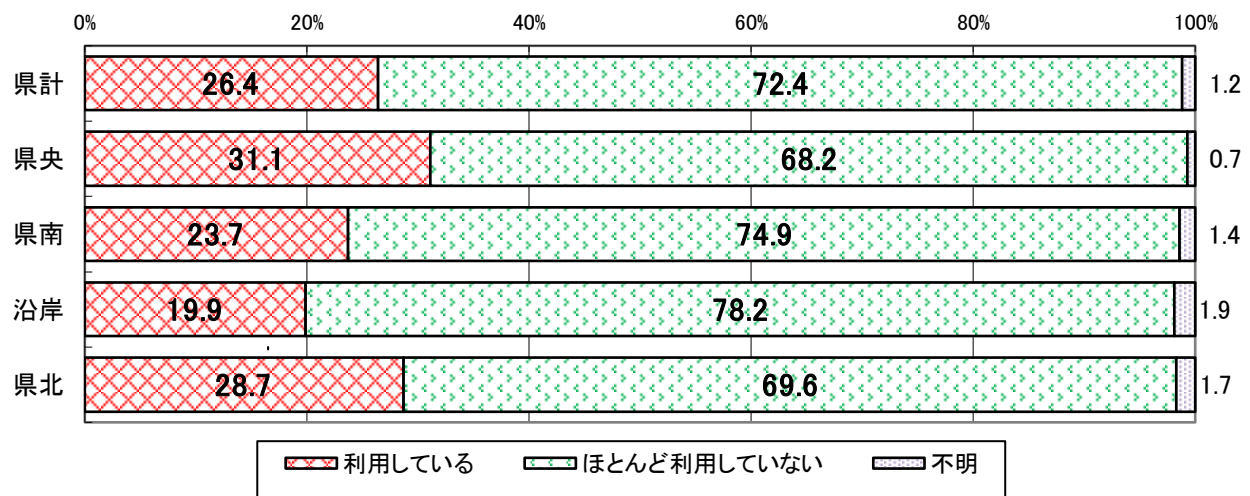
○ 利用していない理由は、「値段が高いから」が最も多く49.2%、次いで「興味がないから」の40.6%、「身近で利用していないから」の30.8%などとなっている。

- 1 値段が高いから
- 2 興味がないから
- 3 身近で利用していないから
- 4 使い勝手が悪いから
- 5 デザインが好ましくないから
- 6 その他
- 7 不明

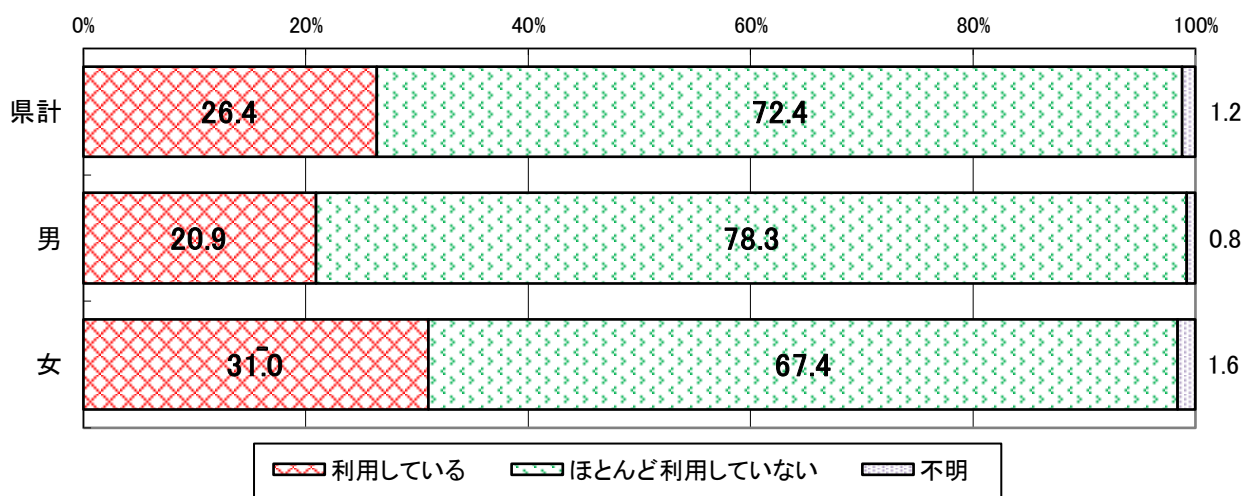


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

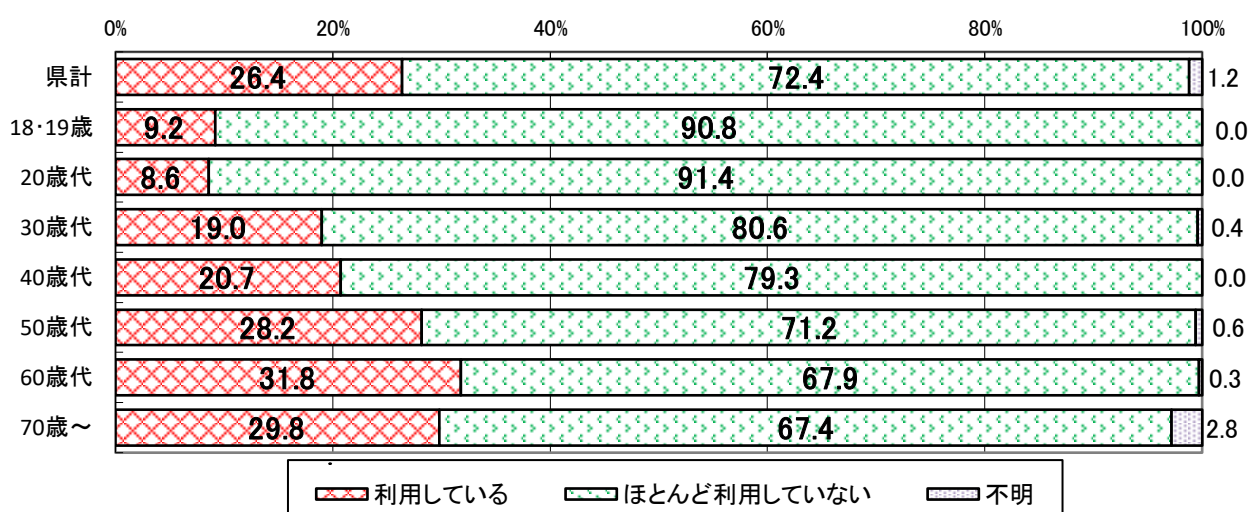
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

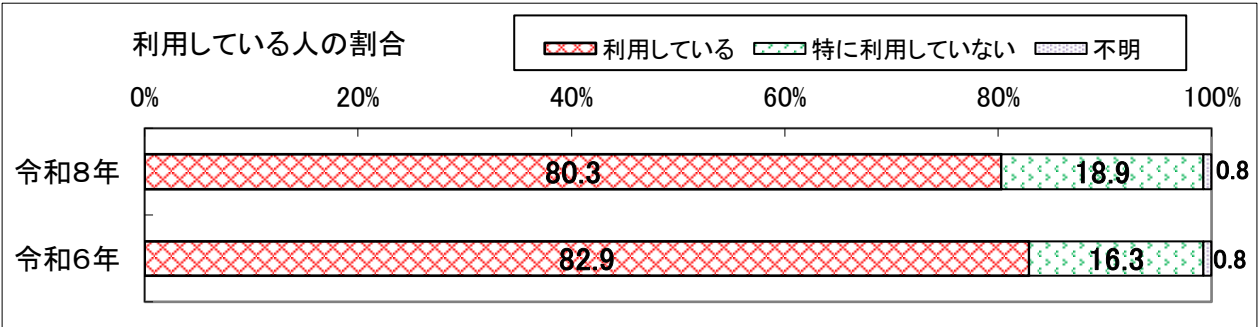


設問12 県内産の農林水産物の利用について

普段、県内産の農林水産物を利用していますか

県内産の農林水産物を利用している人は約8割

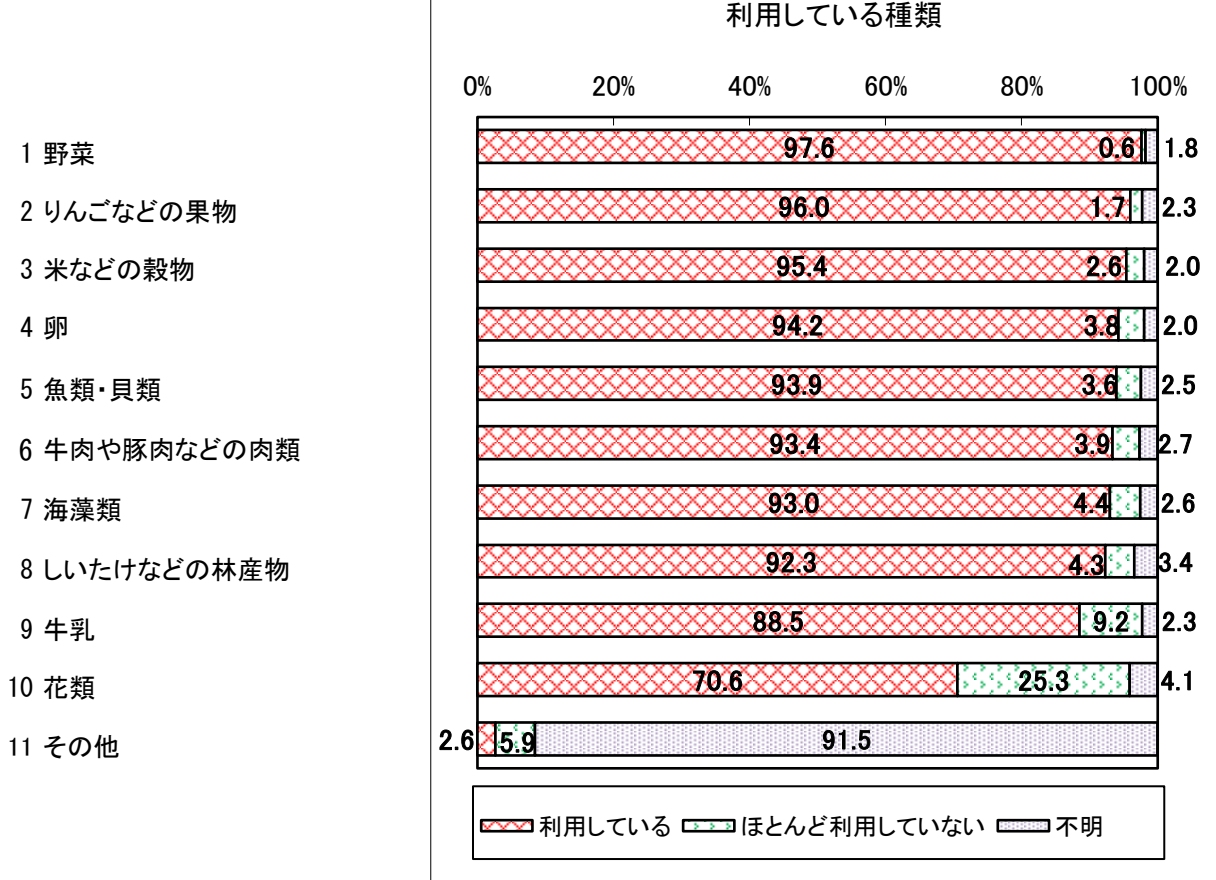
○ 普段、県内産の農林水産物を利用している人の割合は80.3%となっている。



1 利用している場合

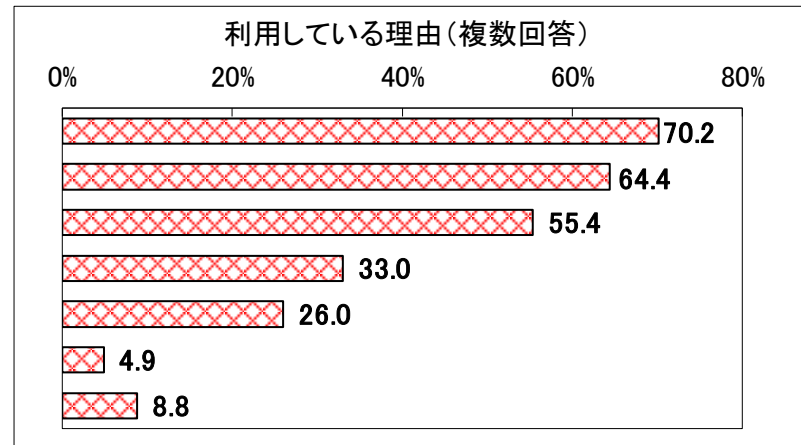
- 利用している種類は、「野菜」が最も多く97.6%、次いで「りんごなどの果物」の96.0%、「米などの穀物」の95.4%などとなっている。
- 一方、「花類」を利用している人が70.6%と一番少ない。
- 利用している理由は、「新鮮だから」が最も多く70.2%、次いで「安全・安心だから」の64.4%などとなっている。

(1) 利用している種類



(2) 利用している理由

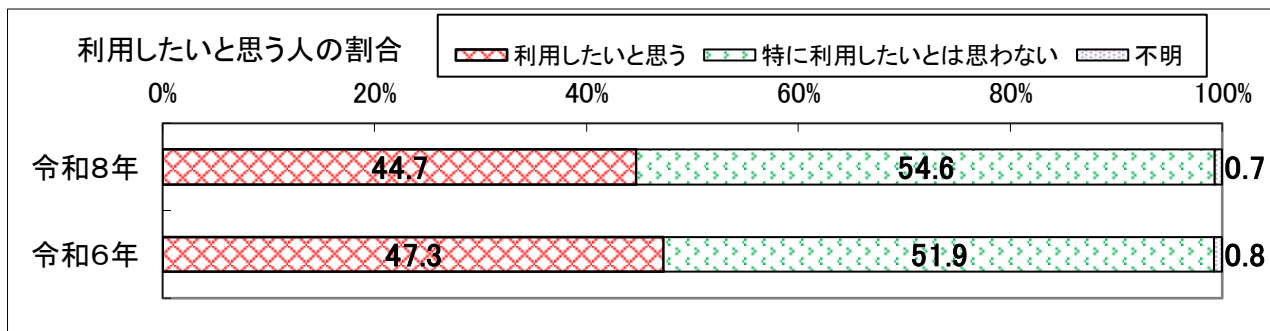
- 1 新鮮だから
- 2 安全・安心だから
- 3 おいしいから
- 4 季節感があるから
- 5 価格が安いから
- 6 その他
- 7 不明



2 特に利用していない場合

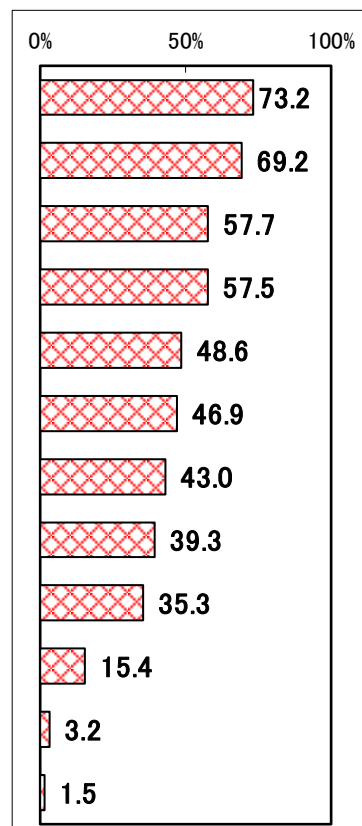
今後、県内産の農林水産物を利用したいと思いますか

- 「特に利用していない」と回答した人で、今後、「利用したいと思う」と回答した人は44.7%、「特に利用したいとは思わない」と回答した人は54.6%となっている。
- 今後、利用したい種類は、「野菜」が最も多く73.2%、次いで「米などの穀物」の69.2%、「魚類・貝類」の57.7%などとなっている。
- 今後、利用する条件は、「新鮮であること」が最も多く56.6%、次いで「価格が安いこと」の50.1%などとなっている。



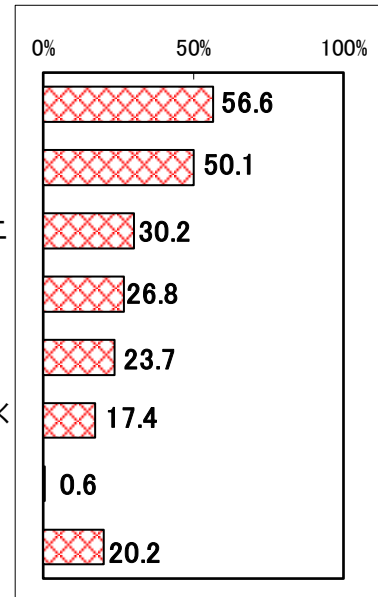
ア 利用したい種類 (複数回答)

- 1 野菜
- 2 米などの穀物
- 3 魚類・貝類
- 4 りんごなどの果物
- 5 牛肉や豚肉などの肉類
- 6 卵
- 7 牛乳
- 8 海藻類
- 9 しいたけなどの林産物
- 10 花類
- 11 その他
- 12 不明



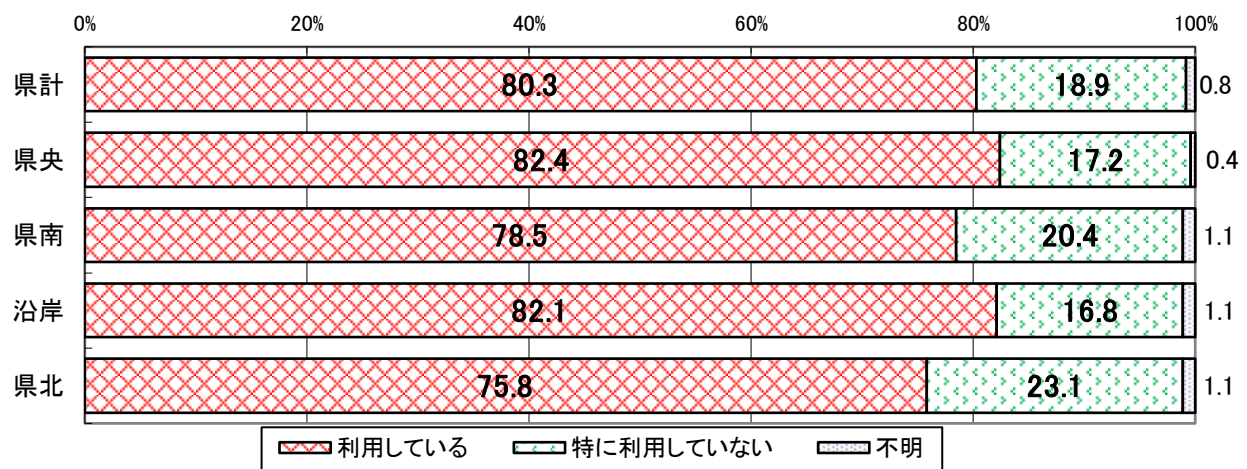
イ 利用する条件 (複数回答)

- 1 新鮮であること
- 2 価格が安いこと
- 3 安全・安心であること
- 4 身近な商店などで販売していること
- 5 おいしいこと
- 6 県産品とわかりやすく表示されていること
- 7 その他
- 8 不明

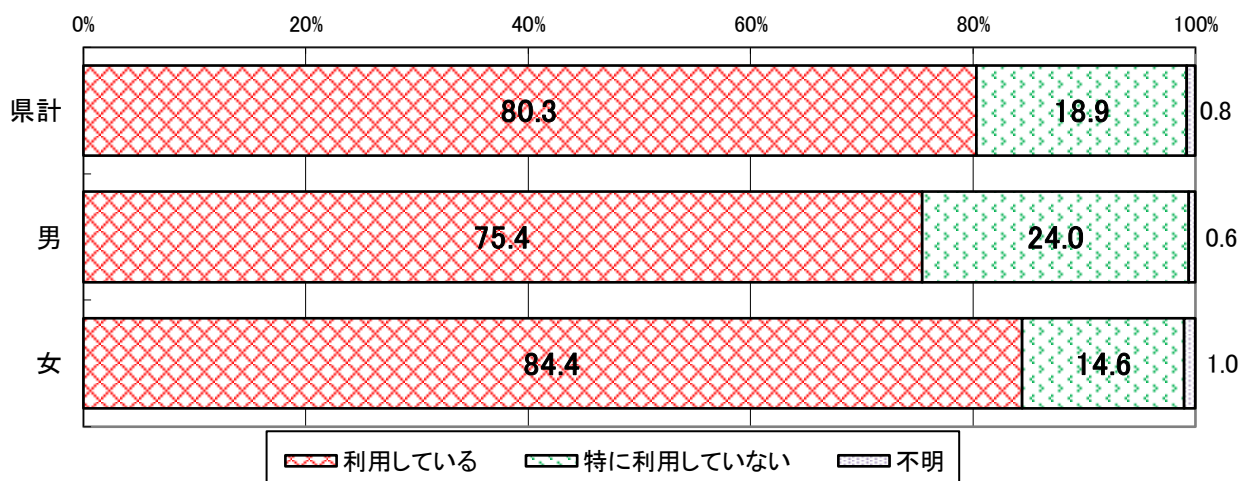


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

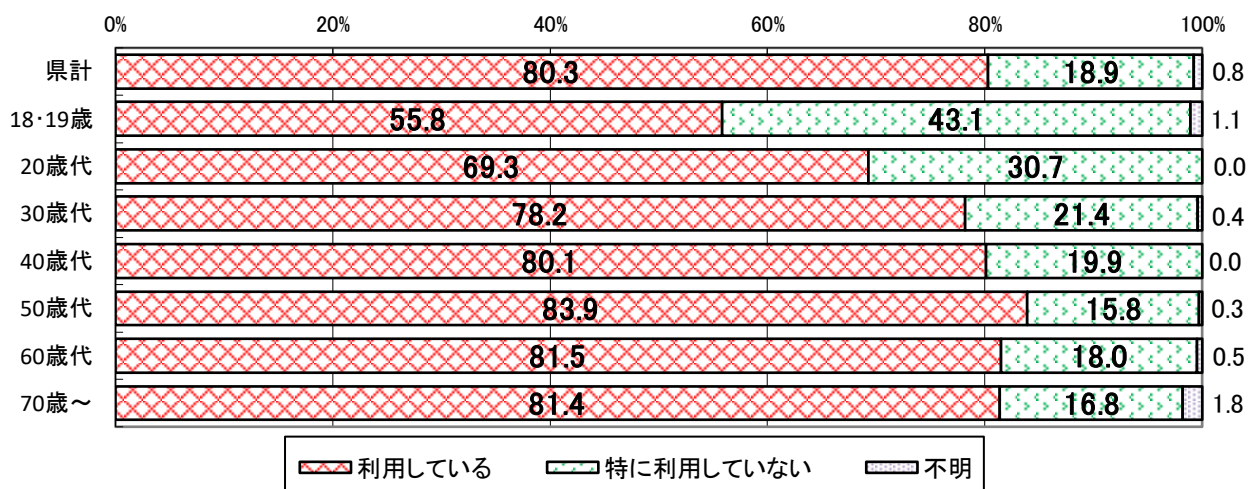
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

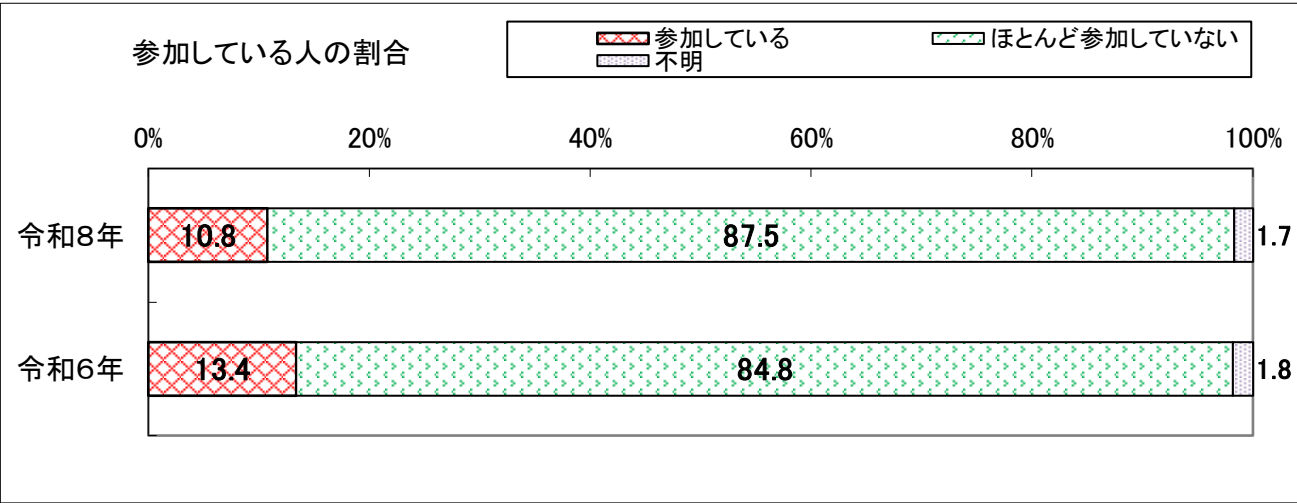


設問13 伝統芸能や歴史遺産について

地域の伝統芸能活動に参加していますか

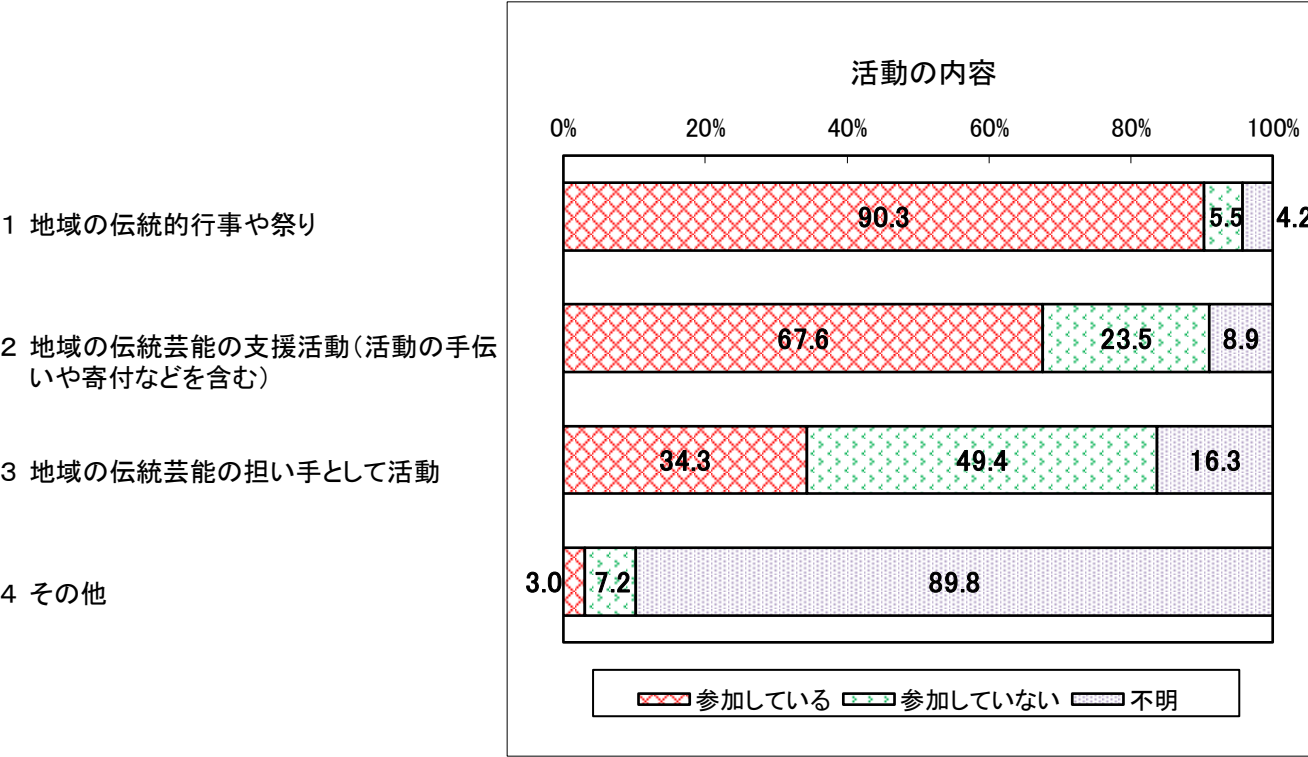
地域の伝統芸能活動に参加している人は約1割

○ 地域の伝統芸能活動に参加している人の割合は10.8%となっている。



1 参加している場合

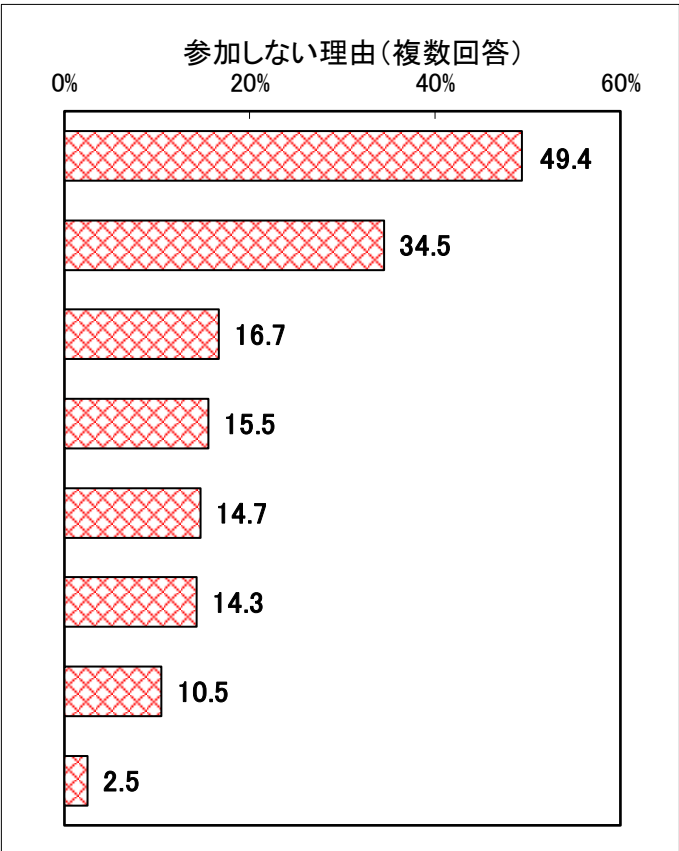
○ 活動の内容は、「地域の伝統的行事や祭り」が最も多く90.3%、次いで「地域の伝統芸能の支援活動（活動の手伝いや寄付などを含む）」の67.6%、「地域の伝統芸能の担い手として活動」の34.3%となっている。



2 参加しない理由

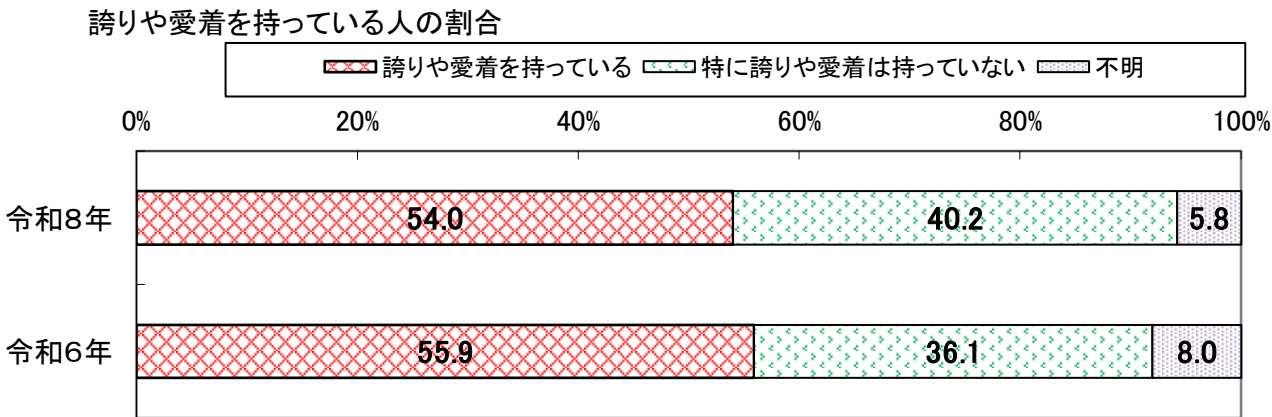
○ 「ほとんど参加していない」と回答した人の、参加しない理由は、「活動にはあまり関心がないから」が最も多く49.4%、次いで「忙しくて活動に参加する時間がないから」の34.5%などとなっている。

- 1 活動にはあまり関心がないから
- 2 忙しくて活動に参加する時間がないから
- 3 どのようにして活動に参加すればよいのかわからないから
- 4 一緒に参加する仲間がいないから
- 5 近くに活動している団体がないから
- 6 活動に関する情報が不十分だから
- 7 その他
- 8 不明



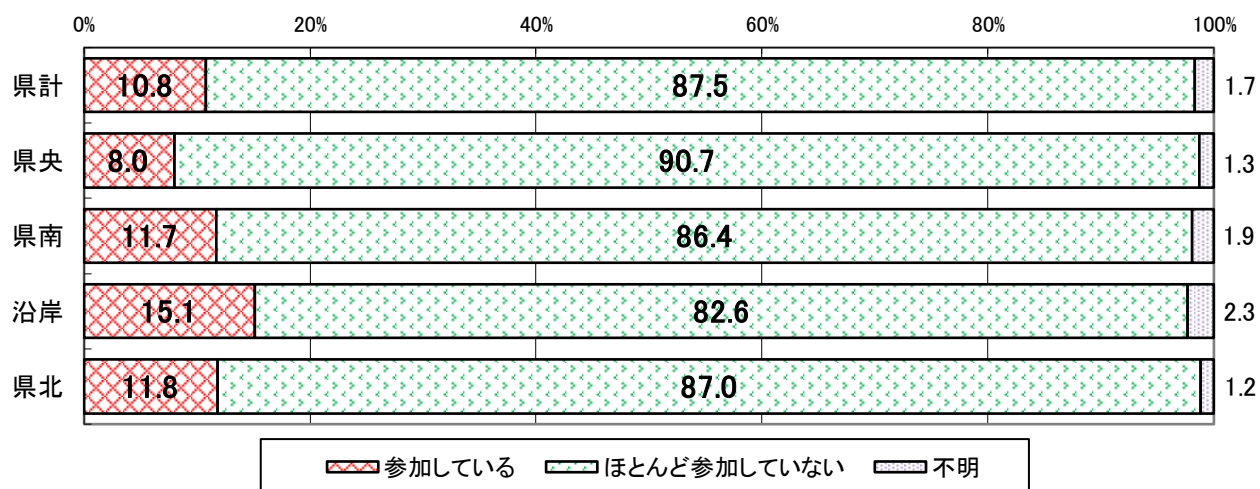
本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持っていますか

○ 本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持っている人の割合は54.0%となっている。

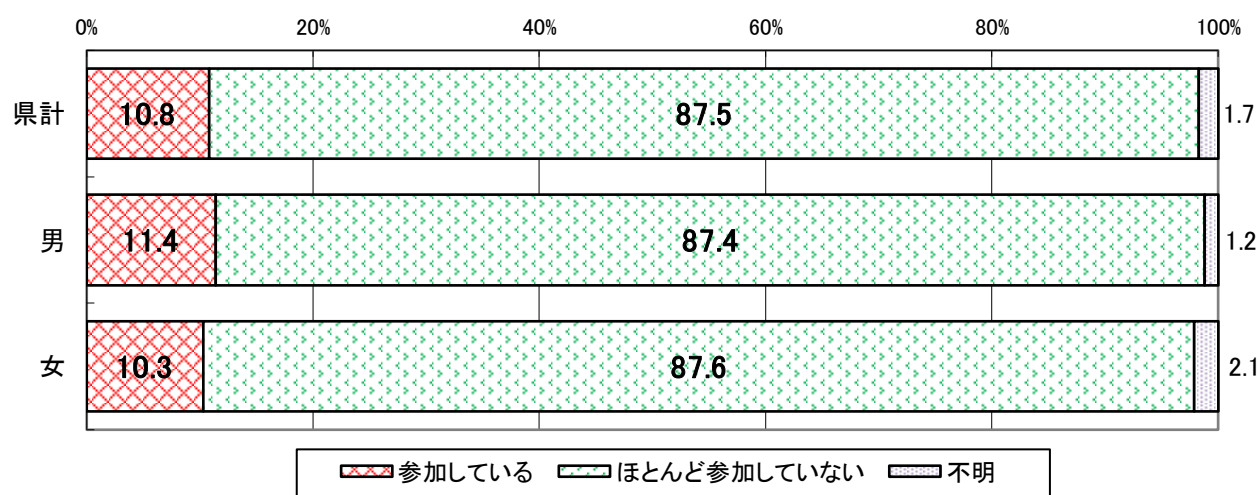


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

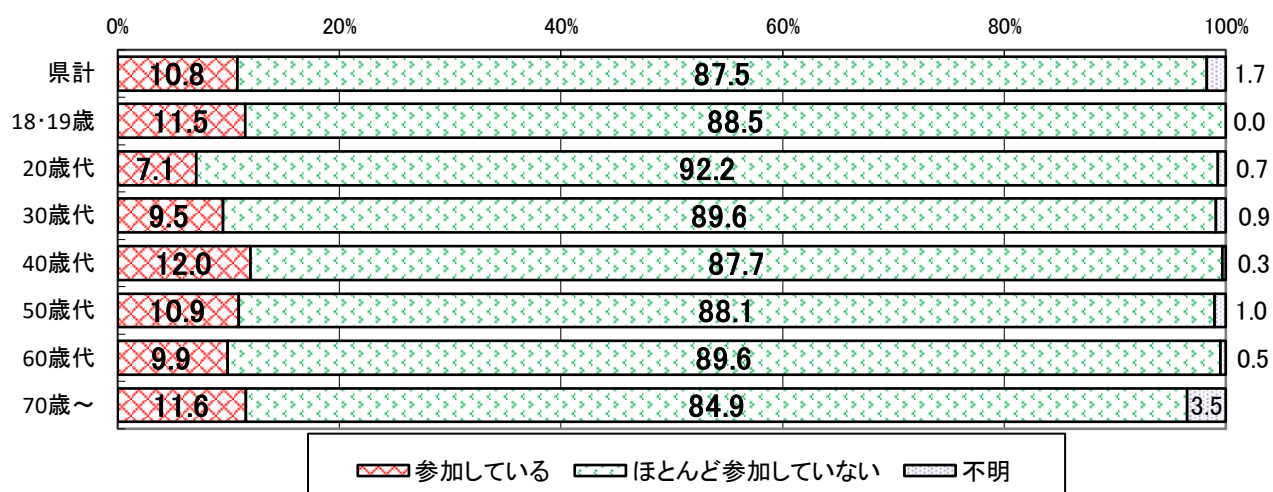
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

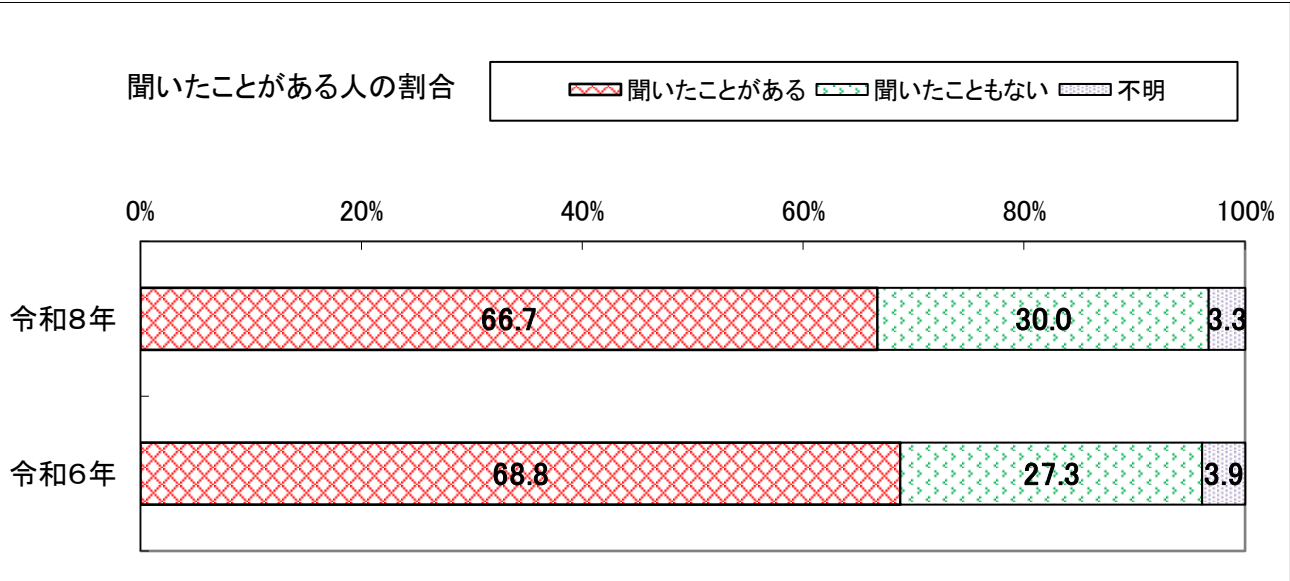


設問14 生物多様性について

生物多様性という言葉を知ったことがありますか

生物多様性という言葉を知ったことがある人は6割後半

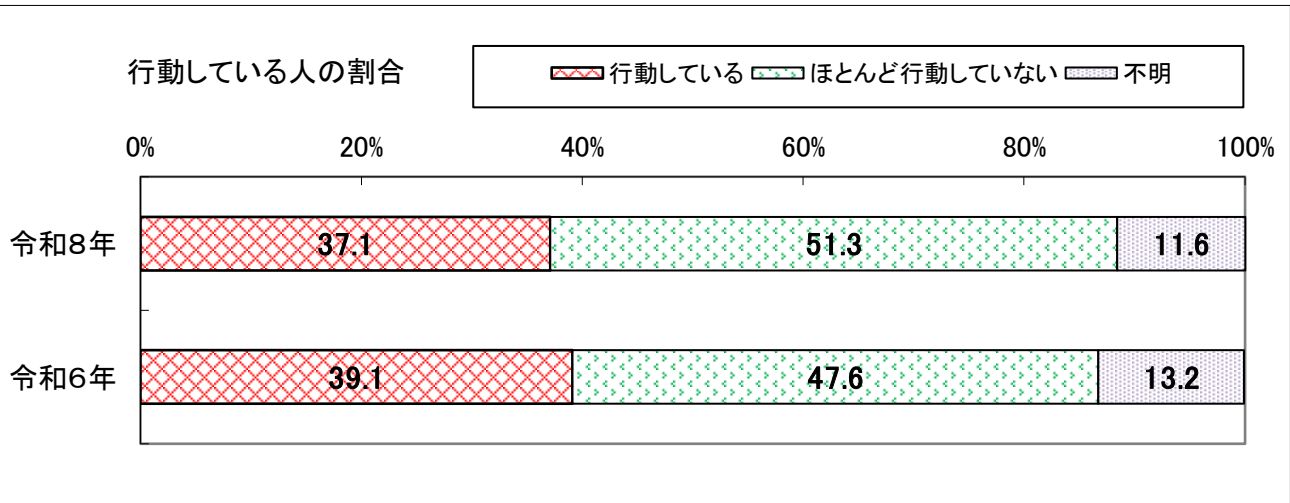
○ 生物多様性という言葉を知ったことがある人の割合は66.7%となっている。



生物多様性の保全につながる行動をしていますか

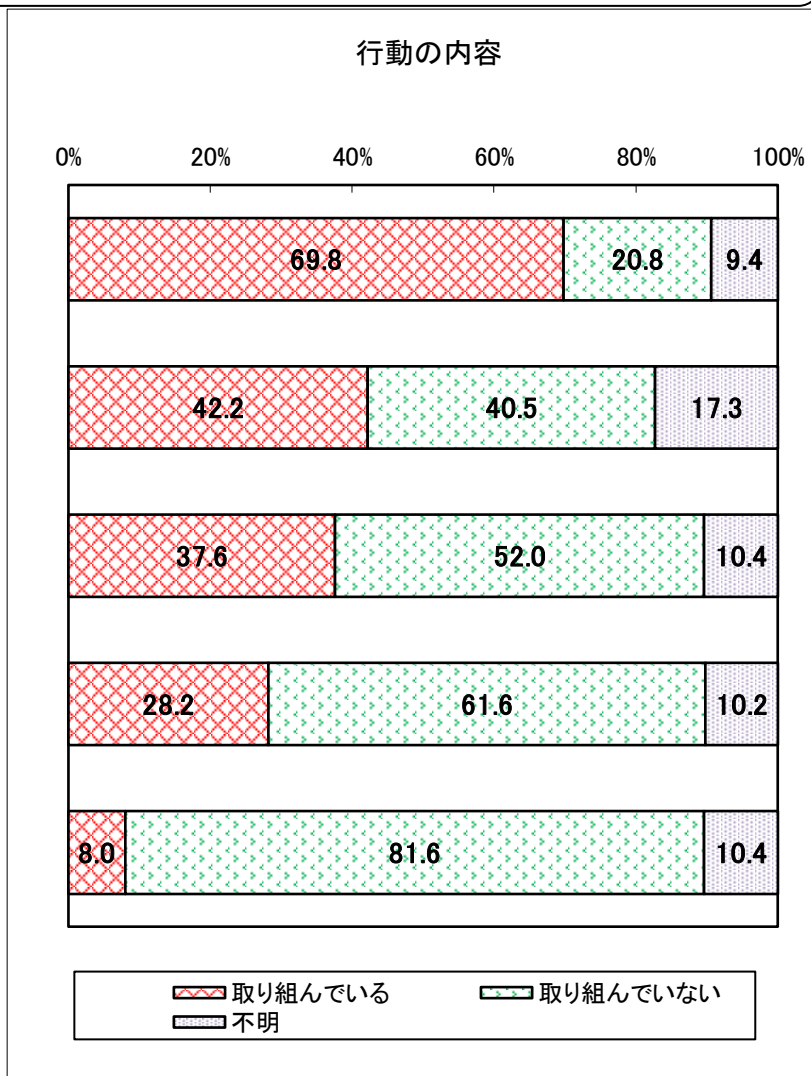
生物多様性の保全につながる行動をしている人は3割後半

○ 生物多様性の保全につながる行動をしている人の割合は、各調査項目の平均で37.1%となっている。



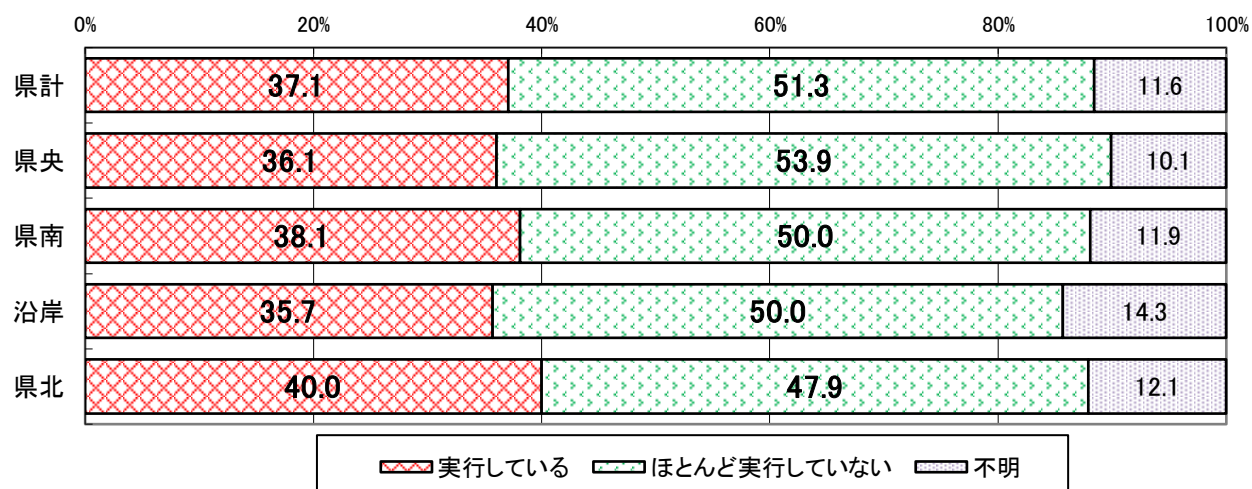
○ 行動の内容は、「ハイキングなどにおけるごみの持ち帰りや希少な動植物を持ち帰らないなどのマナー遵守」が最も多く69.8%、次いで「ペットを野外に放さないなど責任を持って飼育」の42.2%などとなっている。

- 1 ハイキングなどにおけるごみの持ち帰りや希少な動植物を持ち帰らないなどのマナー遵守
- 2 ペットを野外に放さないなど責任を持って飼育
- 3 森・川・海・里等におけるごみ拾いなどの生物が住みやすい環境の整備
- 4 植樹や下草刈りなどの森林づくり
- 5 自然観察会又は自然環境体験活動への参加

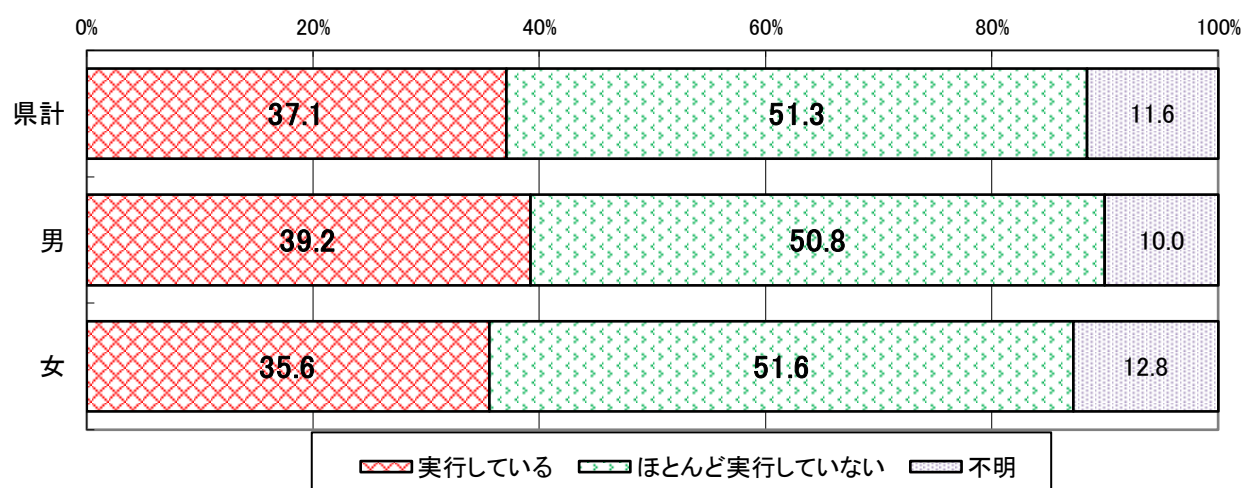


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

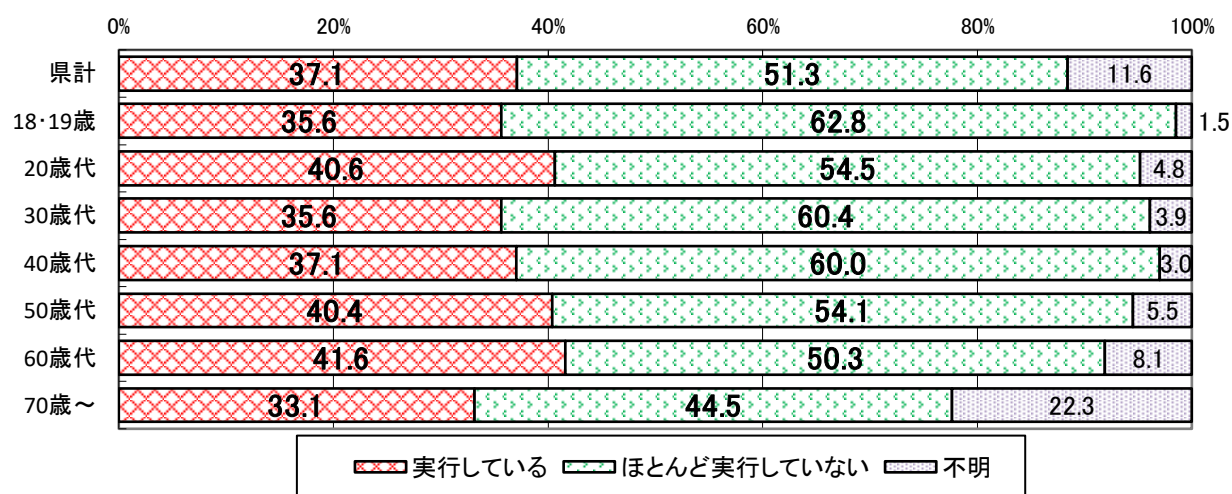
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

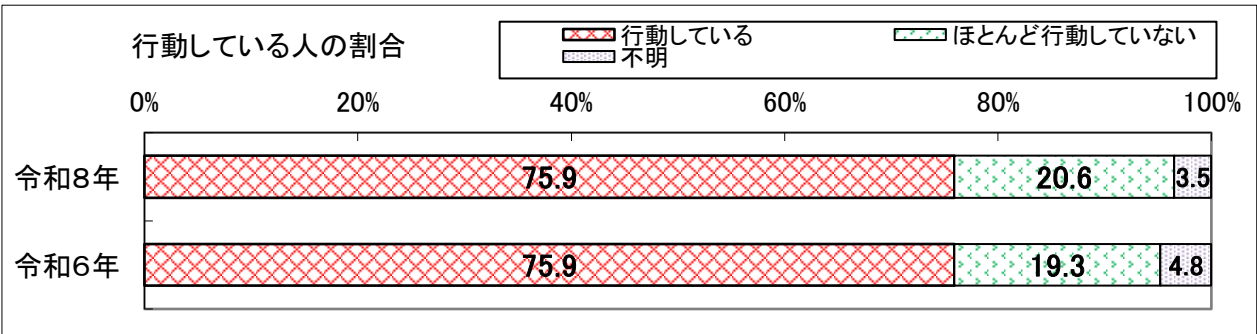


設問15 ごみの減量化への対応について

ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか

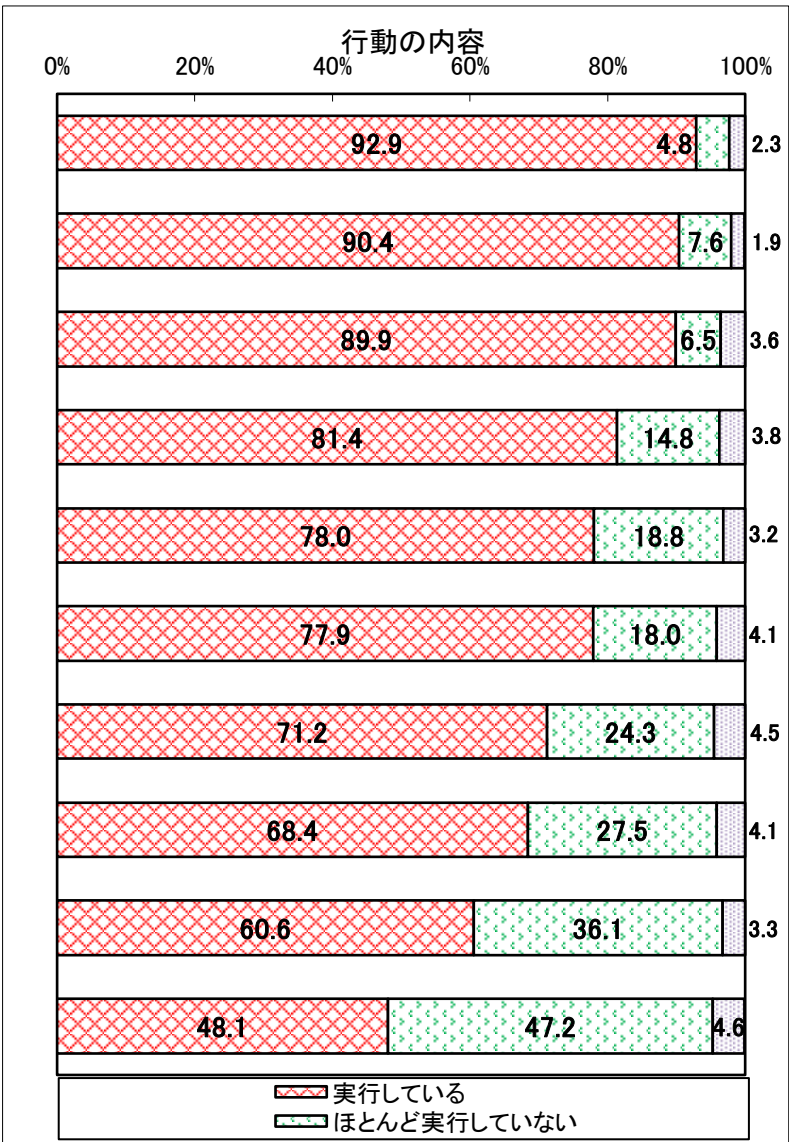
ごみの減量化に努めている人は7割台後半

○ ごみの減量化に努めている人の割合は、各調査項目の平均で75.9%となっている。



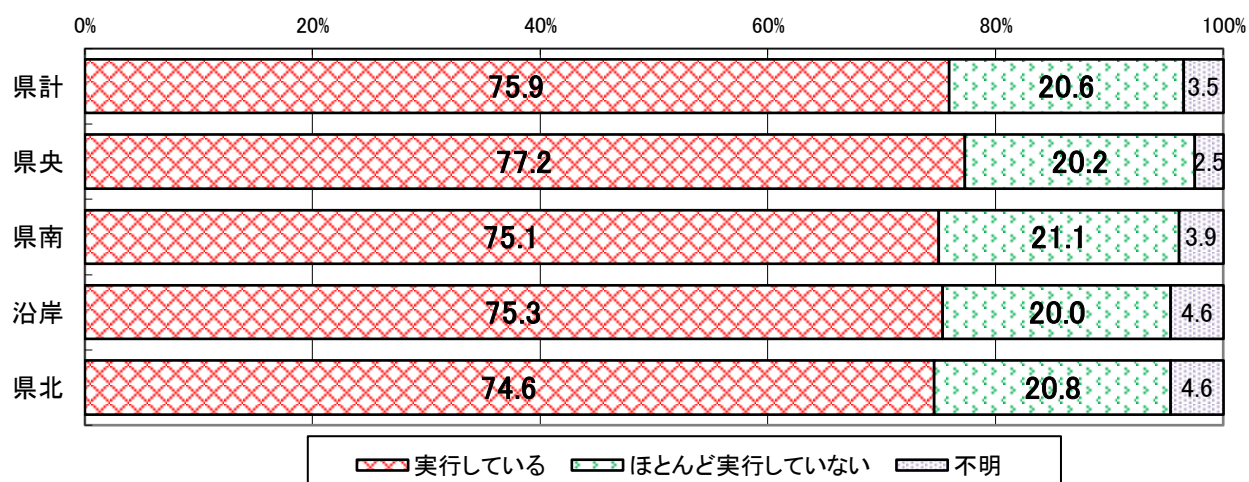
○ 行動の内容は、「リサイクルやごみの分別収集に協力している（例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル）」が最も多く92.9%、次いで「買い物のときは買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は辞退している」の90.4%などとなっている。

- リサイクルやごみの分別収集に協力している（例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル）
- 買い物のときは買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は辞退している
- 買い物の際に使いきれの食材だけを購入する、外食の際に食べ切れる量を注文するなど食品ロスを減らすよう努めている
- 過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる
- 使い捨てプラスチック製品（ストロー、スプーン等）の使用を控えている
- リターナブル容器（繰り返し使用される容器）や詰め替え商品を利用している
- 使い捨て商品の購入を控えている
- 再生品（リサイクル商品）を積極的に購入している
- コンポストなどにより生ごみを再資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている
- リサイクルショップやフリマアプリなどを利用している

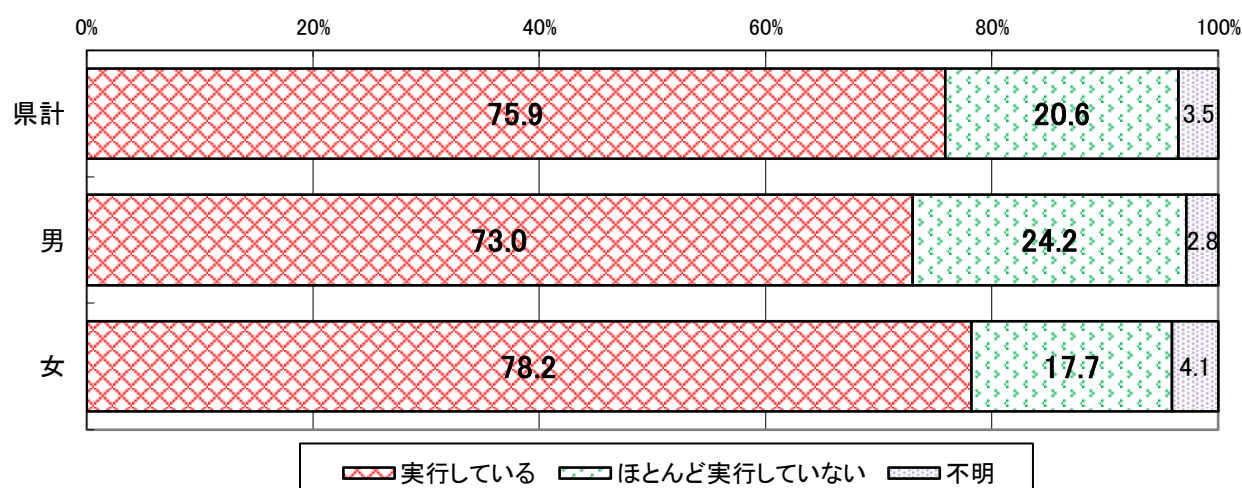


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

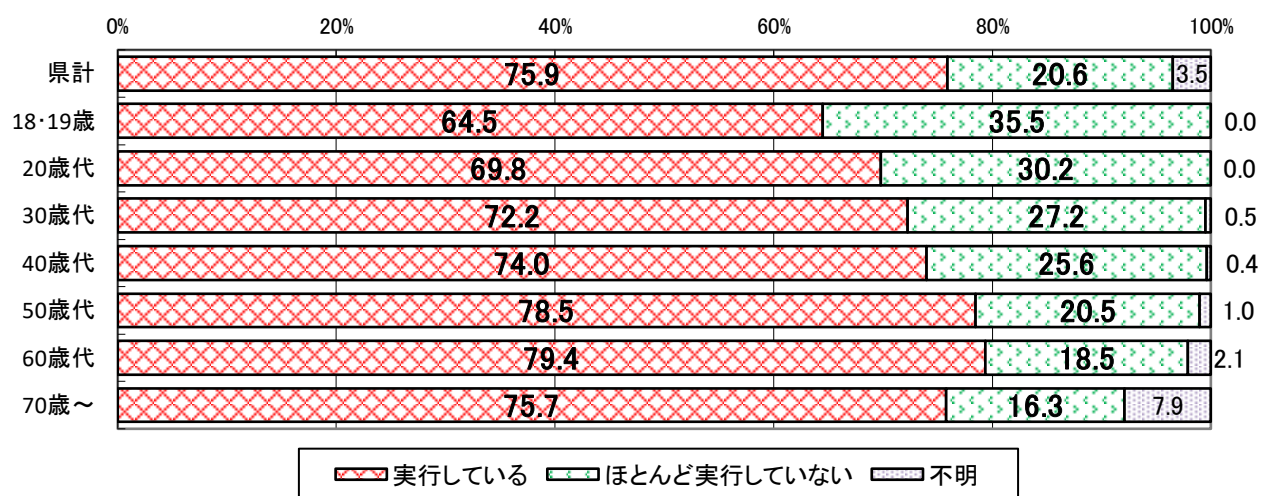
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

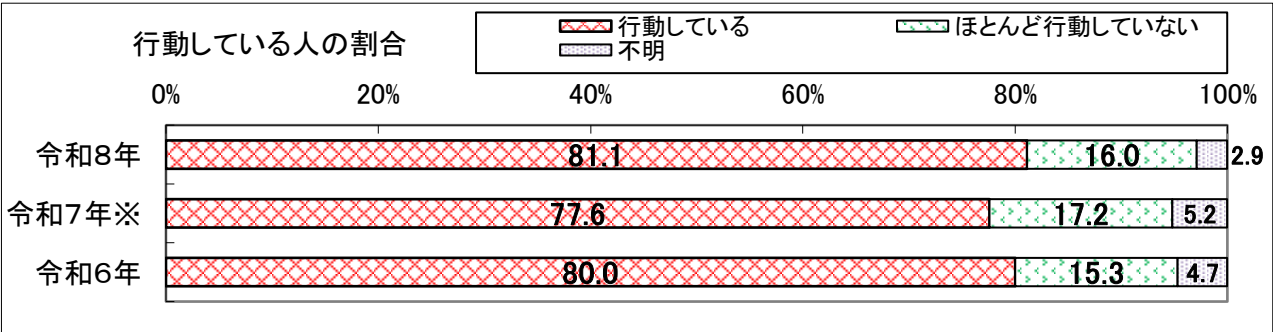


設問16 地球温暖化防止への対応について

地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか

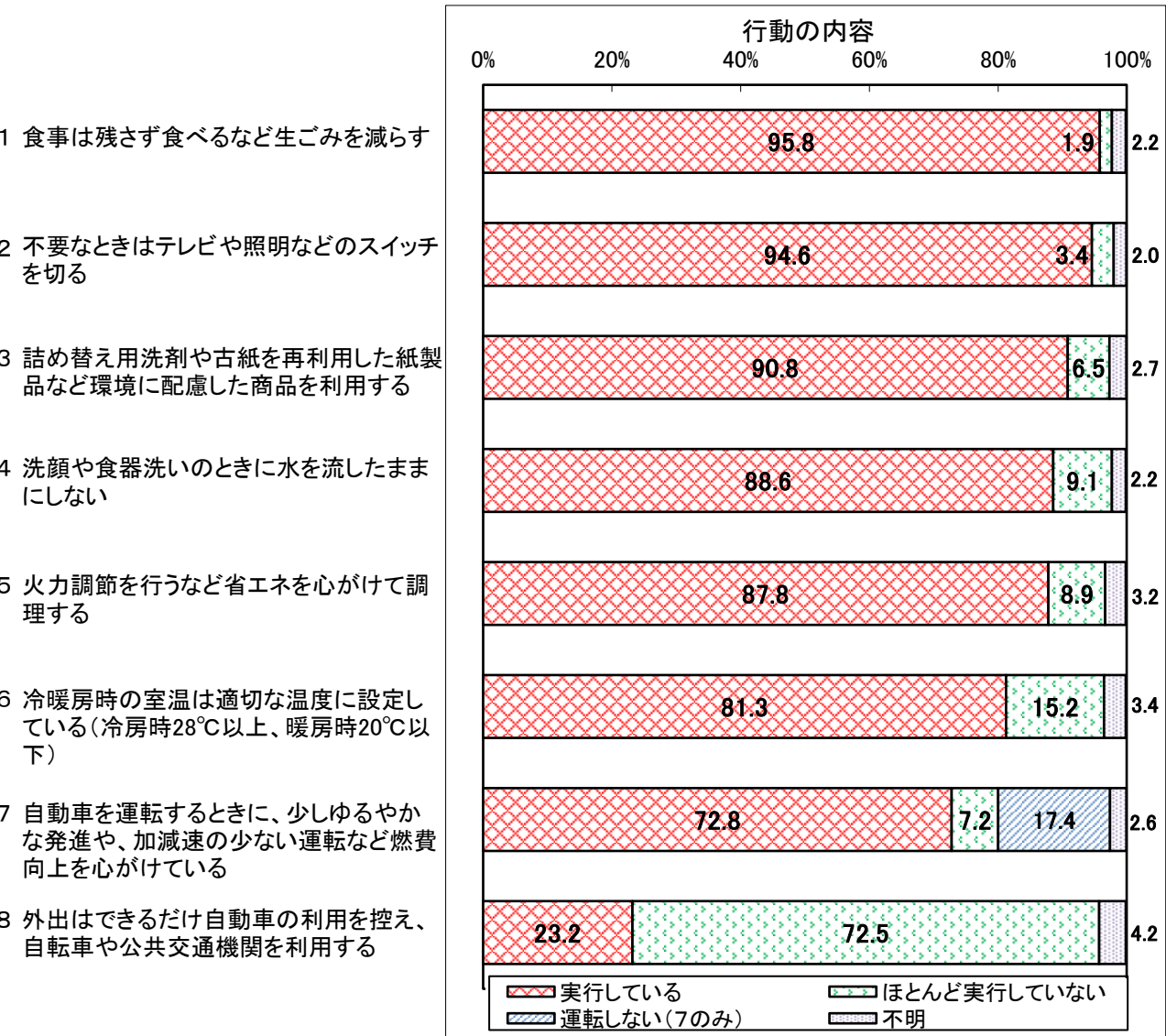
地球温暖化防止のための行動に努めている人は約8割

○ 地球温暖化防止のための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で81.1%となっている。



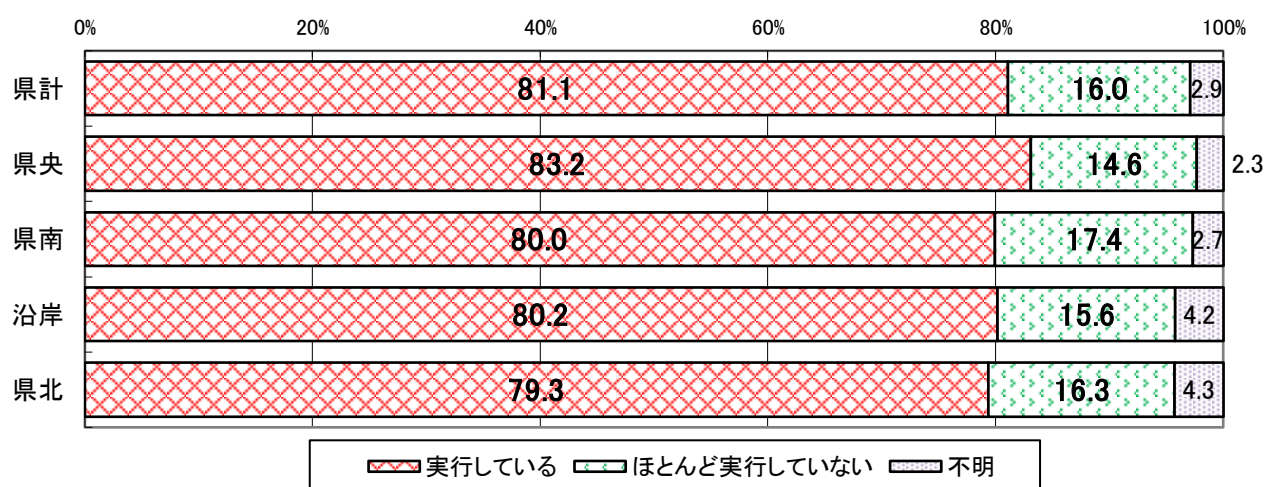
※令和7年県の施策に関する県民意識調査結果

○ 行動の内容は、「食事は残さず食べるなど生ごみを減らす」が最も多く95.8%、次いで「不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る」の94.6%、「詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する」の90.8%などとなっている。

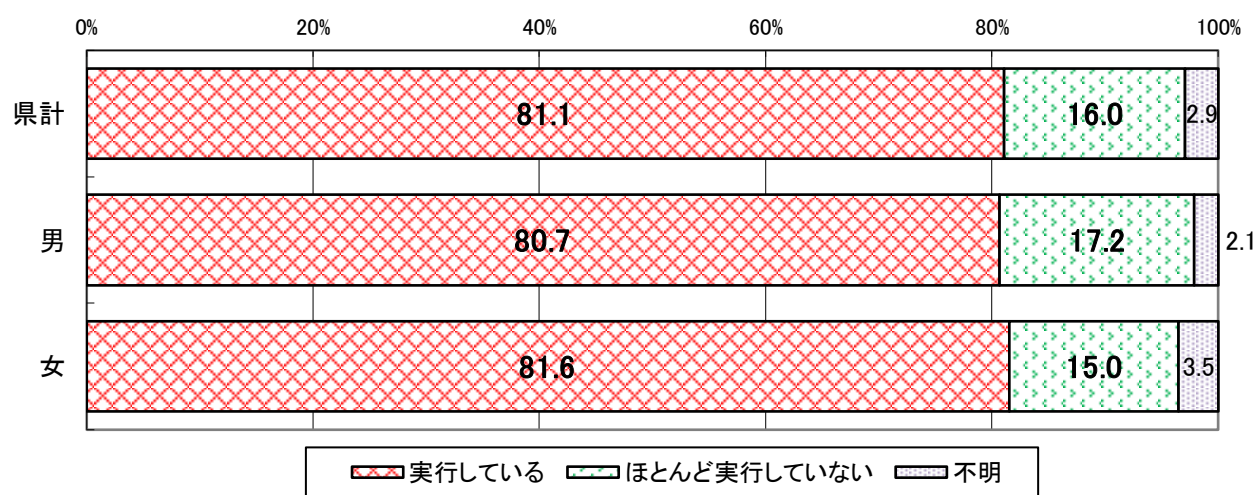


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

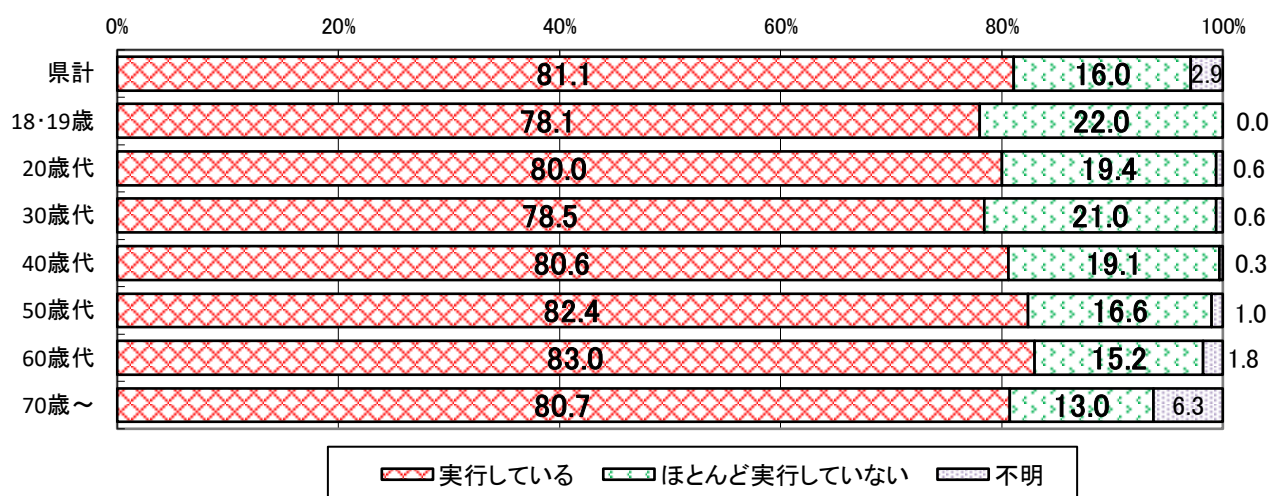
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

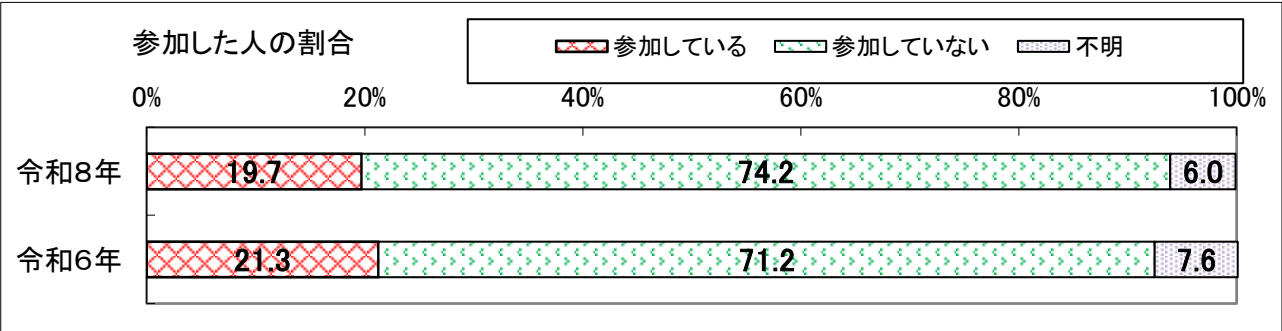


設問17 市民活動について

過去 1 年間にどのような市民活動に参加しましたか

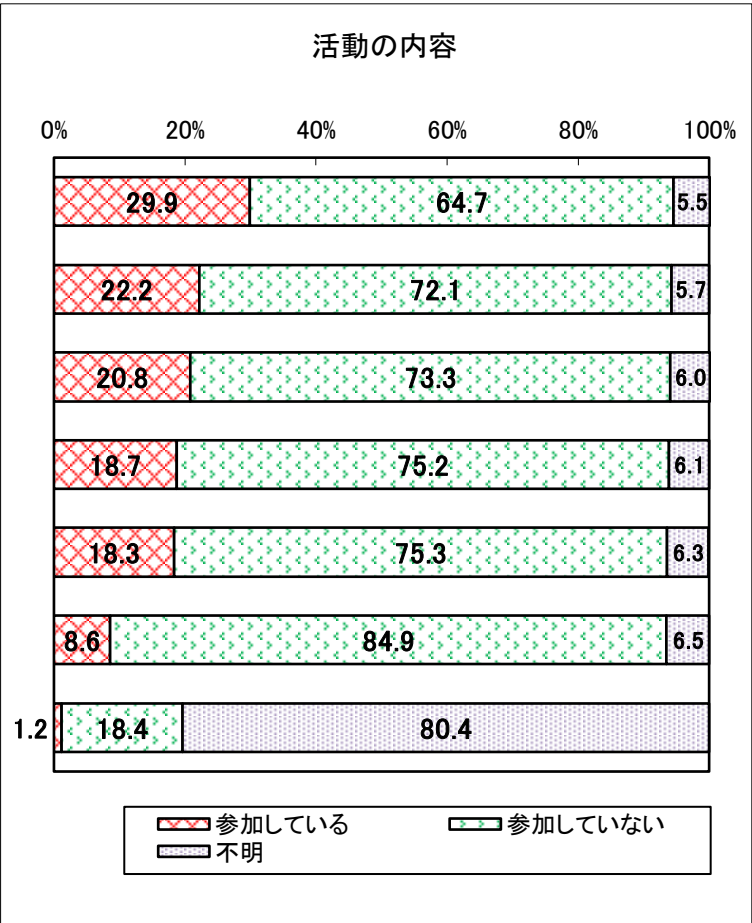
市民活動に参加した人は約 2 割

○ 過去 1 年間に市民活動に参加した人の割合は、全調査項目の平均で 19.7% となっている。



- 活動の内容は、「地域づくりのための活動」が最も多く 29.9%、次いで「学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動」の 22.2%、「防災、防犯、交通安全の活動」の 20.8% となっている。
- 一方、「青少年の健全育成を目的とした活動」が 8.6% と低くなっている。

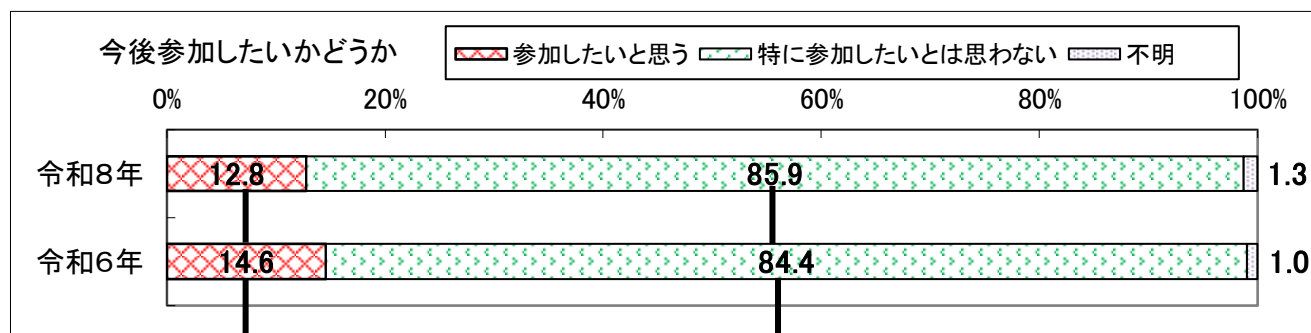
- 1 地域づくりのための活動
- 2 学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動
- 3 防災、防犯、交通安全の活動
- 4 自然や環境を守る活動
- 5 健康、医療、福祉に関係した活動
- 6 青少年の健全育成を目的とした活動
- 7 その他



全ての活動に参加していない場合

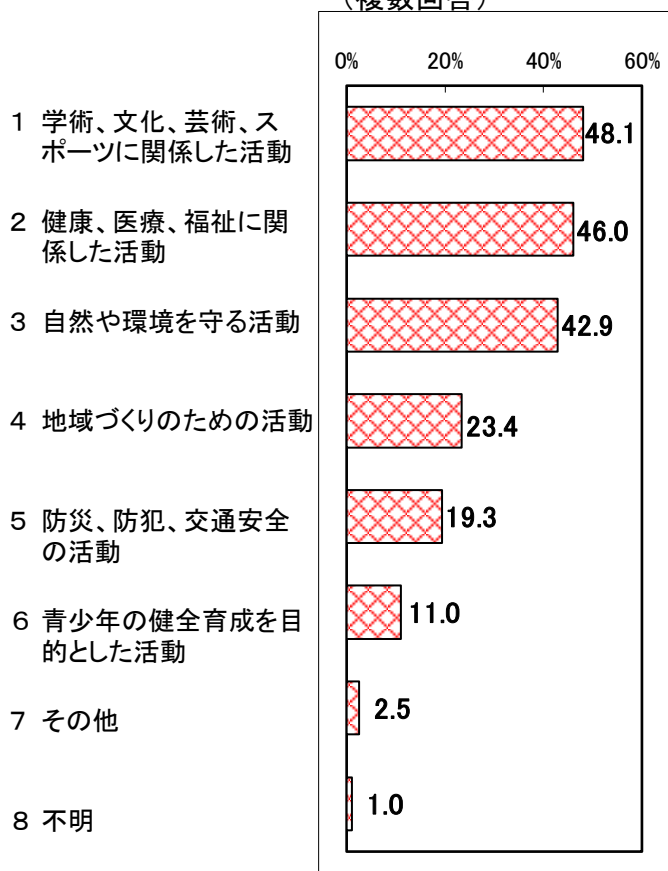
今後、市民活動に参加したいと思いますか

- 全ての活動に「参加していない」と回答した人で、今後、「参加したいと思う」と回答した人は12.8%、「特に参加したいとは思わない」と回答した人は85.9%となっている。
- 今後、参加してみたい内容は、「学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動」が最も多く48.1%、次いで「健康、医療、福祉に関係した活動」の46.0%、「自然や環境を守る活動」の42.9%などとなっている。
- 今後、参加したいとは思わない理由は、「忙しくて活動に参加する時間がないから」が最も多く46.3%、次いで「活動にはあまり関心がないから」の41.8%、「どのようにして活動に参加すればよいかわからないから」の17.2%などとなっている。



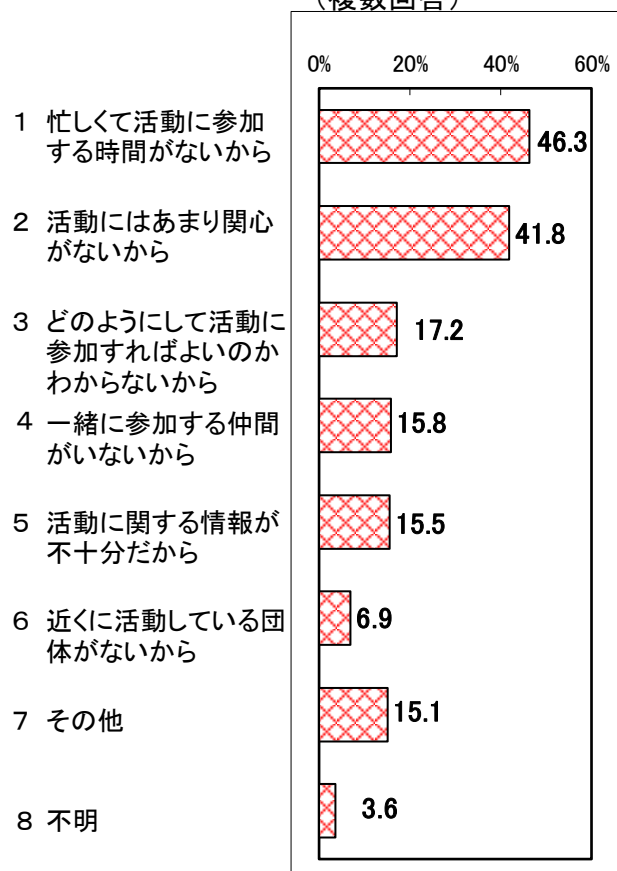
参加してみたい内容

(複数回答)



参加したいとは思わない理由

(複数回答)

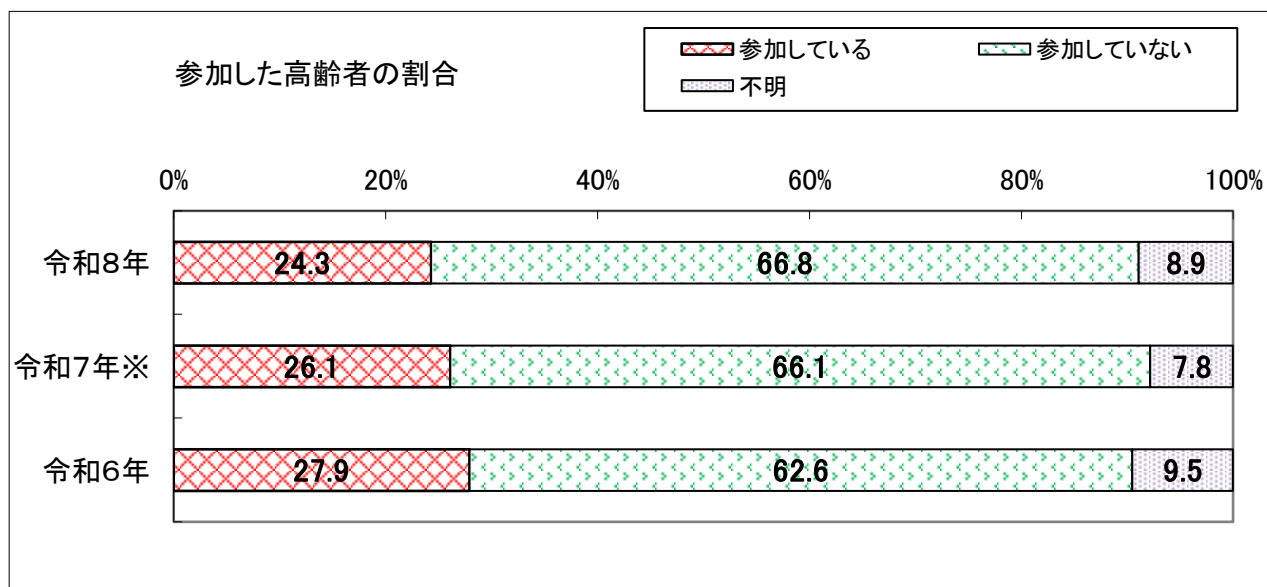


【65歳以上の方の市民活動状況】

過去1年間にどのような市民活動に参加しましたか

市民活動に参加した高齢者は2割台前半

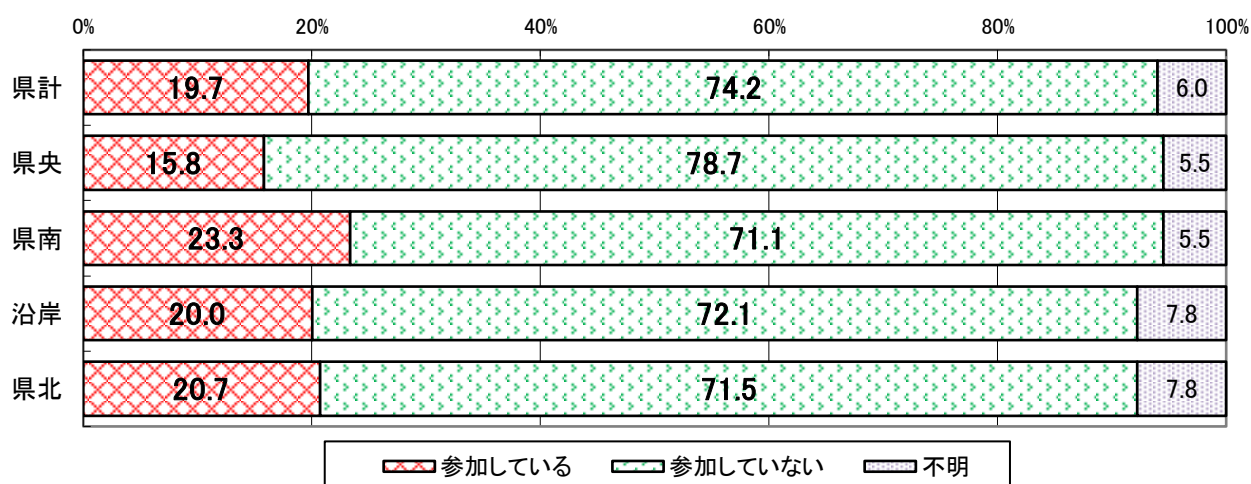
○ 過去1年間に市民活動に参加した高齢者の割合は、全調査項目の平均で24.3%となっている。



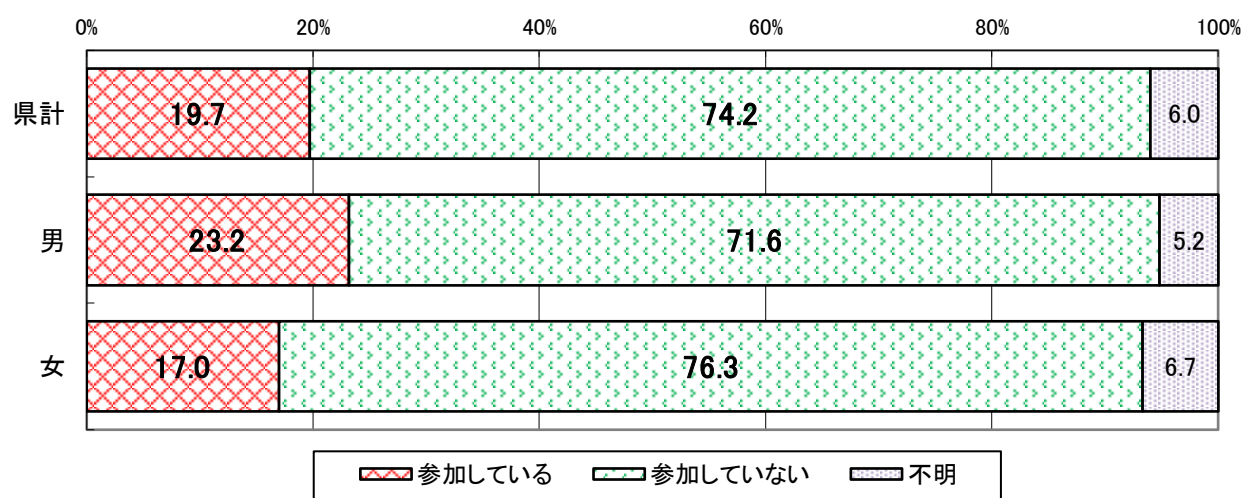
※令和7年県の施策に関する県民意識調査結果

〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

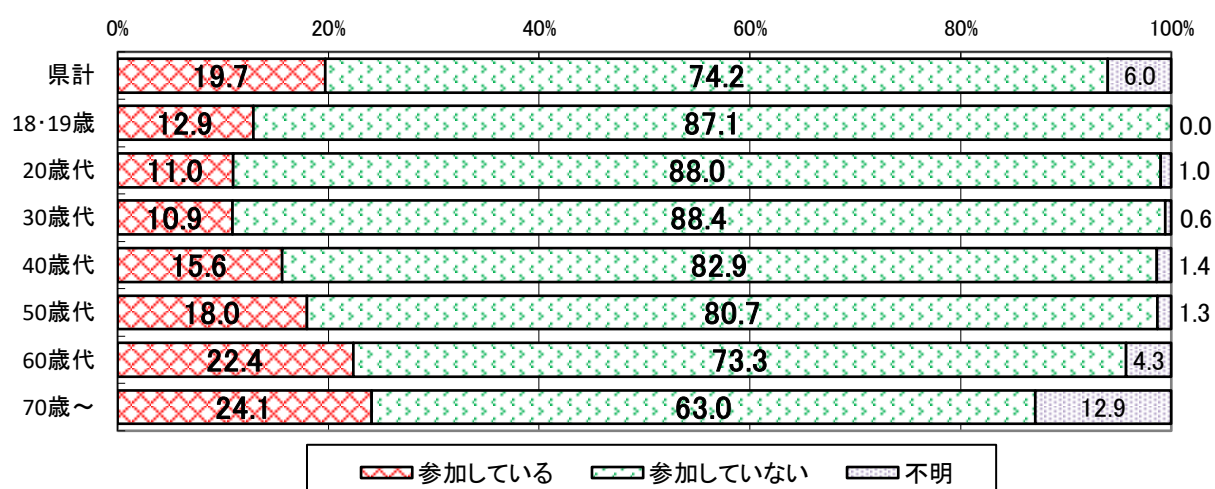
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別



統計表

〔設問1〕生涯学習についてお伺いします。
【問1】あなたは、生涯学習に取り組んでいますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①取り組んでいる	②取り組んでいない	不明
全体	100.0	45.2	53.3	1.5
県央広域振興圏	100.0	50.5	48.2	1.3
県南広域振興圏	100.0	43.6	54.8	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	40.1	57.8	2.1
県北広域振興圏	100.0	36.2	62.5	1.3
男	100.0	47.0	51.6	1.4
女	100.0	43.8	54.5	1.7
その他	100.0	0.0	100.0	0.0
18～19歳	100.0	61.3	35.6	3.1
20～29歳	100.0	61.5	38.5	0.0
30～39歳	100.0	59.4	39.7	0.9
40～49歳	100.0	50.8	48.6	0.6
50～59歳	100.0	49.9	48.9	1.2
60～69歳	100.0	40.6	58.5	0.9
70歳以上	100.0	37.3	60.0	2.7

【問2】【問1】で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお聞きます。
以下のそれぞれの内容と取組の頻度についてお答えください。

区分	全体	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	取り組んでいない	不明
①文化・芸術(音楽・合唱、美術、舞踊、郷土史、伝統芸能など)	100.0	11.7	11.3	20.2	35.5	21.3
②趣味や教養(パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど)	100.0	24.9	16.8	13.4	24.5	20.4
③スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進(ヨガ・山歩き・自然食など)	100.0	26.2	20.9	19.3	19.2	14.4
④職業上必要な知識・技能(パソコン技能や資格取得など)	100.0	17.8	13.3	15.0	31.1	22.8
⑤家庭生活に役立つ技能(料理、手芸など)	100.0	23.3	18.0	14.5	23.1	21.1
⑥子育て、しつけや家庭教育、読み聞かせ	100.0	7.9	7.3	8.8	50.0	26.0
⑦社会問題(時事、政治、経済、環境など)	100.0	16.8	14.9	16.1	28.2	24.0
⑧ボランティア活動に必要な知識・技能	100.0	3.0	5.8	15.8	51.3	24.1
⑨その他()	100.0	2.1	0.6	0.5	21.7	75.1

【問3】【問1】で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお聞きます。
生涯学習によって身に着けた知識・技能や経験を、あなたはどのようなことに生かしていますか。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①仕事や職業、資格取得など	②ボランティア活動や地域づくり活動、NPO・PTA・自治会等の各種団体活動	③家庭生活	④自分の人生をより豊かにすること	⑤健康の維持・増進	⑥他の人の学習やスポーツ活動、文化活動などの指導	⑦その他	不明
	42.5	16.0	45.0	67.9	54.2	9.1	1.5	3.8

【問4】【問1】で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお聞きます。
取り組んでいない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①仕事や家事が忙しくて取り組む時間がないから	②関心がないから	③費用がかかるから	④一緒に取り組む仲間がないから	⑤自分の希望に沿う内容の講座などがないから	⑥身近なところに取り組むための場所や施設がないから	⑦家族や職場など、周囲の理解が得られないから	⑧どのようにして取り組めばよいかわからないから	⑨内容・時間・場所・費用など、必要な情報が十分に手に入らないから	⑩その他	不明
	46.4	32.3	23.7	11.6	7.0	11.9	1.3	19.8	14.3	8.5	0.6

〔設問2〕大きな病院と診療所(開業医)の役割分担についてお伺いします。
【問1】あなたや家族が、病気やケガなどで医療機関を受診するとき、どのようにしていますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①どちらかと言えば、医師や診療科が多い大きな病院に行っている	②どちらかと言えば、診療所(開業医)に行っている	不明
全体	100.0	21.3	75.6	3.1

【問2】あなたは、大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っていますか。（あてはまるもの1つに○印）

	合計	①知って いる	②知らな い	不明
全体	100.0	61.3	36.0	2.7
県央広域振興圏	100.0	64.7	33.1	2.2
県南広域振興圏	100.0	61.2	35.9	2.9
沿岸広域振興圏	100.0	58.2	38.1	3.7
県北広域振興圏	100.0	51.1	46.7	2.2
男	100.0	59.7	37.8	2.5
女	100.0	62.6	34.6	2.8
その他	100.0	76.6	23.4	0.0
18～19歳	100.0	38.9	58.0	3.1
20～29歳	100.0	43.3	54.2	2.5
30～39歳	100.0	44.5	53.6	1.9
40～49歳	100.0	51.1	48.3	0.6
50～59歳	100.0	67.2	31.0	1.8
60～69歳	100.0	67.3	30.7	2.0
70歳以上	100.0	66.6	29.1	4.3

〔設問3〕健康に留意した生活についてお伺いします。

【問1】あなたは、普段、健康に留意して生活していますか。（あてはまるもの1つに○印）

	合計	①留意し ている	②特に留 意していな い	不明
全体	100.0	77.2	21.1	1.7
県央広域振興圏	100.0	79.6	19.3	1.1
県南広域振興圏	100.0	76.3	21.3	2.4
沿岸広域振興圏	100.0	75.8	22.4	1.8
県北広域振興圏	100.0	71.5	27.1	1.4
男	100.0	77.0	21.6	1.4
女	100.0	77.5	20.6	1.9
その他	100.0	0.0	100.0	0.0
18～19歳	100.0	66.7	30.2	3.1
20～29歳	100.0	72.8	26.2	1.0
30～39歳	100.0	68.0	31.2	0.8
40～49歳	100.0	71.2	28.2	0.6
50～59歳	100.0	77.6	21.5	0.9
60～69歳	100.0	77.8	21.2	1.0
70歳以上	100.0	81.9	15.0	3.1

【問2】【問1】で「1. 留意している」と回答した方にお聞きます。

健康のために努めているそれぞれの行動の状況についてあてはまるものを選択してください。

区分	全体	だいたい 実行して いる	ときどき実 行している	ほとんど実 行していな い	不明
①睡眠時間を十分にとる	100.0	63.4	25.4	6.0	5.2
②自分にあった運動を心がけている	100.0	31.7	39.6	23.0	5.7
③定期的に健康診断を受ける	100.0	68.9	15.7	9.8	5.6
④ストレスをためないよう気分転換をする	100.0	39.5	44.4	9.0	7.1
⑤食生活に注意している	100.0	44.8	34.0	7.4	13.8
⑥タバコやアルコールを控える（喫煙・飲酒をする方のみ）	100.0	35.4	16.9	13.3	34.4
⑦その他（ ）	100.0	0.8	0.3	5.4	93.5

【問3】【問2】で「⑤食生活に注意している」に「1. だいたい実行している」、「2. ときどき実行している」と回答した方にお聞きます。

食生活で注意しているそれぞれの行動の状況についてあてはまるものを選択してください。

区分	全体	ほぼ毎日 実行して いる	ときどき実 行している	ほとんど実 行していな い	不明
①朝食をとる	100.0	88.0	6.4	4.8	0.8
②自分にあった適切なカロリーをとる	100.0	37.1	44.7	15.6	2.6
③健康に配慮したメニューを心掛けている	100.0	44.4	48.3	5.6	1.7
④食べ物の安全性に配慮している	100.0	48.0	40.8	8.5	2.7
⑤食事の時間を決め食べている	100.0	65.5	25.2	7.1	2.2
⑥箸の持ち方、姿勢、配膳、食べ方など、食事のマナーに注意して食べている	100.0	45.0	37.4	14.5	3.1
⑦自分で料理をする、又は手伝いをする	100.0	59.8	23.2	15.4	1.6

〔設問4〕脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）による死亡率についてお伺いします。

あなたは、岩手県が脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）による死亡率が全国に比べて高いことを知っていますか。（あてはまるもの1つに○印）

	合計	①知って いる	②知らな い	不明
全体	100.0	78.1	19.4	2.5
県央広域振興圏	100.0	81.9	15.8	2.3
県南広域振興圏	100.0	75.9	21.5	2.6
沿岸広域振興圏	100.0	77.3	20.4	2.3
県北広域振興圏	100.0	72.8	24.5	2.7
男	100.0	75.0	22.1	2.9
女	100.0	80.6	17.2	2.2
その他	100.0	76.6	23.4	0.0
18～19歳	100.0	48.5	47.3	4.2
20～29歳	100.0	60.7	36.0	3.3
30～39歳	100.0	60.3	36.5	3.2
40～49歳	100.0	70.3	28.4	1.3
50～59歳	100.0	84.3	14.4	1.3
60～69歳	100.0	86.1	12.2	1.7
70歳以上	100.0	81.7	14.8	3.5

〔設問5〕地域が一体となって子どもを育てることについてお伺いします。

【問1】あなたは、学校行事や地域において子どもを育てる活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①参加している	②ほとんど参加していない	不明
全体	100.0	16.2	81.6	2.2
県央広域振興圏	100.0	15.4	82.7	1.9
県南広域振興圏	100.0	18.4	79.4	2.2
沿岸広域振興圏	100.0	14.2	82.8	3.0
県北広域振興圏	100.0	12.7	84.7	2.6
男	100.0	15.7	82.8	1.5
女	100.0	16.6	80.6	2.8
その他	100.0	0.0	100.0	0.0
18～19歳	100.0	10.6	86.3	3.1
20～29歳	100.0	6.2	93.8	0.0
30～39歳	100.0	29.2	69.4	1.4
40～49歳	100.0	35.9	63.5	0.6
50～59歳	100.0	18.5	80.8	0.7
60～69歳	100.0	9.7	89.4	0.9
70歳以上	100.0	10.6	84.7	4.7

【問2】【問1】で「1. 参加している」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの活動の状況についてお答えください。

区分	全体	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ほとんどない	不明
①あいさつなどの声かけ運動	100.0	18.5	14.5	22.8	32.8	11.4
②PTA活動や運動会などの学校行事	100.0	8.6	9.6	54.4	16.7	10.7
③地区子ども会活動	100.0	7.4	3.9	42.1	34.4	12.2
④スポーツ少年団などの地域活動	100.0	14.4	6.9	10.7	54.1	13.9
⑤子育て支援ボランティアなどの育児支援活動	100.0	2.4	3.0	9.9	69.8	14.9
⑥登下校時の見守りなど子どもの安全を守る活動	100.0	5.3	5.6	18.2	58.3	12.6
⑦その他()	100.0	1.3	2.0	2.4	12.4	81.9

【問3】【問1】で「2. ほとんど参加していない」と回答した方にお聞きします。

(1)あなたは、今後、これらの活動に参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○印)

全体	①参加したいと思う	②特に参加したいとは思わない	不明
100.0	13.6	85.1	1.3

(2)((1)で「1. 参加したいと思う」と回答した方)参加してみたい内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①あいさつなどの声かけ運動	②PTA活動や運動会などの学校行事	③地区子ども会活動	④スポーツ少年団などの地域活動	⑤子育て支援ボランティアなどの育児支援活動	⑥登下校時の見守りなど子どもの安全を守る活動	⑦その他	不明
	48.7	16.1	24.8	19.0	26.6	42.7	5.3	1.0

(3)((1)で「2. 特に参加したいとは思わない」と回答した方)参加したいとは思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①忙しくて活動に参加する時間がないから	②特に活動の必要性を感じないから	③子どもへの教育は学校の役割だから	④活動に関する情報が不十分だから	⑤身近に子どもがいないから	⑥その他	不明
	34.4	12.1	1.9	11.6	55.7	15.6	3.3

〔設問6〕公共交通機関の利用についてお伺いします。

【問1】あなたは、普段、バスや鉄道などの公共交通機関を利用していますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①利用している	②ほとんど利用していない	不明
全体	100.0	14.7	83.9	1.4
県央広域振興圏	100.0	23.7	75.6	0.7
県南広域振興圏	100.0	7.8	90.1	2.1
沿岸広域振興圏	100.0	12.7	85.9	1.4
県北広域振興圏	100.0	9.1	89.2	1.7
男	100.0	10.5	88.3	1.2
女	100.0	18.1	80.3	1.6
その他	100.0	26.6	73.4	0.0
18～19歳	100.0	49.4	47.5	3.1
20～29歳	100.0	28.9	71.1	0.0
30～39歳	100.0	14.2	84.9	0.9
40～49歳	100.0	11.7	88.0	0.3
50～59歳	100.0	12.0	87.4	0.6
60～69歳	100.0	13.2	86.1	0.7
70歳以上	100.0	14.4	82.7	2.9

【問2】【問1】で「1. 利用している」と回答した方にお聞きます。
利用している目的・公共交通機関ごとに利用の頻度をお答えください。

区分		全体	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	ほとんど利用しない	不明
①通勤・通学	鉄道	100.0	12.2	2.9	3.7	37.5	43.7
	バス	100.0	9.8	4.5	7.0	38.0	40.7
②買い物	鉄道	100.0	0.5	2.3	14.8	40.6	41.8
	バス	100.0	2.0	8.9	31.9	34.1	23.1
③通院	鉄道	100.0	0.4	0.7	11.9	47.9	39.1
	バス	100.0	1.1	4.1	30.4	43.0	21.4
④その他	鉄道	100.0	1.1	1.1	17.9	31.3	48.6
	バス	100.0	1.2	2.8	19.1	32.7	44.2

【問3】【問1】で「2. ほとんど利用していない」と回答した方にお聞きます。
利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

	全体	①自宅から駅、バス停が遠いから	②目的地が駅、バス停から遠いから	③公共交通機関の便数が少ないから	④乗継ぎが不便だから	⑤公共交通機関に関する情報が不十分だから	⑥運賃が高いから	⑦公共交通機関の社員の態度が悪いから	⑧自家用車のほうが便利だから	⑨その他	不明
鉄道		28.5	18.1	21.9	14.0	7.1	9.2	0.5	75.2	6.7	15.1
バス		19.4	16.3	29.0	16.0	9.9	10.9	1.1	79.0	6.4	12.5

〔設問7〕災害への対応についてお伺いします。
【問1】あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①準備している	②特に準備していない	不明
全体	100.0	47.6	50.4	2.0
県央広域振興圏	100.0	48.0	50.4	1.6
県南広域振興圏	100.0	45.4	52.3	2.3
沿岸広域振興圏	100.0	58.2	39.7	2.1
県北広域振興圏	100.0	38.4	59.7	1.9
男	100.0	46.1	52.2	1.7
女	100.0	48.8	49.0	2.2
その他	100.0	50.0	50.0	0.0
18～19歳	100.0	30.8	66.1	3.1
20～29歳	100.0	27.7	72.3	0.0
30～39歳	100.0	45.0	53.4	1.6
40～49歳	100.0	49.6	49.7	0.7
50～59歳	100.0	53.6	45.9	0.5
60～69歳	100.0	52.2	46.5	1.3
70歳以上	100.0	46.1	50.1	3.8

【問2】【問1】で「1. 準備している」と回答した方にお聞きます。
準備している内容すべてに○印を付けてください。

全体	①家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している	②地域で実施される防災訓練に年1回以上参加している	③家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している	④家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている	⑤地域の自主防災組織に加入している	⑥家具などの転倒防止措置を行っている	⑦自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている	⑧その他	不明
	31.1	21.5	77.7	25.5	12.2	42.8	18.8	2.5	0.2

【問3】【問1】で「2. 特に準備していない」と回答した方にお聞きます。
(1) 準備していない理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

全体	①そもそも準備の必要がないと思うから	②準備は必要だと思うが、準備に至っていない	不明
100.0	5.4	94.0	0.6

(2) (1)で「2. 準備は必要だと思うが、準備に至っていない」と回答した方は以下について理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①どのような危険があるかわからないから、何を準備したらよいかかわからない	②手間がかかってわずらわしいから	③周囲の人も準備していないから	④準備に費用がかかるから	⑤被災体験や、災害の場面などを見ることがないから	⑥準備しても災害が起きないと無駄になるから	⑦その他	不明
	46.9	20.5	6.4	31.2	4.1	8.9	14.2	1.9

〔設問8〕防犯への対応についてお伺いします。
あなたは、犯罪の被害にあわないために、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

	合計	①だいた い実行し ている	②ときどき 実行して いる	③ほとんど 実行して いない	不明	行動者率 (①＋②)
全体	100.0	35.7	14.2	43.8	6.4	49.9
県央広域振興圏	100.0	38.0	13.2	43.1	5.6	51.2
県南広域振興圏	100.0	40.5	0.0	51.8	7.6	40.5
沿岸広域振興圏	100.0	35.0	13.9	43.4	7.6	48.9
県北広域振興圏	100.0	31.7	14.8	46.2	7.3	46.5
男	100.0	33.7	14.2	46.3	5.7	47.9
女	100.0	37.3	14.1	41.7	6.9	51.4
その他	100.0	44.3	7.0	48.7	0.0	51.3
18～19歳	100.0	28.1	12.9	55.7	3.3	41.0
20～29歳	100.0	30.4	12.7	56.7	0.2	43.1
30～39歳	100.0	35.6	13.9	48.5	2.1	49.5
40～49歳	100.0	36.6	14.9	47.1	1.3	51.5
50～59歳	100.0	35.2	15.9	46.9	2.0	51.1
60～69歳	100.0	35.8	14.9	44.2	5.2	50.7
70歳以上	100.0	36.7	13.1	37.4	12.9	49.8

区分	全体	だいたい 実行して いる	ときどき実 行している	ほとんど実 行していな い	運転しな い	不明
①外出時はカギをかけている	100.0	85.7	5.5	6.0		2.8
②家に人がいるときも、用心のためにカギをかけている	100.0	50.3	16.4	27.7		5.6
③隣近所と声をかけ合うようにしている	100.0	21.1	27.9	44.3		6.7
④自転車・自動車にカギをかけている	100.0	72.6	5.7	5.2	11.1	5.4
⑤住宅に防犯性能の高いカギやサッシ、補助錠などを取り付けている	100.0	25.3	10.3	56.3		8.1
⑥特殊詐欺被害防止対策について、家族で話し合っている	100.0	24.0	31.2	38.4		6.4
⑦特殊詐欺被害防止対策で有効と言われる留守番電話機能を設定し活用している	100.0	32.6	7.4	53.4		6.6
⑧自身(あなた)や家族が、防犯ブザーやホイッスルなどを持ち歩いている	100.0	7.3	5.2	79.9		7.5
⑨夜、一人の外出を控えている	100.0	53.7	16.5	24.7		5.1
⑩防犯パトロールや買物・散歩など日常生活を通じて防犯の視点で見る「ながら見 守り」を行い、地域の防犯活動に参画している	100.0	5.1	10.4	77.2		7.4
⑪びかばメールや警察の広報紙などで、地域の犯罪情報や危険な場所に関心を持 ち、把握に努めている	100.0	10.8	17.7	63.8		7.7

〔設問9〕交通安全への対応についてお伺いします。
あなたは、交通安全のために、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの場合の行動の状況についてお答えください。

	合計	①だいた い実行し ている	②ときどき 実行して いる	③ほとんど 実行して いない	不明	行動者率 (①＋②)
全体	100.0	57.3	14.8	18.0	10.0	72.1
県央広域振興圏	100.0	58.0	15.0	18.1	8.9	73.0
県南広域振興圏	100.0	57.1	14.8	18.1	10.0	71.9
沿岸広域振興圏	100.0	56.8	13.7	17.2	12.3	70.5
県北広域振興圏	100.0	55.2	15.5	17.7	11.6	70.7
男	100.0	57.3	15.5	19.5	7.7	72.8
女	100.0	63.3	13.5	11.0	12.2	76.8
その他	100.0	62.0	11.0	25.1	1.9	73.0
18～19歳	100.0	55.7	13.1	21.3	10.0	68.8
20～29歳	100.0	61.5	15.1	21.9	1.6	76.6
30～39歳	100.0	61.7	15.8	21.0	1.4	77.5
40～49歳	100.0	62.2	16.3	19.5	1.9	78.5
50～59歳	100.0	60.0	16.8	19.5	3.7	76.8
60～69歳	100.0	57.2	16.8	19.2	6.8	74.0
70歳以上	100.0	52.3	11.7	14.4	21.6	64.0

区分	全体	だいたい 実行して いる	ときどき実 行している	ほとんど実 行していな い	運転しな い	不明
家庭にお いて	①交通安全について話し合っている	100.0	26.0	41.5	23.2	9.3
	②交通事故に気をつけるよう声をかけている	100.0	55.3	27.9	10.6	6.1
	③運転免許の自主返納について話し合っている	100.0	10.1	17.8	50.9	7.6
歩行者とし て	④夕暮れ時や夜間は、反射材などをつけている	100.0	13.3	14.0	63.1	9.6
	⑤道路を横断するときは、左右の安全を確認し、横断歩道を利用して いる	100.0	72.1	18.2	4.1	5.6
	⑥車が見えるときは、通り過ぎるのを待ってから横断している	100.0	80.3	11.4	2.6	5.6
自転車を 運転する とき	⑦交差点では、信号や一時停止標識を守って、安全を確認している	100.0	33.8	2.8	1.1	12.2
	⑧夕暮れ時や夜間は、ライトや反射材を活用している	100.0	27.5	3.8	5.3	10.5
	⑨ヘルメットを着用している	100.0	8.6	4.1	22.7	10.1
	⑩運転中にイヤホンや携帯電話は使用していない	100.0	30.5	2.6	3.6	9.3
	⑪自転車損害賠償保険等(注2)に加入している	100.0	18.0	1.6	15.9	10.2
自動車を 運転する とき	⑫全ての座席のシートベルト・チャイルドシートを正しく着用させている	100.0	68.2	6.5	2.1	5.3
	⑬横断歩道に歩行者がいたら、止まって渡らせている	100.0	70.0	7.0	0.3	4.4
	⑭通学路など歩行者が多く利用する生活道路では速度を抑え安全に 注意している	100.0	71.4	5.3	0.3	4.6
	⑮夕暮れ時のライトの早め点灯を行っている	100.0	72.1	4.7	0.4	4.5

〔設問10〕食品の表示の確認についてお伺いします。

【問1】あなたは、普段のお買い物の際に、食品の表示を確認していますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①確認している	②確認していない	不明
全体	100.0	80.4	18.2	1.4
県央広域振興圏	100.0	81.7	17.2	1.1
県南広域振興圏	100.0	79.3	18.9	1.8
沿岸広域振興圏	100.0	81.3	17.3	1.4
県北広域振興圏	100.0	77.8	20.7	1.5
男	100.0	75.4	23.2	1.4
女	100.0	84.5	14.0	1.5
その他	100.0	23.4	76.6	0.0
18～19歳	100.0	62.7	34.2	3.1
20～29歳	100.0	66.7	33.3	0.0
30～39歳	100.0	81.0	19.0	0.0
40～49歳	100.0	82.0	17.6	0.4
50～59歳	100.0	83.6	15.1	1.3
60～69歳	100.0	83.1	15.6	1.3
70歳以上	100.0	79.6	18.0	2.4

【問2】【問1】で「1. 確認している」と回答した方にお聞きします。

確認している表示の内容についてあてはまるものを選択してください。

区分	全体	だいたい確認している	ときどき確認している	ほとんど確認していない	不明
①日付(消費期限、賞味期限など)	100.0	93.6	5.4	0.6	0.4
②保存方法	100.0	62.5	29.3	5.7	2.5
③原産地、原産国	100.0	62.6	28.6	6.6	2.2
④原材料名、食品添加物名、アレルギー物質名	100.0	36.2	39.6	20.9	3.3
⑤遺伝子組換え食品であるかどうか	100.0	24.3	29.8	42.4	3.5
⑥製造業者名、販売業者名	100.0	38.3	41.8	17.4	2.5
⑦その他()	100.0	2.4	0.9	6.5	90.2

【問3】【問1】で「2. 確認していない」と回答した方にお聞きします。

確認していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①表示が判りにくいから	②表示が信用できないから	③表示を確認することが面倒くさいから	④表示に関心がなから	⑤表示内容より価格を重視しているから	⑥表示内容より手軽さを重視しているから	⑦その他	不明
	20.9	4.7	30.1	31.9	39.8	25.8	12.8	2.8

〔設問11〕県内産の工芸品の利用についてお伺いします。

【問1】あなたは、普段、県内産の工芸品を利用していますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①利用している	②特に利用していない(県内産か分からず利用している場合も含む)	不明
全体	100.0	26.4	72.4	1.2
県央広域振興圏	100.0	31.1	68.2	0.7
県南広域振興圏	100.0	23.7	74.9	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	19.9	78.2	1.9
県北広域振興圏	100.0	28.7	69.6	1.7
男	100.0	20.9	78.3	0.8
女	100.0	31.0	67.4	1.6
その他	100.0	0.0	100.0	0.0
18～19歳	100.0	9.2	90.8	0.0
20～29歳	100.0	8.6	91.4	0.0
30～39歳	100.0	19.0	80.6	0.4
40～49歳	100.0	20.7	79.3	0.0
50～59歳	100.0	28.2	71.2	0.6
60～69歳	100.0	31.8	67.9	0.3
70歳以上	100.0	29.8	67.4	2.8

【問2】【問1】で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの利用している品目と頻度についてお答えください。

(1)利用の頻度は

区分	全体	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど利用していない	不明
①南部鉄器	100.0	24.3	8.8	13.5	19.3	23.8	10.3
②岩谷堂箆笥	100.0	9.1	1.1	1.8	3.6	60.8	23.6
③秀衡塗	100.0	16.3	6.0	6.2	15.6	39.3	16.6
④浄法寺塗	100.0	9.1	2.7	3.2	8.5	55.8	20.7
⑤南部古代型染	100.0	6.9	0.8	2.1	8.5	58.8	22.9
⑥紫根染	100.0	3.0	0.1	1.0	6.0	65.8	24.1
⑦南部裂織	100.0	3.2	1.5	4.5	5.9	60.2	24.7
⑧ホームスパン	100.0	2.8	1.8	1.7	9.0	60.9	23.8
⑨木工品	100.0	16.6	5.5	7.9	10.4	38.7	20.9
⑩竹細工	100.0	6.8	3.6	6.7	10.2	50.5	22.2
⑪琥珀	100.0	3.2	1.5	3.9	15.2	56.3	19.9
⑫その他()	100.0	1.6	0.3	0.3	0.7	12.2	84.9

(2)利用している理由は(あてはまるものすべてに○印)

全体	①品質が 良いから	②使い勝 手がいい から	③デザイン が良いから	④県産品 だから	⑤代々愛 用している から	⑥お土産 に向いてい るから	⑦その他	不明
	55.4	31.5	21.7	34.3	23.5	6.9	8.5	7.4

【問3】【問1】で「2. 特に利用していない」と回答した方にお聞きます。
利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①値段が 高いから	②使い勝 手が悪い から	③デザイン が好ましく ないから	④身近で 利用して いないから	⑤興味が ないから	⑥その他	不明
	49.2	5.6	5.1	30.8	40.6	8.3	0.9

〔設問12〕県内産の農林水産物の利用についてお伺いします。

【問1】あなたは、普段、県内産の農林水産物を利用していますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①利用し ている	②特に利 用していな い(県内産 か分から ず利用し ている場 合も含む)	不明
全体	100.0	80.3	18.9	0.8
県央広域振興圏	100.0	82.4	17.2	0.4
県南広域振興圏	100.0	78.5	20.4	1.1
沿岸広域振興圏	100.0	82.1	16.8	1.1
県北広域振興圏	100.0	75.8	23.1	1.1
男	100.0	75.4	24.0	0.6
女	100.0	84.4	14.6	1.0
その他	100.0	26.6	73.4	0.0
18～19歳	100.0	55.8	43.1	1.1
20～29歳	100.0	69.3	30.7	0.0
30～39歳	100.0	78.2	21.4	0.4
40～49歳	100.0	80.1	19.9	0.0
50～59歳	100.0	83.9	15.8	0.3
60～69歳	100.0	81.5	18.0	0.5
70歳以上	100.0	81.4	16.8	1.8

【問2】以下のそれぞれの利用している種類と頻度についてお答えください。

(1)利用の頻度は

区分	全体	ほぼ毎日	週に数回 程度	月に数回 程度	年に数回 程度	ほとんど利 用していな い	不明
①米などの穀物	100.0	79.8	4.4	7.7	3.5	2.6	2.0
②野菜	100.0	63.5	23.3	9.7	1.1	0.6	1.8
③りんごなどの果物	100.0	41.5	22.2	23.1	9.2	1.7	2.3
④しいたけなどの林産物	100.0	29.2	26.3	26.8	10.0	4.3	3.4
⑤卵	100.0	55.3	25.2	10.8	2.9	3.8	2.0
⑥牛乳	100.0	51.1	17.5	15.0	4.9	9.2	2.3
⑦牛肉や豚肉などの肉類	100.0	30.0	35.2	22.3	5.9	3.9	2.7
⑧魚類・貝類	100.0	25.7	36.9	25.0	6.3	3.6	2.5
⑨海藻類	100.0	27.2	32.5	25.9	7.4	4.4	2.6
⑩花類	100.0	13.8	6.5	23.0	27.3	25.3	4.1
⑪その他()	100.0	0.8	0.5	0.9	0.4	5.9	91.5

(2)利用している理由は(あてはまるものすべてに○印)

全体	①新鮮だ から	②価格が 安いから	③安全・安 心だから	④季節感 があるから	⑤おいし いから	⑥その他	不明
	70.2	26.0	64.4	33.0	55.4	4.9	8.8

【問3】【問1】で「2. 特に利用していない」と回答した方にお聞きます。

(1)今後、県内産の農林水産物を利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○印)

全体	①利用し たいと思う	②特に利 用したいと は思わな い	不明
100.0	44.7	54.6	0.7

(2) (1)で「1. 利用したいと思う」と回答した方にお聞きます。

①利用したい種類はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①米など の穀物	②野菜	③りんごな どの果物	④しいたけ などの林 産物	⑤卵	⑥牛乳	⑦牛肉や 豚肉など の肉類	⑧魚類・貝 類	⑨海藻類	⑩花類	⑪その他	不明
	69.2	73.2	57.5	35.3	46.9	43.0	48.6	57.7	39.3	15.4	3.2	1.5

②利用する条件は何ですか。(あてはまるもの3つ以内に○印)

全体	①新鮮で あること	②価格が 安いこと	③身近な 商店など で販売して いること	④安全・安 心であるこ と	⑤おいし いこと	⑥県産品と わかりやす く表示され ていること	⑦その他	不明
	56.6	50.1	26.8	30.2	23.7	17.4	0.6	20.2

〔設問13〕伝統芸能や歴史遺産についてお伺いします。

【問1】あなたは、地域の伝統芸能活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①参加している	②ほとんど参加していない	不明
全体	100.0	10.8	87.5	1.7
県央広域振興圏	100.0	8.0	90.7	1.3
県南広域振興圏	100.0	11.7	86.4	1.9
沿岸広域振興圏	100.0	15.1	82.6	2.3
県北広域振興圏	100.0	11.8	87.0	1.2
男	100.0	11.4	87.4	1.2
女	100.0	10.3	87.6	2.1
その他	100.0	0.0	100.0	0.0
18～19歳	100.0	11.5	88.5	0.0
20～29歳	100.0	7.1	92.2	0.7
30～39歳	100.0	9.5	89.6	0.9
40～49歳	100.0	12.0	87.7	0.3
50～59歳	100.0	10.9	88.1	1.0
60～69歳	100.0	9.9	89.6	0.5
70歳以上	100.0	11.6	84.9	3.5

【問2】【問1】で「1. 参加している」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの活動の参加の頻度についてお答えください。

区分	全体	ほぼ毎回参加	たまに参加	参加していない	不明
①地域の伝統芸能の担い手として活動	100.0	15.7	18.6	49.4	16.3
②地域の伝統芸能の支援活動(活動の手伝いや寄付などを含む)	100.0	25.4	42.2	23.5	8.9
③地域の伝統的行事や祭り	100.0	41.6	48.7	5.5	4.2
④その他()	100.0	1.9	1.1	7.2	89.8

【問3】【問1】で「2. ほとんど参加していない」と回答した方にお聞きします。

地域の伝統芸能に参加しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①活動にはあまり関心がないから	②忙しくて活動に参加する時間がないから	③近くに活動している団体がないから	④一緒に参加する仲間がいないから	⑤どのようにして活動に参加すればよいのかわからないから	⑥活動に関する情報が不十分だから	⑦その他	不明
	49.4	34.5	14.7	15.5	16.7	14.3	10.5	2.5

【問4】あなたは、本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持っていますか。(あてはまるもの1つに○印)

全体	①誇りや愛着を持っている	②特に誇りや愛着は持っていない	不明
100.0	54.0	40.2	5.8

〔設問14〕生物多様性についてお伺いします。

【問1】あなたは、生物多様性という言葉聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○印)

	合計	①言葉の意味を知っている	②意味は知らないが言葉は聞いたことがある	③聞いたこともない	不明	聞いたことがある(①+②)
全体	100.0	24.6	42.1	30.0	3.3	66.7

【問2】以下の行動は、生物多様性の保全につながるものですが、あなたが実際に行っている(参加した)ものはありますか。

以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

	合計	①いつも取り組んでいる	②ときどき取り組んでいる	③取り組んでいない	不明	行動者率(①+②)
全体	100.0	25.1	12.0	51.3	11.6	37.1
県央広域振興圏	100.0	25.5	10.6	53.9	10.1	36.1
県南広域振興圏	100.0	25.6	12.5	50.0	11.9	38.1
沿岸広域振興圏	100.0	22.8	12.9	50.0	14.3	35.7
県北広域振興圏	100.0	24.7	15.3	47.9	12.1	40.0
男	100.0	25.5	13.7	50.8	10.0	39.2
女	100.0	24.9	10.7	51.6	12.8	35.6
その他	100.0	4.7	5.3	90.0	0.0	10.0
18～19歳	100.0	28.2	7.4	62.8	1.5	35.6
20～29歳	100.0	29.6	11.0	54.5	4.8	40.6
30～39歳	100.0	27.0	8.6	60.4	3.9	35.6
40～49歳	100.0	25.9	11.2	60.0	3.0	37.1
50～59歳	100.0	28.9	11.5	54.1	5.5	40.4
60～69歳	100.0	27.5	14.1	50.3	8.1	41.6
70歳以上	100.0	20.6	12.5	44.5	22.3	33.1

区分	全体	いつも取り組んでいる	ときどき取り組んでいる	取り組んでいない	不明
①ハイキングなどにおけるごみの持ち帰りや希少な動植物を持ち帰らないなどのマナー遵守	100.0	58.7	11.1	20.8	9.4
②自然観察会又は自然環境体験活動への参加	100.0	2.0	6.0	81.6	10.4
③ペットを野外に放さないなど責任を持って飼育	100.0	37.8	4.4	40.5	17.3
④森・川・海・里等におけるごみ拾いなどの生物が住みやすい環境の整備	100.0	15.9	21.7	52.0	10.4
⑤植樹や下草刈りなどの森林づくり	100.0	11.2	17.0	61.6	10.2

〔設問15〕ごみの減量化への対応についてお伺いします。
 あなたは、ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか。
 以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

	合計	①だいたい実行している	②ときどき実行している	③ほとんど実行していない	不明	行動者率 (①＋②)
全体	100.0	43.9	32.0	20.6	3.5	75.9
県央広域振興圏	100.0	44.9	32.3	20.2	2.5	77.2
県南広域振興圏	100.0	43.5	31.6	21.1	3.9	75.1
沿岸広域振興圏	100.0	42.8	32.5	20.0	4.6	75.3
県北広域振興圏	100.0	43.2	31.4	20.8	4.6	74.6
男	100.0	39.0	34.0	24.2	2.8	73.0
女	100.0	47.8	30.4	17.7	4.1	78.2
その他	100.0	41.4	30.6	28.0	0.0	72.0
18～19歳	100.0	34.8	29.7	35.5	0.0	64.5
20～29歳	100.0	36.3	33.5	30.2	0.0	69.8
30～39歳	100.0	38.2	34.0	27.2	0.5	72.2
40～49歳	100.0	39.3	34.7	25.6	0.4	74.0
50～59歳	100.0	43.5	35.0	20.5	1.0	78.5
60～69歳	100.0	45.2	34.2	18.5	2.1	79.4
70歳以上	100.0	47.8	27.9	16.3	7.9	75.7

区分	全体	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	不明
①買い物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している	100.0	70.7	19.7	7.6	1.9
②使い捨てプラスチック製品(ストロー、スプーン等)の使用を控えている	100.0	38.8	39.2	18.8	3.2
③過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる	100.0	45.6	35.8	14.8	3.8
④コンポストなどにより生ごみを再資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている	100.0	37.1	23.5	36.1	3.3
⑤買い物の際に使いきれの食材だけを購入する、外食の際に食べ切れる量を注文するなど食品ロスを減らすよう努めている。	100.0	63.0	26.9	6.5	3.6
⑥再生品(リサイクル商品)を積極的に購入している	100.0	21.7	46.7	27.5	4.1
⑦使い捨て商品の購入を控えている	100.0	20.7	50.5	24.3	4.5
⑧リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している	100.0	44.2	33.7	18.0	4.1
⑨リサイクルショップやフリマアプリを利用している	100.0	17.0	31.1	47.2	4.6
⑩リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)	100.0	80.1	12.8	4.8	2.3

〔設問16〕地球温暖化防止への対応についてお伺いします。
 あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。
 以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

	合計	①だいたい実行している	②ときどき実行している	③ほとんど実行していない	不明	行動者率 (①＋②)
全体	100.0	53.8	27.3	16.0	2.9	81.1
県央広域振興圏	100.0	56.8	26.4	14.6	2.3	83.2
県南広域振興圏	100.0	51.9	28.1	17.4	2.7	80.0
沿岸広域振興圏	100.0	51.4	28.8	15.6	4.2	80.2
県北広域振興圏	100.0	53.4	25.9	16.3	4.3	79.3
男	100.0	52.4	28.3	17.2	2.1	80.7
女	100.0	55.0	26.6	15.0	3.5	81.6
その他	100.0	69.5	9.2	21.3	0.0	78.7
18～19歳	100.0	51.3	26.8	22.0	0.0	78.1
20～29歳	100.0	51.0	29.0	19.4	0.6	80.0
30～39歳	100.0	48.4	30.1	21.0	0.6	78.5
40～49歳	100.0	48.9	31.7	19.1	0.3	80.6
50～59歳	100.0	53.2	29.2	16.6	1.0	82.4
60～69歳	100.0	53.9	29.1	15.2	1.8	83.0
70歳以上	100.0	57.7	23.0	13.0	6.3	80.7

区分	全体	だいたい 実行して いる	ときどき実 行している	ほとんど実 行していな い	運転しな い	不明
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している(冷房時28℃以上、暖房時20℃以下)	100.0	47.7	33.6	15.2		3.4
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	100.0	67.4	27.2	3.4		2.0
③食事は残さず食べるなど生ごみを減らす	100.0	76.7	19.1	1.9		2.2
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	100.0	58.3	29.5	8.9		3.2
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	100.0	63.0	27.8	6.5		2.7
⑥洗顔や食器洗いのときに水を流したままにしない	100.0	52.9	35.7	9.1		2.2
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	100.0	9.8	13.4	72.5		4.2
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている	100.0	45.3	27.5	7.2	17.4	2.6

〔設問17〕市民活動についてお伺いします。
【問2】あなたは、過去1年間にどのような市民活動に参加しましたか。
以下のそれぞれの活動の参加の状況についてお答えください。

	合計	①企画段階から自主的に参加	②興味ある活動に誘われた場合に参	③義務的に参加	④参加していない	不明	行動者率 (①＋②＋③)
全体	100.0	3.7	6.9	9.1	74.2	6.0	19.7
県央広域振興圏	100.0	2.9	5.7	7.2	78.7	5.5	15.8
県南広域振興圏	100.0	4.3	8.0	11.0	71.1	5.5	23.3
沿岸広域振興圏	100.0	3.3	7.7	9.0	72.1	7.8	20.0
県北広域振興圏	100.0	4.8	6.5	9.4	71.5	7.8	20.7
男	100.0	4.8	7.8	10.6	71.6	5.2	23.2
女	100.0	2.8	6.2	8.0	76.3	6.7	17.0
その他	100.0	0.0	0.0	4.4	95.6	0.0	4.4
18～19歳	100.0	3.0	5.4	4.5	87.1	0.0	12.9
20～29歳	100.0	1.2	5.4	4.4	88.0	1.0	11.0
30～39歳	100.0	1.7	4.0	5.2	88.4	0.6	10.9
40～49歳	100.0	2.0	4.6	9.0	82.9	1.4	15.6
50～59歳	100.0	2.7	4.7	10.6	80.7	1.3	18.0
60～69歳	100.0	3.9	7.7	10.8	73.3	4.3	22.4
70歳以上	100.0	5.4	9.2	9.5	63.0	12.9	24.1
65歳以上	100.0	5.0	9.4	9.9	66.8	8.9	24.3

区分	全体	企画段階から自主的に参加	興味ある活動に誘われた場合に参加	義務的に参加	参加していない	不明
①青少年の健全育成を目的とした活動	100.0	1.4	3.7	3.5	84.9	6.5
②自然や環境を守る活動	100.0	2.8	5.7	10.2	75.2	6.1
③健康、医療、福祉に関係した活動	100.0	3.5	7.7	7.1	75.3	6.3
④地域づくりのための活動	100.0	5.7	7.7	16.5	64.7	5.5
⑤防災、防犯、交通安全の活動	100.0	4.0	5.3	11.5	73.3	6.0
⑥学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動	100.0	4.7	11.5	6.0	72.1	5.7
⑦その他()	100.0	0.5	0.3	0.4	18.4	80.4

【問3】【問2】で全ての活動に「4. 参加していない」と回答した方にお聞きします。
(1)あなたは、今後、市民活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○印)

全体	①参加したいと思う	②特に参加したいとは思わない	不明
100.0	12.8	85.9	1.3

(2)((1)で「1. 参加したいと思う」と回答した方)参加してみたい内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①青少年の健全育成を目的とした活動	②自然や環境を守る活動	③健康、医療、福祉に関係した活動	④地域づくりのための活動	⑤防災、防犯、交通安全の活動	⑥学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動	⑦その他	不明
	11.0	42.9	46.0	23.4	19.3	48.1	2.5	1.0

(3)((1)で「2. 特に参加したいとは思わない」と回答した方)参加したいとは思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

全体	①忙しくて活動に参加する時間がないから	②活動にはあまり関心がないから	③近くに活動している団体がないから	④一緒に参加する仲間がいないから	⑤どのようにして活動に参加すれば良いのかわからないから	⑥活動に関する情報が不十分だから	⑦その他	不明
	46.3	41.8	6.9	15.8	17.2	15.5	15.1	3.6

主な属性
性別

全体	男性	女性	その他	不明
100.0	44.5	55.3	0.2	0.0

年齢

全体	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
100.0	1.5	5.5	8.5	12.5	15.6	20.4	36.0	0.0

主な職業

全体	自営業主	家族従業者	会社役員・ 団体役員	常用雇用者	臨時雇用者(パート、アルバイトなど)	学生	専業主婦(主夫)	無職	その他	不明
100.0	8.0	2.6	7.0	28.5	12.1	1.9	10.6	22.7	2.8	3.9

調査票

令和 8 年県民生活基本調査

岩手県が実施する「県民生活基本調査」は、県民の皆様が、日頃どのように行動し、考えておられるのかを、お伺いするものです。

県では、今回の調査結果を政策の評価及び施策の企画・立案に生かしていきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

なお、この調査の結果につきましては、令和 8 年 5 月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページでお知らせします。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」
https:// www2.pref.iwate.jp/~stat/

ご記入にあたってのお願い

- ◆ この調査は、無記名式であり、回答は全て統計的に処理され、調査票は、集計後、処分します。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままをお答えください。
- ◆ このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれたあて名の御本人様がお答えください。（ただし、御本人様が長期不在などでお答えできない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください。）
- ◆ お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、1 月 26 日（月）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。
- ◆ 返信状況を確認するため、同封の返信用封筒に整理番号を印字しています。この番号は、回答内容とは一切紐付けず、集計時には削除しますので、個人の回答が特定されることはありません。
- ◆ 回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合には、未回答の方へ改めて調査のお願いをすることがありますので、御了承ください。

【お問合せ先】

この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県ふるさと振興部調査統計課 調査分析担当
〒020-8570 盛岡市内丸 10 番 1 号
TEL:019-629-5300（直通） FAX:019-629-5309
E-mail: stat@pref.iwate.jp（電話受付時間：平日 8 時 30 分から 17 時まで）

2 調査結果の活用方法

県では、平成 13 年度から**政策評価を本格導入**し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様**に、より満足していただけるサービスを提供していくための**重要な情報**として、**政策評価や施策の立案**などに活用することになっています。

そこで、以下の設問についてお聞きます。

あなたは、これらの政策に関連する次の 1 から 17 の設問に関連し、**日常、どのように行動してい**らっしゃいますか。
行動の内容やその割合、今後、どのような行動をしたいかなどについて、質問にそってそれぞれ選び、当てはまる番号に○をつけてください。

1 調査の目的

岩手県では、「**いわて県民計画（2019～2028）**」を策定し、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわての実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、「**いわて県民計画（2019～2028）**」に掲げる「10 の政策分野」に基づく取組を推進していくために、**県民の皆様**の御意見をお伺いし、**次の施策**に生かしていくために行うものです。

「いわて県民計画（2019～2028）」 10 の政策分野	
①健康・余暇	健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手
②家族・子育て	家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手
③教育	学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手
④居住環境・コミュニティ	不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手
⑤安全	災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手
⑥仕事・収入	農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手
⑦歴史・文化	豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手
⑧自然環境	一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手
⑨社会基盤	防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手
⑩参画	男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手

【設問 1】生涯学習についてお伺いします。

（注）生涯学習とは
いつでも、どこでも自由に行う学習のこと。上手になりたい、もっと知りたい、職業上で必要だからなど、知識・技能を高めるために自発的に取り組み、個人で本を読んだり、インターネットで調べたりする方法も含めた学習活動をいいます。

【問 1】あなたは、生涯学習に取り組んでいますか。

（あてはまるもの 1 つに○印）

1. 取り組んでいる

2. 取り組んでいない

※「1. 取り組んでいる」方は問 2、3 へ
「2. 取り組んでいない」方は問 4 へ

【問 2】【問 1】で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお聞きます。
以下のそれぞれの内容と取組の頻度についてお答えください。

取組の頻度 生涯学習の内容	取組の頻度は			
	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	取り組んでいない
（回答例）「①文化・芸術」について、「週に数回程度」取り組んでいる場合、1 に○印をつける。	1	2	3	4
①文化・芸術（音楽・合唱、美術、舞踊、郷土史、伝統芸能など）	1	2	3	4
②趣味や教養（パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど）	1	2	3	4
③スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進（ヨガ・山歩き・自然食など）	1	2	3	4
④職業上必要な知識・技能（パソコン技能や資格取得など）	1	2	3	4
⑤家庭生活に役立つ技能（料理、手芸など）	1	2	3	4
⑥子育て、しつけや家庭教育、読み聞かせ	1	2	3	4
⑦社会問題（時事、政治、経済、環境など）	1	2	3	4
⑧ボランティア活動に必要な知識・技能	1	2	3	4
⑨その他（ ）	1	2	3	4

〔設問 6〕公共交通機関の利用についてお伺いします。

【問 1】あなたは、普段、バスや鉄道などの公共交通機関を利用していますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 利用している

2. ほとんど利用していない

※「1. 利用している」方は問2へ

「2. ほとんど利用していない」方は問3へ

【問2】【問1】で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。

利用している目的・公共交通機関ごとに利用の頻度をお答えください。

利用の頻度 目的・公共交通機関		利用の頻度は				
		ほぼ毎日	週に数回	月に数回	ほとんど利用しない	
①通勤・通学	鉄 道	1	2	3	4	利用している目的・公共交通機関ごとに、あてはまるもの1つずつに○印をつけてください。
	バ ス	1	2	3	4	
②買い物	鉄 道	1	2	3	4	
	バ ス	1	2	3	4	
③通 院	鉄 道	1	2	3	4	
	バ ス	1	2	3	4	
④その他	鉄 道	1	2	3	4	
	バ ス	1	2	3	4	

【問3】【問1】で「2. ほとんど利用していない」と回答した方にお聞きします。

利用していない理由をお答えください。

(あてはまるもの全てに○印)

	(1) 鉄道について	(2) バスについて
①自宅から駅、バス停が遠いから	1	1
②目的地が駅、バス停から遠いから	2	2
③公共交通機関の便数が少ないから	3	3
④乗継ぎが不便だから	4	4
⑤公共交通機関に関する情報が不十分だから	5	5
⑥運賃が高いから	6	6
⑦公共交通機関の社員の態度が悪いから	7	7
⑧自家用車のほうが便利だから	8	8
⑨その他	9	9

〔設問 7〕災害への対応についてお伺いします。

【問 1】あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 準備している

2. 特に準備していない

※「1. 準備している」方は問2へ

「2. 特に準備していない」方は問3へ

【問2】【問1】で「1. 準備している」と回答した方にお聞きします。

準備している内容全てに○印を付けてください。

(あてはまるもの全てに○印)

1. 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している

2. 地域で実施される防災訓練（注）に年1回以上参加している

3. 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している

4. 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的な対応（連絡方法、集合場所）などを話し合っている

5. 地域の自主防災組織に加入している

6. 家具などの転倒防止措置を行っている

7. 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている

8. その他（ ）

(注) 防災訓練：避難訓練や救助訓練などを含む訓練

【問3】【問1】で「2. 特に準備していない」と回答した方にお聞きします。

(1) 準備していない理由をお答えください。

(あてはまるもの1つに○印)

1. そもそも準備の必要がないと思うから

2. 準備は必要だと思うが、準備に至っていない

(2) (1) で「2. 準備は必要だと思うが、準備に至っていない」と回答した方は以下について理由をお答えください。

(あてはまるもの全てに○印)

1. どのような危険があるかわからないから、何を準備したらよいかわからない

2. 手間がかかってわずらわしいから

3. 周囲の人も準備していないから

4. 準備に費用がかかるから

5. 被災体験や、災害の場面などを見たことがないから

6. 準備しても災害が起きないと無駄になるから

7. その他（ ）

〔設問 8〕防犯への対応についてお伺いします。

あなたは、犯罪の被害にあわないために、普段どのような行動に努めていますか。

以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の状況 行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
(回答例)「①外出時はカギをかけている」について、「だいたい実行している」場合、1に○印をつける。	1	2	3	
①外出時はカギをかけている	1	2	3	
②家に人がいるときも、用心のためカギをかけている	1	2	3	
③隣近所と声をかけ合うようにしている	1	2	3	4
④自転車・自動車にカギをかけている（注1）	1	2	3	
⑤住宅に防犯性能の高いカギやサッシ、補助錠などを取り付けている	1	2	3	
⑥特殊詐欺被害防止対策について、家族で話し合っている	1	2	3	
⑦特殊詐欺被害防止対策で有効と言われる留守番電話機能を設定し活用している	1	2	3	
⑧自身（あなた）や家族が、防犯ブザーやホイッスルなどを持ち歩いている	1	2	3	
⑨夜、一人の外出を控えている	1	2	3	
⑩防犯パトロールや買物・散歩など日常活動を通じて防犯の視点で見る「ながら見守り」を行い、地域の防犯活動に参画している	1	2	3	
⑪びかばメール（注2）や警察の広報紙などで、地域の犯罪情報や危険な場所に関心を持ち、把握に努めている	1	2	3	

(注1) 自転車や自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

(注2) びかばメール：岩手県警察からの安全安心情報（不審者情報・特殊詐欺発生情報・行方不明者手配情報等）を登録したメールアドレスへ配信するサービス

〔設問 9〕交通安全への対応についてお伺いします。

あなたは、交通安全のために、普段どのような行動に努めていますか。

以下のそれぞれの場合の行動の状況についてお答えください。

行動の内容		行動の状況は			
		行動の状況 だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
(回答例)「①交通安全について話し合っている」について、「ときどき実行している」場合、2に○印をつける。		1	2	3	
家庭において	①交通安全について話し合っている	1	2	3	
	②交通事故に気をつけるよう声をかけている	1	2	3	
	③運転免許の自主返納について話し合っている(注1)	1	2	3	4
歩行者として	④夕暮れ時や夜間は、反射材などをつけている	1	2	3	
	⑤道路を横断するときは、左右の安全を確認し、横断歩道を利用している	1	2	3	
	⑥車が見えるときは、通り過ぎるのを待ってから横断している	1	2	3	
自転車 を運転するとき (注1)	⑦交差点では、信号や一時停止標識を守って、安全を確認している	1	2	3	4
	⑧夕暮れ時や夜間は、ライトや反射材を活用している	1	2	3	
	⑨ヘルメットを着用している	1	2	3	
	⑩運転中にイヤホンや携帯電話は使用していない	1	2	3	
	⑪自転車損害賠償責任保険等(注2)に加入している	1	2	3	

(注1) 自転車や自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

(注2) 自転車損害賠償責任保険等：自転車の利用によって他人の生命又は身体が害された場合における損害を填補する保険又は共済

行動の内容		行動の状況は			
		行動の状況	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない
自動車 を運転 するとき (注1)	⑫全ての座席のシートベルト・チャイルドシートを正しく着用させている	1	2	3	4
	⑬横断歩道に歩行者がいたら、止まって渡らせている	1	2	3	
	⑭通学路など歩行者が多く利用する生活道路では速度を抑え安全に注意している	1	2	3	
	⑮夕暮れ時のライトの早め点灯を行っている	1	2	3	

(注1) 自転車や自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

➡【問3】【問1】で「2. 確認していない」と回答した方にお聞きします。
確認していない理由をお答えください。

(あてはまるもの全てに○印)

1. 表示が判りにくいから

2. 表示が信用できないから

3. 表示を確認することが面倒くさいから

4. 表示に関心がないから

5. 表示内容より価格を重視しているから

6. 表示内容より手軽さを重視しているから

7. その他

次のページにも設問があります。



©わんこきょうだい

〔設問 10〕食品の表示の確認についてお伺いします。

【問1】あなたは、普段のお買い物の際に、食品の表示を確認していますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 確認している

2. 確認していない

※「1. 確認している」方は問2へ

「2. 確認していない」方は問3へ

【問2】【問1】で「1. 確認している」と回答した方にお聞きします。
確認している表示の内容についてあてはまるものを選択してください。

確認の状況 確認している表示の内容	確認の状況は		
	だいたい確認している	ときどき確認している	ほとんど確認していない
（回答例）「①日付（消費期限、賞味期限など）」について、「だいたい確認している」場合、1に○印をつける。	1	2	3
①日付（消費期限、賞味期限など）	1	2	3
②保存方法	1	2	3
③原産地、原産国	1	2	3
④原材料名、食品添加物名、アレルギー物質名	1	2	3
⑤遺伝子組換え食品であるかどうか	1	2	3
⑥製造業者名、販売業者名	1	2	3
⑦その他（			

〔設問 11〕県内産の工芸品の利用についてお伺いします。

【問1】あなたは、普段、県内産の工芸品を利用していますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 利用している

2. 特に利用していない(県内産が分からず利用している場合も含む)

※「1. 利用している」方は問2へ

「2. 特に利用していない」方は問3へ

【問2】【問1】で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。
以下のそれぞれの利用している品目と頻度についてお答えください。

(1) 利用の頻度は

利用の頻度 利用している品目	利用の頻度は				
	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど利用していない
(回答例)「①南部鉄器」について、「月に数回程度」の場合、3に○印をつける。	1	2	3	4	5
①南部鉄器	1	2	3	4	5
②岩谷堂筆筒	1	2	3	4	5
③秀衡塗	1	2	3	4	5
④浄法寺塗	1	2	3	4	5
⑤南部古代型染	1	2	3	4	5
⑥紫根染	1	2	3	4	5
⑦南部裂織	1	2	3	4	5
⑧ホームスパン	1	2	3	4	5
⑨木工品	1	2	3	4	5
⑩竹細工	1	2	3	4	5
⑪琥珀	1	2	3	4	5
⑫その他 ()	1	2	3	4	5

(2) 利用している理由は

(あてはまるもの全てに○印)

1. 品質が良いから

2. 使い勝手がいいから

3. デザインが良いから

4. 県産品だから

5. 代々愛用しているから

6. お土産に向いているから

7. その他 ()

➡【問3】【問1】で「2. 特に利用していない」と回答した方にお聞きします。

利用していない理由をお答えください。

(あてはまるもの全てに○印)

1. 値段が高いから

2. 使い勝手が悪いから

3. デザインが好ましくないから

4. 身近で利用していないから

5. 興味がないから

6. その他 ()

14

【設問 12】 県内産の農林水産物の利用についてお伺いします。

【問 1】 あなたは、普段、県内産の農林水産物を利用していますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 利用している

2. 特に利用していない (県内産が分からず利用している場合も含む)

※「1. 利用している」方は問2へ

「2. 特に利用していない」方は問3へ

【問 2】 【問 1】で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの利用している種類と頻度についてお答えください。

(1) 利用の頻度は

利用の頻度 利用している種類	利用の頻度は				
	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど利用していない
(回答例)「①米などの穀物」について、「月に数回程度」の場合、3に○印をつける。	1	2	3	4	5
①米などの穀物	1	2	3	4	5
②野菜	1	2	3	4	5
③りんごなどの果物	1	2	3	4	5
④しいたけなどの林産物	1	2	3	4	5
⑤卵	1	2	3	4	5
⑥牛乳	1	2	3	4	5
⑦牛肉や豚肉などの肉類	1	2	3	4	5
⑧魚類・貝類	1	2	3	4	5
⑨海藻類	1	2	3	4	5
⑩花類	1	2	3	4	5
⑪その他 ()	1	2	3	4	5

15

(2) 利用している理由は

(あてはまるもの全てに○印)

1. 新鮮だから

2. 価格が安いから

3. 安全・安心だから

4. 季節感があるから

5. おいしいから

6. その他

➡【問3】【問1】で「2. 特に利用していない」と回答した方にお聞きします。

(1) 今後、県内産の農林水産物を利用したいと思いますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 利用したいと思う

2. 特に利用したいとは思わない

※「1. 利用したいと思う」方は(2)へ

(2) (1)で「1. 利用したいと思う」と回答した方にお聞きします。

①利用したい種類はどのようなものですか。

(あてはまるもの全てに○印)

1. 米などの穀物

2. 野菜

3. りんごなどの果物

4. しいたけなどの林産物

5. 卵

6. 牛乳

7. 牛肉や豚肉などの肉類

8. 魚類・貝類

9. 海藻類

10. 花類

11. その他

②利用する条件は何ですか

(あてはまるもの3つ以内に○印)

1. 新鮮であること

2. 価格が安いこと

3. 身近な商店などで販売していること

4. 安全・安心であること

5. おいしいこと

6. 県産品とわかりやすく表示されていること

7. その他

16

【設問 13】 伝統芸能や歴史遺産についてお伺いします。

【問 1】 あなたは、地域の伝統芸能活動に参加していますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 参加している

2. ほとんど参加していない

※「1. 参加している」方は問2へ

「2. ほとんど参加していない」方は問3へ

【問 2】 【問 1】で「1. 参加している」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの活動の参加の頻度についてお答えください。

参加の頻度 活動の内容	参加の頻度は		
	参加ほぼ毎回	たまに参加	参加していない
(回答例)「①地域の伝統芸能の担い手として活動」について、「ほぼ毎回参加」の場合、1に○印をつける。	1	2	3
①地域の伝統芸能の担い手として活動	1	2	3
②地域の伝統芸能の支援活動 (活動の手伝いや寄付などを含む)	1	2	3
③地域の伝統的行事や祭り	1	2	3
④その他 ()	1	2	3

【問 3】 【問 1】で「2. ほとんど参加していない」と回答した方にお聞きします。

地域の伝統芸能に参加しない理由をお答えください。

(あてはまるもの全てに○印)

1. 活動にはあまり関心がないから

2. 忙しくて活動に参加する時間がないから

3. 近くに活動している団体がないから

4. 一緒に参加する仲間がないから

5. どのようにして活動に参加すればよいのかわからないから

6. 活動に関する情報が不十分だから

7. その他

【問 4】 あなたは、本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持っていますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 誇りや愛着を持っている

2. 特に誇りや愛着は持っていない

17

76

〔設問 14〕生物多様性についてお伺いします。

「生物多様性」とは、様々な生き物が、バランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいいます。私たちの普段の生活はこうしたバランスやつながりによって支えられています。

特にも、本県の自然環境は、多くの自然公園を持ち、多くの種が生息・生育しているなど、全国的に恵まれた環境となっています。

一方で、イヌワシなど８００を超える種が、いわてレッドデータブックにおいて絶滅危惧種やこれに準ずる種とされるなど、開発による自然環境の消失、里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下、外来生物等による在来の生態系のかく乱、地球温暖化などの影響により、生物の多様性が大きな危機にさらされています。

私たちは、こうした生物多様性の危機を知って、保全するための取組を積極的におこなっていくことが必要となっています。

【問 1】あなたは、生物多様性という言葉を知っていますか。

（あてはまるもの1つに○印）

1. 言葉の意味を知っている

2. 意味は知らないが言葉は聞いたことがある

3. 聞いたこともない

【問 2】以下の行動は、生物多様性の保全につながるものですが、あなたが実際に行っている（参加した）ものはありますか。以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は		
	取り組んでいる	いつも取り組んでいる	ほとんど実行していない
（回答例）「②自然観察会又は自然環境体験活動への参加」について、「ときどき取り組んでいる」の場合、2に○印をつける。	1	2	3
①ハイキングなどにおけるごみの持ち帰りや希少な動植物を持ち帰らないなどのマナー遵守	1	2	3
②自然観察会又は自然環境体験活動への参加	1	2	3
③ペットを野外に放さないなど責任を持って飼育	1	2	3
④森・川・海・里等におけるごみ拾いなどの生物が住みやすい環境の整備	1	2	3
⑤植樹や下草刈りなどの森林づくり	1	2	3

〔設問 15〕ごみの減量化への対応についてお伺いします。

あなたは、ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は		
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない
（回答例）「①買い物のときは買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は辞退する」について、「ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3
①買い物のときは買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は辞退している	1	2	3
②使い捨てプラスチック製品（ストロー、スプーン等）の使用を控えている	1	2	3
③過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる	1	2	3
④コンポスト（注1）などにより生ごみを再資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている	1	2	3
⑤買い物の際に使い切れる食材だけを購入する、外食の際に食べ切れる量を注文するなど食品ロス（注2）を減らすよう努めている	1	2	3
⑥再生品（リサイクル商品）を積極的に購入している	1	2	3
⑦使い捨て商品の購入を控えている	1	2	3
⑧リターナブル容器（繰り返し使用される容器）や詰め替え商品を利用している	1	2	3
⑨リサイクルショップやフリマアプリ（注3）などを利用している	1	2	3
⑩リサイクルやごみの分別収集に協力している（例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル）	1	2	3

（注1）コンポスト：生ごみを発酵させて堆肥にする方法
（注2）食品ロス：本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品
（注3）フリマアプリ：オンライン上にて、フリーマーケットのように主に個人間による物品の売買を行えるアプリ

〔設問 16〕地球温暖化防止への対応についてお伺いします。

あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
（回答例）「①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している」について、「ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3	
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している（冷房時 28℃以上、暖房時 20℃以下）	1	2	3	
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	1	2	3	
③食事は残さず食べるなど生ごみを減らす	1	2	3	
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	1	2	3	
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	1	2	3	
⑥洗顔や食器洗いのときに水を流したままにしない	1	2	3	
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	1	2	3	
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている（注）	1	2	3	4

（注）自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

〔設問 17〕市民活動についてお伺いします。

（注）市民活動とは
NPO、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をいいます。

【問 1】あなたの年齢（満年齢）をお答えください。

（あてはまるもの1つに○印）

1. 65 歳未満

2. 65 歳以上

【問 2】あなたは、過去 1 年間にどのような市民活動に参加しましたか。
以下のそれぞれの活動の参加の状況についてお答えください。

活動の内容	参加の程度は			
	企画段階から自主的に参加	興味ある活動に参加された	義務的に参加	参加していない
（回答例）「①青少年の健全育成を目的とした活動」について、「企画段階から自主的に参加」の場合、1に○印をつける。	1	2	3	4
①青少年の健全育成を目的とした活動	1	2	3	4
②自然や環境を守る活動	1	2	3	4
③健康、医療、福祉に関係した活動	1	2	3	4
④地域づくりのための活動	1	2	3	4
⑤防災、防犯、交通安全の活動	1	2	3	4
⑥学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動	1	2	3	4
⑦その他（ ）	1	2	3	4

アンケートに回答した方（あなた）について、お伺いします。

最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別 (○は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

(2) 年齢 (満年齢) (○は1つ)

1 18～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳	4 40～49 歳
5 50～59 歳	6 60～69 歳	7 70 歳以上	

(3) あなたの主な御職業は何ですか。(○は1つ)

1 自営業主	
2 家族従業者	
3 会社役員・団体役員	
4 常用雇用者	※期間を定めずに又は1年を超える期間を定めて雇われる人
5 臨時雇用者 (パート、アルバイトなど)	※日々又は1年以内の期間を定めて雇われる人
6 学生	
7 専業主婦 (主夫)	
8 無職	
9 その他 (具体的に :	)

※ (3)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。
その業種は何ですか。(○は1つ)

1 農業、林業	2 漁業	3 鉱業、採石業、砂利採取業
4 建設業	5 製造業	6 電気・ガス・熱供給・水道業
7 情報通信業	8 運輸業、郵便業	9 卸売・小売業
10 金融業、保険業	11 不動産業、物品賃貸業	
12 学術研究、専門・技術サービス業	13 宿泊業、飲食サービス業	
14 その他のサービス業	15 公務	
16 その他 (具体的に :		)

(4) あなたの世帯についてお伺いします。次のどれに当たりますか。(○は1つ)

1 ひとり暮らしである (単身赴任を含む)
2 一緒に暮らしている人がいる
3 寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる
4 その他 (

※ (4)で2又は4に○をつけられた方のみお答えください。
あなたの世帯に含まれる方は次のどれにあてはまりますか。該当する番号全てに○をつけてください。(あなたとの続柄でお答えください。)

1 祖父又は祖母 (配偶者の祖父 (祖母) を含む)	2 父母 (配偶者の父 (母) を含む)
3 配偶者	4 兄弟・姉妹 (配偶者の兄弟・姉妹を含む)
5 子ども	6 子どもの配偶者
7 孫	8 その他 (

(5) あなたのお子さんは、何人いますか。(同居・別居は問いません。)

1 1人	2 2人	3 3人
4 4人	5 5人以上	6 子どもはいない

※ (5)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。
あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか。(該当する番号全てに○をつけてください。)

1 小学校入学前 (乳幼児を含む。)	2 小学生
3 中学生	4 高校生 (高校受験浪人を含む。)
5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学 (大学受験浪人を含む。)	
6 学校教育終了で同居	7 学校教育終了で別居
8 その他 (具体的に :	)

(6) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか。(○は1つ)

1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満
4 10～20年未満	5 20年以上	

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか。(○は1つ)

県 央 地 域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 雫石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県 南 地 域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ケ崎町	16 平泉町		
沿 岸 地 域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県 北 地 域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました

お手数ですが、 1月26日(月)までに郵便ポストへ投函くださる
ようお願いいたします。